

国立大学法人



宮崎大学

University of Miyazaki

CAMPUS GUIDE 2027

世界を視野に、地域から始めよう

教育学部

医学部

工学部

農学部

地域資源創成学部

宮崎大学
オリジナルキャラクター
みやざきもっちゃん



「世界を視野に、地域から始めよう」

Look at the world, Start with the community.

宮崎大学長 鮫島 浩

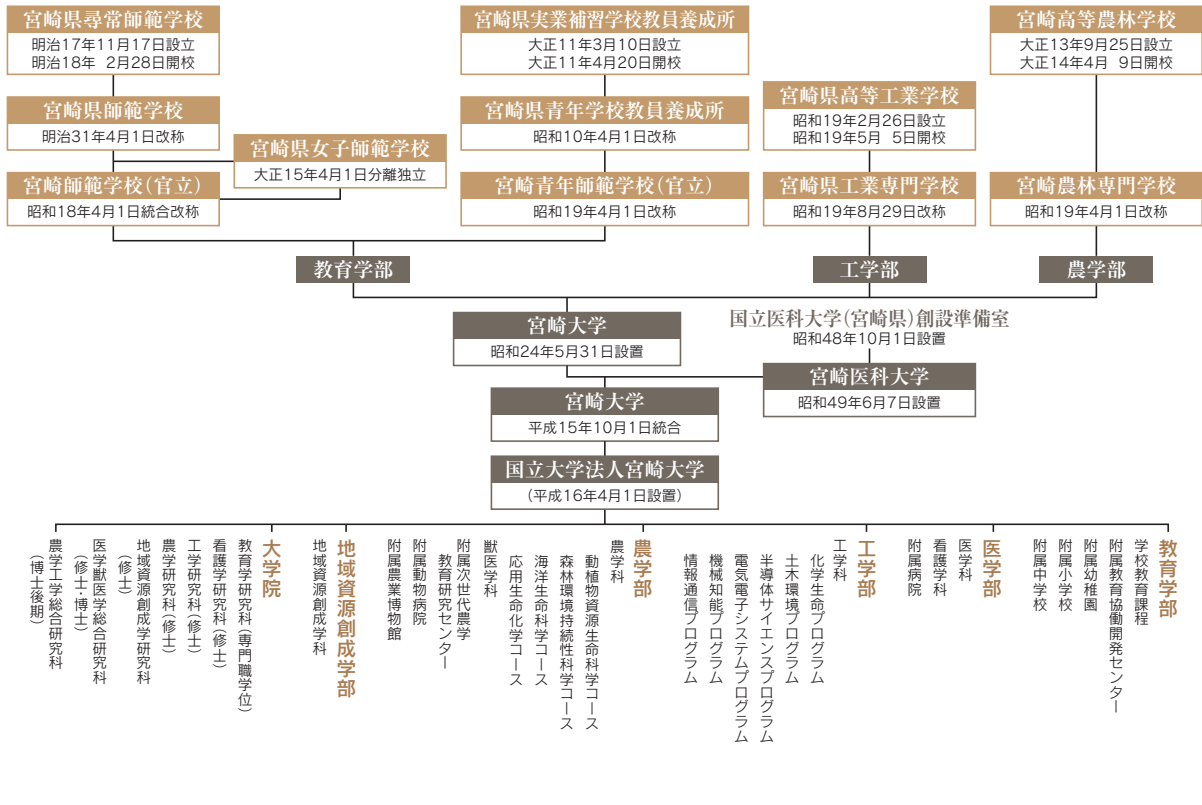
宮崎大学は5学部、7研究科、3機構を有する総合大学で、全国に配置されている国立大学法人の一翼を担っています。木花キャンパス（教育学部、工学部、農学部、地域資源創成学部）と清武キャンパス（医学部）のメイン・キャンパスに加え、宮崎駅近くに錦本町ひなたキャンパスを持っています。さらに県内には広大な5つの教育研究フィールドがあり、附属の幼稚園、小中学校を設置しています。現在、近隣の高等教育機関、産業界、自治体等との連携をより一層強化し、学生目線を大切にし学修者の多様性に応える取り組みを強力に進めています。

宮崎大学のスローガンは、表題にあるように、「世界を視野に、地域から始めよう」です。ごく身近な地域の問題の中に、実は、世界的な問題、地球規模の課題を解決するための糸口がある、と考えています。実際、地域の問題をとことん深掘りすると、そこに世界に通じる課題を解決するヒントが見つかることがあります。グローバル・ビジョンとローカル・アクト。世界中で同様の機運が高まっていますが、宮崎大学は宮崎の問題に積極的に取り組み、その中に世界に通じる課題と解決策を見出し、その結果を広く世界に発信することを重要な使命と考えています。宮崎大学が宮崎に存在する意義の一つはここにあります。

宮崎大学は、平和で、風光明媚な自然環境に恵まれた地にあります。美味しい空気、清浄な水に囲まれ、素晴らしい食材が溢れています。晴天が多く、プロスポーツのキャンプ地、マリンスポーツのメッカとしても有名です。学業を楽しみ、アウトドアを楽しみ、人生を豊かにし、健康にも良い、この素晴らしい地で、一緒に勉学、研究、地域貢献に取り組んでみませんか。そこには多様な教授陣、多彩な学生達、人情味あふれる地域住民がおり、進取の気鋭に富んだ産業界との密接な連携が可能です。宮崎大学はこれらの全てを揃えて、多様性溢れる学生を心から歓迎します。一緒に美しい未来を作りたい、そのために挑戦したい、そのような挑戦者を大学挙げて支援しています。



沿革



教育方針 (教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)

■ 教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育 2. 社会性・国際性の教育 3. 専門性の教育

■ ディプロマ・ポリシー〔卒業(修了)認定・学位授与に関する方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、以下の素養を涵養し、全学共通の「学士基盤力」と専門分野における「学士専門力」を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

1. 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。
2. 自ら学修計画を立て、主体的に学ぶことができる。
3. 相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。
4. 課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析し、その課題を解決できる。
5. 学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。

■ カリキュラム・ポリシー〔教育課程の編成・実施の方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部を置き、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる資質・能力を備えた人材を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

【教育課程の編成】

1. 学生の修得すべき学修成果を重視し、教養教育と専門教育の区分にとらわれず、体系的な学士教育課程を編成する。
2. 基本的な学習能力の獲得と文理横断的な教育課程の編成のため、すべての学生が履修する教養教育カリキュラムとして、導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)、課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)と未来共創科目(構想・デザイン系、協働・創造系)を設置する。
3. 専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために、学科・課程専門科目を設置する。
4. 地域を志向した教育・研究・地域貢献を推進するため、学士課程に地域の理解と課題解決に取り組む科目を設置する。
5. 専攻分野を超えて学際的な視点を養う科目を設置する。
6. 獲得した知識や技能を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を育成するために、卒業研究等の科目を設置する。

【教育内容・方法】

1. 各授業科目について、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、事前・事後の学習の指示、ディプロマ・ポリシーとの関連を明記し、周知する。
2. 教養教育カリキュラムの導入科目、課題発見科目において、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施し、初年次から学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるようにする。
3. 専門教育において、知識・理論と実践を融合し、主体的に考える力を養うために、講義、演習、実験、実習、実技などの授業形態に加えて、多様な教育方法を取り入れて指導を行う。
4. 学士課程教育において、地域の理解を深める題材を取り入れ、地域の課題解決を実践できるようにする。

【学修成果の評価】

1. 学修目標の達成水準を明らかにするために、成績評価基準・方法を策定・公表する。
2. 個々の授業科目においては、成績評価基準・方法に基づき、定量的又は定性的な根拠により厳格な評価を行う。
3. 学修成果を把握するために、教育活動、学修履歴、及び学生の成長実感・満足度に係わる情報を適切に収集・分析する。
4. ディプロマ・ポリシーに基づく学生の学修過程を重視し、在学中の学修成果の全体を評価する。
5. GPA 制度を導入し、客観的で透明性の高い成績評価を行う。
6. 学生が学修目標の達成状況をエビデンスを持って説明できるよう学修成果の可視化を行う。

■ アドミッション・ポリシー〔入学者受入・選抜の方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

CONTENTS

01	学長あいさつ・沿革
02	教育方針
03	宮崎大学の教育
04	SPARC事業
05	教育学部
	学校教育課程
	小中一貫教育コース
	小学校主免専攻
	中学校主免専攻
	教職実践基礎コース
	発達支援教育コース
	子ども理解専攻
	特別支援教育専攻
17	医学部
	医学科
	看護学科
23	工学部
	工学科
	化学生命プログラム
	土木環境プログラム
	半導体サイエンスプログラム
	電気電子システムプログラム
	機械知能プログラム
	情報通信プログラム
37	農学部
	農学科
	動植物資源生命科学コース
	森林環境持続性科学コース
	海洋生命科学コース
	応用生命化学コース
	獣医学科
49	地域資源創成学部
	地域資源創成学科
53	大学院
55	キャンパスマップ
57	学生支援施設
59	部・サークル活動
60	国際交流・留学
61	キャリア支援
62	就職データ
63	イベントスケジュール
65	経済支援
66	オープンキャンパス

宮崎大学の教育 —宮崎に学び 未来を切り拓く—

グローバルデザイナーの育成

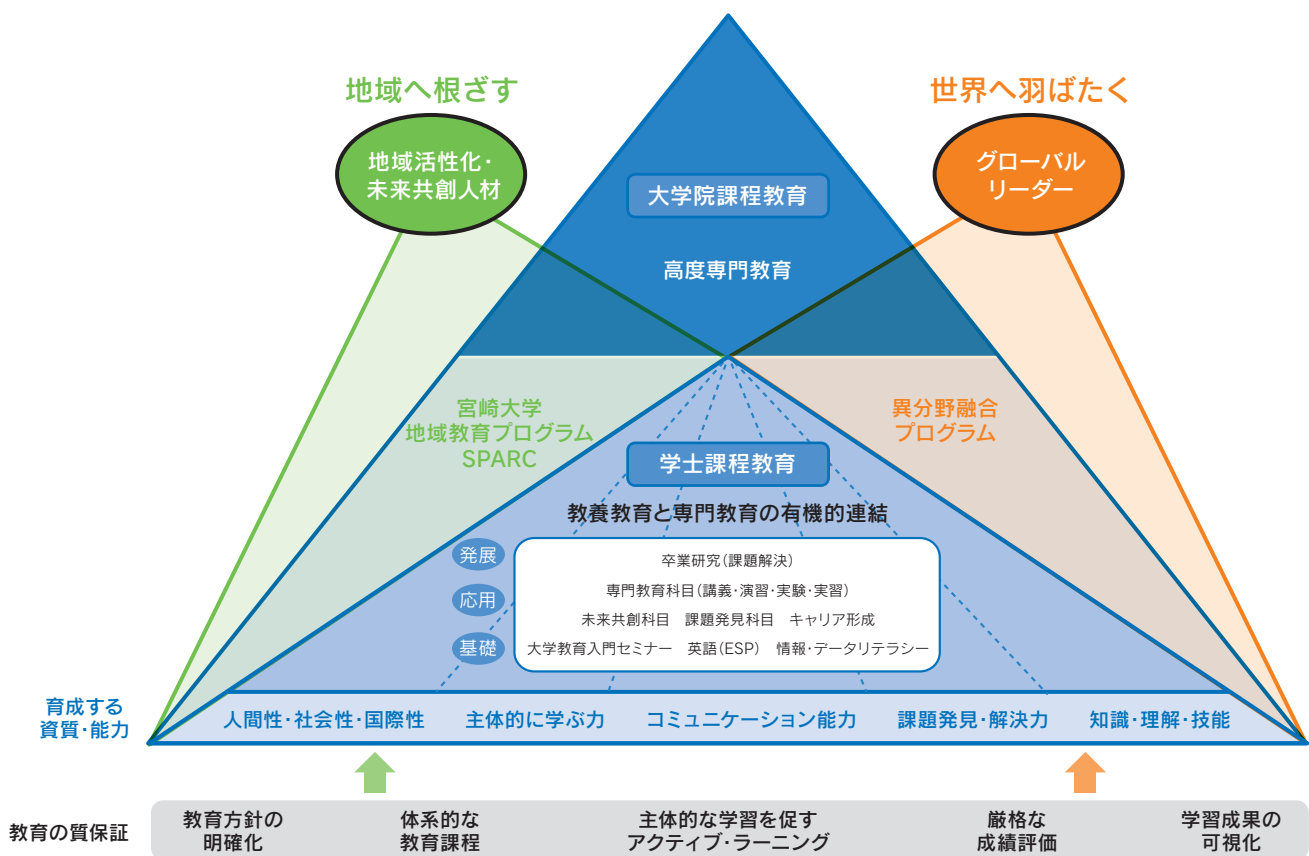
宮崎大学が掲げる教育のスローガンは「宮崎に学び、未来を切り拓く人材(グローバルデザイナー)の養成」です。宮崎を学びのフィールドとしてさまざまな経験を通じて世界の変化を学び、豊かで活力ある社会の創造に向けてチャレンジする行動力のある人、それがグローバルデザイナーです。

能動的学修(アクティブラーニング)の推進

学生中心の双方向の授業を実施することによって、学生一人一人が自ら考え、答えのない課題に解を見だしていく学修(アクティブラーニング)を推進しています。

学士課程教育では多くの科目においてアクティブラーニングやICT活用等の多様な学修方法により主体的な学びを実践しています。

本学における学士・大学院教育の概念図



教育の特色

★充実した数理・データサイエンス・AI教育

本学では、2019年度～2021年度において、大学の数理・データサイエンス教育の全国展開における協力校として取り組みを進め、Society5.0で求められる数理的思考力を身に付けた人材の育成を図るため、動画コンテンツ教材を導入するなどし、文・理を問わない数理・データサイエンス・AI教育を充実させる教育プログラムを全学的に進めています。

そして、2022年には文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定制度(MDASH)におけるリテラシーレベルの認定とリテラシープラスの選定を受け、全学生に対して特色ある優れたデータサイエンス・AI教育プログラムを提供しています(有効期限 2027年3月31日)。

さらに、リテラシーレベルの次のステージとして数理・データサイエンス・AIを実践的に扱える能力を身につけることを目的とした「宮崎大学データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎)」も、2023年に文部科学省のMDASH応用基礎レベルの認定を受け、2024年にはプラス選定を受けています(有効期限 2028年3月31日)。



★SPARC (Supereminent Program for Activating Regional Collaboration)
 新しい価値を創造し持続可能な地域づくりを牽引する
 多様な「未来共創人材」育成プログラム

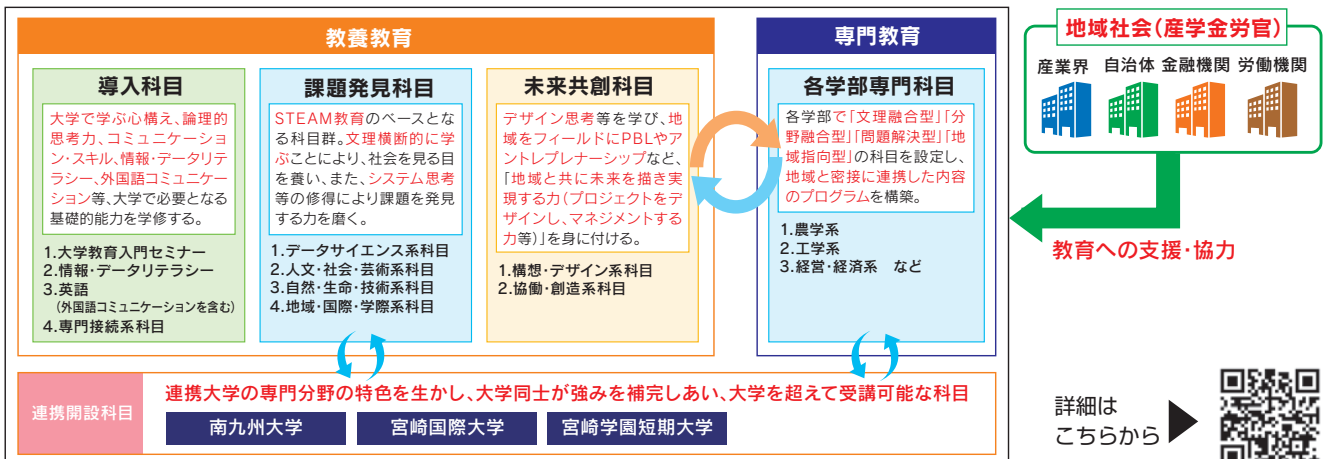


宮崎大学は、新しい価値を想像し、持続可能な地域づくりを牽引する「未来共創人材」を育成するため、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学の連携大学と協働し、文理横断型の「宮崎大学SPARC学位プログラム」を構築しました。



【未来共創人材とは】	【未来共創人材の育成に向けた取組のポイント】
<ul style="list-style-type: none"> ☆時代の変化に目を向け、柔軟に戦略立案・意思決定できる ☆事業拡大やイノベーションに挑戦し、企業や地域等を支える ☆自ら主体的・積極的に価値を創造するチャレンジマインドを持つ ☆横断的で広い視野を持ち、多様な人と繋がり、巻き込むことが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ☆連携大学がそれぞれの特徴を活かし、かつ連携した科目の開設等、密接に連携して新たな学位プログラムを構築 ☆全ての連携大学が教養教育を抜本的に再編し、総合知、文理横断の学びを実現するとともに、デザイン思考等の未来を共創する力を磨く ☆教養教育と専門教育の有機的連携により、高いレベルの専門人材を育成 ☆地域の自治体・企業・金融機関等と大学が密接に連携した教育を展開

宮崎大学SPARC学位プログラム



教育学部

目指そう 未来のスクールリーダー



- 学校教育課程
- 小中一貫教育コース
- ・小学校主免専攻……………P 7
- ・中学校主免専攻……………P 9
- 教職実践基礎コース
- ・発達支援教育コース……………P 11
- ・子ども理解専攻……………P 13
- ・特別支援教育専攻……………P 15

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/edu/>



■ 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実に備え、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育を実践できる人材を養成します。

なお、学校教育課程のすべてのコースにおいて、高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けるとともに、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な、教職への関心と意欲、知的好奇心や行動力、コミュニケーション能力などを培っておくことが望まれます。

■ 施設紹介



附属教育協働開発センター



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



特別支援学級



教育学部は、学校の教員を目指す学部です。

1. 現代の教育ニーズに対応
2. 豊富な実習機会を通じた実践力養成
3. 充実した進路サポート

この3つの魅力で、「魅力的な教員」を養成します。

教育学部では、新しい時代を切り拓き、子どもたちの成長を支え続けることのできる小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校などの先生を養成します。したがって、各コースの教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えるとともに、子どもや地域社会、教科の指導、人間への理解に関心の高い人を受け入れるために、多様な入学者選抜を行います。

卒業生からのメッセージ



都城市立西小学校教諭
教諭

郡 千裕 さん Chihiro Kori
宮崎県 宮崎西高等学校出身

笑顔と自信を子どもたちに!!

私は宮崎大学を卒業後、宮崎県内で小学校の教諭として働いています。大学では大好きなカメの研究や日々の面白い授業、貴重な経験ができる教育実習など、新しい学びがありました。「楽しい!好き!」という気持ちが、学びの原動力になることも実感しました。

小学校の教諭になって10年目になります。



今でも、4月には新しい出会いにワクワクします。子どもたちの行動に感心したり、驚かされたり。子どもたちの個性が輝く瞬間に立ち会えるのも、教師という仕事の素晴らしさだと思います。私は、子どもたちが笑顔で自信をもって前に進めるようになってほしいと願っています。

高校生の皆さん、教師という仕事を目標してみませんか。



小中一貫教育コース [小学校主免専攻]

Unified Elementary and Junior High School Education Course Elementary School Major



学 学校教育の入り口となる初等教育は、次世代を担う子どもたちを育む意味でたいへん重要です。本専攻は小学校教員としての基本的な資質を高め、同時に10の専修(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)を通して、特定の教科にも強みを持つ専門性の高い教員を養成します。

未経験から専門性を磨き 表現の楽しさを伝える先生へ



学校教育課程 小中一貫教育コース
小学校主免専攻(R7卒業)

上野聖志 Satoshi Ueno
宮城県 都城泉ヶ丘高等学校出身

小学生の頃の担任の先生に憧れ、宮崎大学教育学部を志望しました。本コースの魅力は、小学校全教科の知識と指導法を学びつつ、中学校の専門的な知識も深く学べる点にあります。

私は「絵を描くことが好き」という気持ちで美術専修を選びました。大学で一から学び始めた美術でしたが、周囲も未経験から始めた仲間ばかりで、互いに切磋琢磨できる環境でした。特に絵画を専門的に学び、4年間の集大成である卒業制作展を終えたときには、確かなやりがいと自信を得ることができました。

この経験を活かし、子どもたちに図工や美術の楽しさを伝えられる教員を目指していきたいです。ぜひ宮崎大学で、あなたの理想の先生を目指してみませんか？



小中一貫教育コース 小学校主免専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 小主免では、小学校教諭一種免許とあわせて専修とした1教科の中学校教諭二種免許を取得します。中主免では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。	
	課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)				
	未来共創科目(構想・デザイン系)				
学校教育課程共通科目					
	● 教育フィールド体験	● 介護体験	● 人権同和教育		
小学校及び中学校教育専門科目	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ● 国語、図工		● 社会、算数、理科、生活、音楽、体育、家庭、小学校英語		
	● 各教科の指導法				
	小学校、中学校の教員免許取得のための専門科目				
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践		Pick up 教育実習 実習Ⅰでは、実際の学校現場に参加し観察実習を行います。実習Ⅱは実際に子供たちの前に立ち授業を行います。実習Ⅲでは異学校種の実習。実習Ⅳではそれぞれ県内の小・中学校に行き、応用的な教育実習を行います。
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)		● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)		
【教育実践に関する科目】	● 教育実習Ⅰ	● 教育実習Ⅱ ● 教育実習Ⅲ	● 教育実習Ⅳ	● 教職実践演習(幼小中高)	
		● 教育実習基礎研究(幼小) ● 教育実習基礎研究(中高)		● 卒業論文	

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。そのために、小学校主専では小学校教諭一種、中学校教諭二種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の10の教科の中から1つ)の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性を持ち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人

知的好奇心を未来へつなぐ - 学びの楽しさを伝えられる教師に

「勉強は好きですか？」そう聞かれると、反射的に「嫌い」と答えてしまうかもしれません。しかし、興味があることを調べ、答えに辿り着いた瞬間に心が躍った経験は誰にでもあるはず。本来、学びとは未知の世界を知り、自分自身とつないでいくワクワクする体験なのです。

小学校主専専攻では、この「学びの楽しさ」を体現できる教師を目指します。全教科を網羅する広範な知識を蓄えると同時に、一つの専修(教科)に所属し、その教科について深掘りの学修を行います。それは単なる知識の習得ではなく、「学びを深める方法」を体得する経験です。自ら学びを楽しむ教師こそが、子どもたちの知的好奇心の扉を開いていけるはず。皆さんの入学を心よりお待ちしております。



理科教育
教授 西田 伸 Shin Nishida



4つの実習でたくましく

小中一貫教育コースには、小学校・中学校の教員になるためだけではなく、小中一貫校の教員になることを見据えた授業科目が数多く用意されています。その1つが4種類の教育実習で、学修の大きな柱となっています。教育学部には、附属施設として附属学校園(附属幼稚園・附属小学校・附属中学校)があります。その中の、附属小学校と附属中学校で実習Ⅰ～Ⅲが行われます。

実習Ⅰでは授業はもちろんのこと、学校全体について観察します。実習Ⅱでは授業方法や学校生活全般に関することを学びながら、実際に子供たちの前に立って授業をします。その後、異学校種の実習として実習Ⅲが行われます。小学校主専専攻の学

生は附属中学校で、中学校主専専攻の学生は附属小学校で実習を行い、小中一貫教育を見通した考え方を身につけます。

4年生になると、県内の公立小・中学校で、より実践的な応用力を育む実習Ⅳが行われます。教育実習をとおして子供たちと触れあい、現職の先生方の姿に多くのことを学び、教員を目指す自分を見つめていきます。小学校・中学校教員への夢に向かって成長する学生たちを充実の4つの実習が支えています。



卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校教諭、
高等学校教諭、特別支援学校教諭、
幼稚園教諭、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状(専修教科)^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状(専修以外の教科)^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}
- 中学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 高等学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 各種条件が合えば、取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

小中一貫教育コース〔中学校主免専攻〕

Unified Elementary and Junior High School Education Course Junior High School Major



見 童期から青年期にかけての発達過程はたいへん多感な時期にあたり、その人の将来に大きな影響を与えます。本専攻はこうした発達過程を幅広い視野を持って見通す能力と、9専修(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語)から1教科を専修として高い専門性を併せ持った教員を養成します。

豊富な実習で現場体験を通して 自身の強みや伸びしろを発見



学校教育課程 小中一貫教育コース
中学校主免専攻(R7卒業)

片平千尋 Chihiro Katahira
鹿児島県 志布志高等学校出身

私は教師になるという夢を叶えるにあたり、教育実習の充実した宮崎大学の教育学部の中学校主免国語専攻に進学しました。

本専攻では、各専門教科の専門性やその教育法だけではなく、他教科の初等教育についても学べます。つまり自分の専門教科を深く学ぶことに加えて、他教科・他校種で子どもたちが義務教育の9年間で何をどのように学ぶのが理解できます。

私は学びの系統性に気付くことができ、自分の行いたい理想の授業と子どもたちの実態とをかみ合わせるができるようになりました。また4度の教育実習で段階的に学校現場に関わり、それが大学の学びを実践に活かす貴重な機会となって、自分自身の強みや伸びしろを発見できたと思います。皆さんも宮崎大学で教師を目指してみませんか？

小中一貫教育コース 中学校主免専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育学部	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 中学校主免専攻では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。	
	課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)				
	未来共創科目(構想・デザイン系)				
	学校教育課程共通科目				
	● 教育フィールド体験	● 介護体験	● 人権同和教育		
	小中一貫教育コース 専門科目(国語専修の例)				
	【教科に関する専門的事項】 ● 国語学Ⅰ～Ⅱ、国文学講義Ⅰ～Ⅱ、国文学演習Ⅰ～Ⅱ、国文学史Ⅰ、書写技法	● 国語学演習Ⅰ、国文学演習Ⅲ、国文学史Ⅱ～Ⅲ、漢文学Ⅰ～Ⅱ、国語科教育法基礎、国語科教育実践研究	【各教科の指導法】 ● 漢文学演習Ⅰ～Ⅱ、書式技法、中等国語科教育法Ⅰ～Ⅲ、小中一貫授業研究(国語)		
中学校及び小学校教育専門科目	小学校、中学校の教員免許取得のための専門科目				
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論 【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)	● 学校教育心理学	● 小中一貫教育の理論と実践	Pick up 教育実習 実習Ⅰでは、実際の学校現場に参加し観察実習を行います。実習Ⅱは実際に子供たちの前に立ち授業を行います。実習Ⅲでは異校種の実習を行います。実習Ⅳでは県内の公立中学校で応用的な教育実習を行います。	
	【教育実践に関する科目】 ● 教育実習Ⅰ		● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)		
			● 教育実習Ⅱ ● 教育実習Ⅲ		● 教育実習Ⅳ ● 教職実践演習(幼小中高)
			● 教育実習基礎研究(中高) ● 教育実習基礎研究(幼少)		
			● 卒業論文		

中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語の9の教科の中から1つ)、小学校教諭二種の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



中学校・小学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性を持ち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人

教科の専門性を強みに 子どもの学びと成長を支える教員へ

本専攻では、教科の専門性を深めながら、教職専門科目や小中連携を見据えた異学校種の教育実習を通して、子どもの学びと成長を支える力を養っていきます。

家庭科では、食・衣・住など家庭生活に関わる題材を通して、生徒が毎日の暮らしを見つめ、よりよい生活を考える授業づくりを探究していきます。日常生活を科学的に見直し、なぜそうするのか、どのような選択が自分や家族のよりよい生活につながるのかを考え、根拠をもって判断する視点を大切にしながら、実践力と専門性を深めていきます。

教育実習や卒業研究を通して、同じ志を持つ仲間と成長できます。子どもの学びと向き合い、ともに成長できる教員を目指して、ぜひ宮崎大学で一緒に学びましょう。



家庭科専修担当
講師 藤本明弘 Akihiro Fujimoto



卒業とともに 2種類の免許状取得

小中一貫コースでは、小学校・中学校の教員になるためだけでなく、小中一貫校の教員にもなれるように、授業科目が数多く用意されています。教育学部には、高校までに習った国語や数学などの「教科専門」の授業科目の他にも、教育学や教育心理学、そして各教科の指導法について学ぶ「教職専門」という授業科目もあります。その中で、「小中一貫教育の理論と実践」や初等・中等別に各教科の「教育法」、さらには今後小学校教員に必要な外国語活動の指導力を育成する特色ある科目が設けられています。

中学校主専攻では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。小学校主専攻では、小学校教諭一種免許とあわせて専修とした1教科の中学校

教諭二種免許を取得します。

こうしたカリキュラムによって、教科に関する強みを持った教員、さらに9年間の見通しの中で児童・生徒の成長を支えられる教員が養成されます。卒業要件単位内で2種類の免許が取得できるので、今後、需要が期待される小中一貫校の教員としても対応でき、進路の幅が広がります。



卒業後の主な進路

中学校教諭、
小学校教諭、
高等学校教諭、
特別支援学校教諭、
幼稚園教諭 他

取得可能な免許、資格

- 中学校教諭一種普通免許状(専修教科)^{※1}
- 小学校教諭二種普通免許状^{※1}
- 高等学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}
- 中学校教諭二種普通免許状(専修以外の教科)^{※2}
- 小学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 各種条件が合えば取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

教職実践基礎コース

Teaching Profession Practice Basic Course



グ ローバル化や少子高齢化、情報化などを背景に、現代社会はめまぐるしい変化の中にあります。そのような社会を生き抜く力を次世代の子どもたちに身につけさせるため、学校教員に求められる資質・能力も多様化・高度化しています。本コースでは、小学校教員としての基本的な資質・能力とともに、今後の社会で必要とされる問題解決能力や批判的思考力、他者と協働する力などを兼ね備えた教育実践力の高い教員を養成します。

少人数制で教育にまつわる幅広い多様な知識が身につく



学校教育課程
教職実践基礎コース 3年

木村紗都 Sato Kimura

宮城県 宮崎南高等学校出身

井上航志 Koushi Inoue

兵庫県 八鹿高等学校出身

濱砂美望 Fumi Hamasuna

宮城県 宮崎南高等学校出身

「実習やフィールドワークで実際に子どもと関わる機会が多い点に魅力を感じ、本コースを志望しました」と木村さんは話します。濱砂さんは現代の教育課題や学級経営について学べるカリキュラムがあるところに魅力を感じたそうです。井上さんは「地域に根差した人材教育を行っている点」を本コースの良さとして挙げます。

3人とも、少人数教育でありながら指導教員の人数が充実している点や教育史、ICTの活用、教育行政など、教育に関する幅広い領域を学ぶことができる環境が整っていることも本コースならではの良さだと感じています。

本コースでは人前でプレゼンテーションを行うなど実践的な授業も豊富です。井上さんは「先生や先輩から話を聞く機会が多く、縦横のつながりが強い。『人に教える』という高いハードルを前に、相談しやすい環境があることに助けられています」と語ってくれました。濱砂さんも、授業の工夫や仕掛けに触れる機会が多く「教育に関する知識を深められます」と笑顔で教えてくれました。



教職実践基礎コース 教職実践基礎専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			Pick up 高い専門性を持った教員の養成
	課題発見科目(データサイエンス、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)			学校現場で起こる様々な問題に対して、教育学の理論をベースに、主体的・積極的に取り組んでいける高い専門性を持った教員の養成を行っています。
	未来共創科目(構想・デザイン系、協働・創造系)			
学校教育課程共通科目				
	● 教育フィールド体験	● 介護体験	● 人権同和教育	
教職実践基礎コース 専門科目				
	● 現代の教育課題と学校	● 教育社会学 ● ICT活用教育 ● 学校と教員の歴史 ● 教育方法学	● 学校制度論 ● 教育学総合演習 ● 学校教育史演習 ● 教育社会学演習 ● 教育方法学演習 ● 情報教育演習	● 学校・学級経営論 ● 教育課程・授業研究論 ● 道徳授業論 ● 地域教育コラボレーション(SPARC科目)
	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ● 国語、図工	● 社会、算数、理科、生活、音楽、体育、家庭、小学校英語	● 各教科の指導法	
小学校の教員免許取得のための専門科目				
小学校教育専門科目	【教育の基礎的理解に関する科目】 ● 教育本質論 ● 教育制度論 ● 教育課程論			Pick up 先進的な6年一貫教育の実施
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ● 学校教育心理学 ● 特別活動論 ● 教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ● 教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)			大学4年間と教職大学院2年間を合わせた6年間を見通したカリキュラムとなっています。
	【教育実践に関する科目】 ● 教育実習Ⅰ			● 教育実習Ⅳ ● 教職実践演習(幼小中高) ● 卒業論文
			● 小中一貫教育の理論と実践	
			● 道徳教育論 ● 総合的な学習の時間の指導法 ● 生徒指導概論(進路指導を含む。)	
			● 教育実習Ⅱ ● 教育実習Ⅲ ● 教育実習基礎研究(幼小)	

教職実践基礎コースは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に対応できる教員の養成を目指しています。そのため、教育の基礎理論、教育課程及び指導法について、教職大学院までの6年間を見通した学修を進めます。本コースでは卒業要件として小学校教諭の一種免許を取得します。また、各種条件が合えば他の学校種の免許も取得できます。したがって本コースでは、教育に対する高い関心があり、教職を目指す次のような人を求めています。



幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能を有し、これらを教育実践に活用しようとする意欲を持っている人

幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす意欲のある人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲を持っている人

地域に根差す学校づくりの中心となる小学校教員の養成を目指して

本コースでは、教育の諸理論と実践力を兼ね備え、地域に根差す学校づくりの中心となる小学校教員の養成を目指しています。教職大学院への進学を前提とした、6年間を見通したカリキュラムを編成するとともに、市町村教育委員会等と連携した教育現場でのフィールドワークを学部1年次より充実させています。

1学年15名定員に対して教員が8名と手厚い指導体制に加え、3年次のゼミ所属後もコース全体での授業や発表会、行事が多く、専門の異なる複数の教員が連携し合いながら、多角的な視点から学生の力量形成を支えるのも本コースの特色です。

大学での講義やフィールドワーク等を通して、タテ・ヨコ・ナナメのつながりを学内外で形成し、教員として欠かせない、他者と関わる力や協働する力を高めたい方、ぜひ一緒に学んでいきましょう。



教職実践基礎コース長
准教授 盛満弥生 Yayoi Morimitsu

発展演習研究成果発表会での集合写真(3、4年生とコース教員)



教職大学院との強い連携

本コースでは、高い教育実践力と専門的知識をもった教員を養成するために、大学院での2年間を合わせた6年間を見通したカリキュラムがつくられています。学部の4年間では、教員免許状取得に関わる教科教育に関する科目、教育学や教育心理学、教育実習などの教職科目を履修します。これに加え、本コースでは、教育の歴史や学校制度など、幅

広い視点から学校教育を学ぶ科目が用意されています。また、学級経営や学習集団づくり、情報メディア活用、道徳教育、小規模校の実験など、より実践的に学べるようになっています。さらに、教育現場でのフィールドワークや多様なワークショップなどを通して、教員としての資質を多面的に高めています。これらの科目のほとんどは、教職大学院で科目を担当する教員によって担われ、教職大学院での専門性の高い学びにつながっています。

卒業後の主な進路

大学院進学、小学校教諭、
中学校教諭 他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}
- 中学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※2}
- 学芸員^{※4}

※1 卒業時に取得できる免許。
 ※2 各種条件が合えば、取得できる可能性のある免許。
 ※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。
 ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

発達支援教育コース〔子ども理解専攻〕



Developmental Support Education Course Understanding Children Major



理学の理論と知識を活用して、子どもの学校生活を支える教員を育成します。
科学的・実証的な心理学のアイデアを使って、子どものメンタルヘルス、学業の向上を図ります。

子どもの発達と心を理解し 実践力を育み 子どもの成長を支える存在に



学校教育課程 発達支援教育コース
子ども理解専攻 3年

写真左: **高橋 香奈美** Kanami Takahashi
熊本県 第一高等学校出身

写真右: **赤峰 優羽** Yu Akamine
宮崎県 都城西高等学校出身

「幼児期の発達に関するだけでなく、子どもの心理学を学べるところに大きな魅力を感じ、本専攻を志望しました」と赤峰さん。高橋さんは「本専攻は、教育についての学びを心理学とともに深めていきたいと思っていた私にとって、理想の環境でした」と語ります。多様な知見から心理学を学べ、実習の機会が1年次から設けられているため、その学びをすぐに実践につなげることができます。また、少人数制教育で、先生方が丁寧にサポートしてくれるため、より深い学びを得ることもできるのだそうです。

「小学校と幼稚園の教員免許取得を目指して、発達段階に応じた子どもの心を理解していきます。また、子どもたち一人ひとりに寄り添い、安心して過ごせる環境を作り上げていくための力を身に付けていくことができます」と2人とも力強く語ってくれました。

発達支援教育コース 子ども理解専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 子ども理解専攻では、小学校教諭一種免許及び幼稚園教諭一種免許を取得します。
		課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)		
		未来共創科目(構想・デザイン系)		
	学校教育課程共通科目			
	●教育フィールド体験	●介護体験	●人権同和教育	
	発達支援教育コース 子ども理解専攻 専門科目			
	●発達心理学	●学校教育の臨床心理学	●教育心理学研究法Ⅰ～Ⅱ	
	幼稚園の教員免許取得のための専門科目			
	●幼児と言葉 ●幼児と表現 ●保育内容総論	●幼児と健康 ●幼児と環境 ●幼児の理解と教育相談 ●幼稚園観察実習	●幼児と人間関係 ●保育内容の指導法	●幼稚園教育実習
小学校教育専門科目	【教科及び教科の指導法に関する科目】 ●国語、図工			
		●社会、算数、理科、生活、音楽、体育、家庭、小学校英語	●各教科の指導法	
	小学校の教員免許取得のための専門科目			
	【教育の基礎的理解に関する科目】 ●教育本質論 ●教育制度論 ●教育課程論	●学校教育心理学	●道徳教育論 ●総合的な学習の時間の指導法 ●生徒指導概論(進路指導を含む。)	Pick up 心理学に特化し、子どもの心理を理解 心理学の知見を学び、それを教育場で活用することのできる教員を育成することを目標としています。
	【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】 ●特別活動論 ●教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む。) ●教育相談(カウンセリングの基礎的理解を含む。)			
【教育実践に関する科目】	●教育実習Ⅰ ●幼稚園観察実習	●教育実習Ⅱ ●教育実習基礎研究(幼小)	●幼稚園教育実習もしくは教育実習Ⅳ ●教職実践演習(幼小中高) ●卒業論文	

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。本専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性、さらに学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力を身に付けるための努力を怠らない人

心理学の知見を学校現場の最前線に!

子どもたちは学校や園で、様々なものごとを認識し、思考し、感情を抱き、記憶します。学ぶ対象への意欲も大切です。また、心や脳の働きは成長とともに発達し、身体の発達との相互作用やアンバランスが生じるタイミングがあります。子どもの育ちを導く教職には、タイミングをみる眼も重要です。いじめ、暴力、不登校やひきこもり、発達障害、保護者支援。学校現場にはさまざまな課題があり、対処や予防のための科学的知見やものの見方が大切です。学校の至る所に科学的・実証的な心理学の知見が活用できます。子ども理解専攻は、心理学の知識を基礎にして、子どもの学びや生活や成長を支えるために科学的・実証的に考え実践できる教員の養成を目指しています。



子ども理解専攻担当
教授 立元 真 Shin Tatsumoto



ココに
注目!

国内でも希少な教育現場における心理学研究が盛ん

本専攻では、心理学を学び、それを応用した教育・研究が行われています。テーマは幼児・児童・生徒のメンタルヘルスの向上です。本専攻の教員は、このテーマのもとで、幼稚園・小学校・中学校の先生方と豊富な共同研究の実績をもっています。たとえば、子どもが主体的に学ぶ授業を作る、子どものストレスを改善

予防するストレスマネジメント教育、幼児・児童・生徒の対人関係を育てるソーシャルスキル教育、子どもの不安や抑うつに対する予防プログラムなどがすでに幼稚園・小学校・中学校などの教育現場で実践されています。こうした実践活動には学生も積極的に参加し、授業で学んだ子ども理解に関する専門的内容を実践の場で生かすことができるようになっています。学生の中から現職教員と共同研究を通して身近に交流できる機会が用意されていることは、教員をめざす学生にとって大きな魅力になるはずです。

卒業後の主な進路

小学校教諭、幼稚園教諭、
認定こども園職員、大学院進学
他

取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状^{※1}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※1}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 特別支援学校教諭二種普通免許状^{※2}
- 学校図書館司書教諭^{※3}
- 学芸員^{※4}

※1 卒業時に取得できる免許。

※2 各種条件が合えば、取得できる可能性のある免許。

※3 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

発達支援教育コース〔特別支援教育専攻〕

Developmental Support Education Course Special Needs Education Major



知 的障害や肢体不自由、病弱、発達障害のある児童・生徒が抱える課題や困難に対する指導・支援に必要な知識や技能などの専門性を身につける学修を通して、障害のある児童・生徒の心身の発達を指導・支援によって促し、将来の自立や社会参加を実現できる特別支援学校の教員を養成します。

ボランティアで地域と関わり 実戦しながら学び成長できる



学校教育課程 発達支援教育コース
特別支援教育専攻 4年

津崎 奈々美 Nanami Tsuzuki
熊本県 天草高等学校出身

特別支援教育に興味を持ったきっかけは、中学校でのボランティアです。知的障害のある子どもとの交流会に参加したことでした。オープンキャンパスで大学の雰囲気に惹かれたことや、本コースの『チャレンジ教室』に魅力を感じて宮崎大学を志望しました。

入学後は、子どもたちと関わりながら実践的に学べる機会が多いと実感しています。参加できるボランティアも多く、障がい者スポーツの団体や地域の方々と関われる点も魅力です。さまざまな障がいのある子どもやその保護者とも接するため、多面的に学ぶことができます。

『チャレンジ教室』では、学生の立場でありながら指導案を作成するなど、より現場に近い学びを経験します。また、本コースは少人数制のため、縦横のつながりが深いです。困った時に相談しやすい環境も気に入っています。

将来は、宮崎で特別支援教育に携わりたいです。ボランティアなどを通して地域とのつながりができたことで、その思いが具体的になりました。お世話になった先輩たちと一緒に働けるよう、学びを積み重ねていきます。



発達支援教育コース 特別支援教育専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			Pick up 卒業とともに2種類の免許取得 特別支援教育専攻では、小学校教諭一種免許及び特別支援学校教諭一種免許を取得します。
	課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)			
	未来共創科目(構想・デザイン系)			
学校教育課程共通科目	●教育フィールド体験		●介護体験	●人権同和教育
	小学校教育専門科目			
発達支援教育コース科目	●子どもの発達と教育支援		●教育実習Ⅰ	●教育実習Ⅱ
	特別支援学校の教員免許取得のための専門科目			
特別支援教育に関する科目	●障害児教育学総論 ●知的障害者の心理・生理・病理 ●障害児教育課程		●肢体不自由者の心理・生理・病理 ●病弱者の心理・生理・病理 ●障害児アセスメント ●肢体不自由児教育 ●発達障害教育総論 ●視覚障害教育総論 ●聴覚障害教育総論 ●特別支援基礎実践Ⅰ ●特別支援学校観察実習	●知的障害児教育 ●病弱児教育 ●特別支援学級経営 ●障害児指導法(前期) ●障害児指導法(後期) ●重複障害児教育 ●特別支援基礎実践Ⅱ
				Pick up 「アクティブ・ラーニング」で学びの本質に迫る 特別支援教育の知識をしっかりと身に付けることで基礎力を固め、その基礎力を土台にしたアクティブ・ラーニングの積み重ねによって教育実践力を磨く「学びの環境」があります。
				●特別支援学校教育実習 ●卒業論文

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度および習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。したがって、本専攻では特別支援教育への関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。



特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性を持つ人

学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心を有している人



特別支援教育専攻担当
教授 若林上総 Kazusa Wakabayashi

特別支援学校の先生を本気で目指す

特別支援学校は、障がいのある子どもが学ぶ場です。子ども一人ひとりの障がいの状態は異なるため、適切な指導と支援を行う先生が必要です。

特別支援教育専攻では、特別支援学校の先生に求められる「専門性」と「人間性」を4年間で養います。カリキュラムでは、特別支援教育の歴史や概念、障がいのある子どもの心理・生理・病理、指導法、教育課程、学級・学校経営まで幅広く学びます。学修では、講義に基づくディスカッション、知識を活用した演習・実習、体験を通じた省察を重視し、実践的に学べます。

さらに、本学は宮崎県で唯一、大学院にも特別支援学校教員の養成課程を設置。学部での学びを深める環境が整っています。特別支援学校の先生を本気で目指す皆さんの入学をお待ちしています。



ココに
注目!

「アクティブ・ラーニング」で 学びの本質に迫る

特別支援教育専攻では、特別支援教育の知識をしっかりと身につけることで基礎力を固め、その基礎力を土台にしたアクティブ・ラーニングの積み重ねによって教育実践力を磨く「学びの環境」があります。例えば、特別支援学級に在籍する児童・生徒の観察を通して、一人一人の実態に応じた授業づくりに取り組む授業を展開しています。また、発達障害のある子どもとその保護者を対象とする教育プログラム「チャレンジ教室」には、学生もプログラムの計画や実践に参加しています。初めは子どもとの関わりに戸惑っていた学生も、経験を重ねるごとに自然な関わりを身に付けていきます。

先輩から後輩へ 「みんなで学び合う」

特別支援教育専攻の学生たちに聞くと必ず返ってくるのが「先輩、後輩の関係がいい」、「先生方との距離が近く、話しやすい」という答え。先生方は専攻の学生一人ひとりに対してきめ細かく指導を行っています。また、授業や研究活動、課外活動においても上級生と下級生が協働する機会が多く、先輩学生が後輩に対し積極的にアドバイスし、相談に乗っています。互いに意見を出し合い、助け合い、学び合う伝統があります。県内外で多くの先輩も活躍しているので、卒業して社会に出ても宮大OB、OGとのつながりを持つことができます。

卒業後の主な進路

特別支援学校教諭、小学校教諭、
大学院進学

取得可能な免許、資格

- 特別支援学校教諭一種普通免許状^{※1※2}
- 小学校教諭一種普通免許状^{※2}
- 幼稚園教諭二種普通免許状^{※3}
- 幼稚園教諭一種普通免許状^{※3}
- 中学校教諭二種普通免許状^{※3}
- 学校図書館司書教諭^{※4}
- 学芸員^{※5}

※1 取得可能な領域は知的障害、肢体不自由、病弱の3領域です。

※2 卒業時に取得できる免許。

※3 各種条件が合えば、取得できる可能性のある免許。

※4 本学では資格取得に必要な単位の一部を修得できます。修得すれば「修了証書」が交付されます。

※5 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

医学部

良き医療人材の育成と
生命科学分野の研究拠点を
目指して

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、平成13年に看護学科を併設しました。平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。



看護学科

P 21

医学科

P 19



<https://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/>

医学部の教育理念・目標

教育・研究・診療を通して、地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、高潔かつ温かな人間性を有し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち常に向上のための努力を惜みず、地域の問題を理解すると共に豊かな国際性を有する医師、看護師、研究者、教育者を育成します。



施設紹介



臨床技術トレーニングセンター



フロンティア科学総合研究センター



総合教育研究棟



総合周産期母子医療センター




■ 医学部の使命

宮崎大学医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命としています。

卒業生からのメッセージ



 宮崎大学医学部附属病院
看護師

寺田 克也 さん Katsuya Terada
熊本県 人吉高等学校出身

ムリな医療の提供を行いながら、副看護師長としてチームを支える立場にいます。看護は人の人生に深く関わる、やりがいのある仕事です。宮崎大学での学びは、あなたの可能性を大きく広げてくれます。ぜひ一歩を踏み出してください。あなたの挑戦を心から応援しています。

未来を支える看護師へ — 宮崎大学で踏み出す第一歩

宮崎大学医学部看護学科で学び、現在は附属病院で看護師として働いています。学生時代は、基礎から実践まで段階的に学べる環境と、親身に寄り添ってくれる先生方の支えがあり、自信を持って臨床に出ることができました。

現在は特定行為看護師として、医師とのタスクシフト、タスクシェア、タイ



医学科

School of Medicine



地 地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に国際的にも幅広く活躍できる人命尊重を第一とした医師、医学研究者を育成します。

地域から、世界へ 志を全力で後押しする環境がある



医学科 4年

迫口 享平 Kyohei Sakoguchi
宮崎県 宮崎北高等学校出身

地元で貢献したいという思いに加えて、国際的な臨床研修にも興味があり、『世界を視野に、地域からはじめよう』という宮崎大学のスローガンが私にぴったりだと思いました。

本学は学生がやりたいことに挑戦できる環境が充実しています。地方にしながら海外や都市部で学ぶ機会が用意されており、医療のための英語を学ぶプログラムでは、海外で1か月間の臨床実習を経験できます。研究者を育成するコースもあり、医療にとどまらない「医療+a」の学びを後押ししてくれる点が魅力です。

勉学以外では、医学部ラグビー部でキャプテンを務めました。医学生のみで争う九州大会をはじめ、2つの大会で優勝を経験できたことは、大きな財産となっています。

将来は、地域医療に貢献できる医師として成長することを目指しています。海外で先端技術を習得する道や、都市部と地方をつなぐ取り組みを模索するなど、多面的で広い視野を持つ医師を目指します。

医学科 カリキュラム

※2026年度入学生までのカリキュラムとなります。

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系) 課題発見科目(データサイエンス系、自然・生命・技術系、人文・社会・芸術系、地域・国際・学際系) 未来共創科目(構想・デザイン系)	英語					
基礎形成科目	EMP I (医学研究演習 I) 肉眼解剖学 I 組織学総論 地域医療学	生命科学展望 (医学研究演習 II) 肉眼解剖学 II 組織学各論 機能生化学 医科生化学 医科生理学	統合生理学 免疫・生体防御学 寄生虫学 チュードリアル ~症例から学ぶ~ 環境中毒学 医学実験動物学 臨床倫理基礎論 病理学	研究室配属 (医学研究演習 III) 薬理学 微生物学 神経科学 公衆衛生学 公衆衛生学実習 法医学	(EMP II) (医学研究演習 IV)	(EMP III) (医学研究演習 V)	(医学研究演習 VI)
臨床医学科目			循環器 消化管 呼吸器 肝・胆・脾 膠原病、感染症 臨床実習前の共用試験 (知識の習得状況を測定する試験)	神経・運動器・脊椎 眼科 精神医学 放射線医学入門 総合診療学 内分泌・代謝 血液 腎・尿路 皮膚科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 歯科口腔外科学 救急治療と急性期の生体管理 新生児・小児科学 生体医学 老年医学と緩和医療 リハビリテーション医学 臨床遺伝学 臨床腫瘍学 薬剤処方学、東洋医学 臨床診断学 共用試験 <CBT><Pre-CC OSCE>	臨床実習前の共用試験 (技能や態度を評価する客観的臨床能力試験)		
				クリニカル・クラークシップ I (4年~5年) <病理学・臨床検査医学><内科学> <精神医学><小児科学> <外科学><整形外科学> <リハビリテーション医学> <皮膚科学><泌尿器科学> <眼科学>	クリニカル・クラークシップ I 到達度試験 クリニカル・クラークシップ II (5年~6年) <耳鼻咽喉科学><産婦人科・周産期学> <放射線医学><麻酔学> <脳神経外科学><歯科口腔外科学> <薬剤処方学・東洋医学・医療安全学> <救急医学><CMC(田野病院)>	臨床実習後の共用試験 (技能や態度の習得状況を見定める実技試験)	
						Post-CC OSCE	

()は自由科目

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。



医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力(主体性・学問への関心)を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力(知識・技能)と他者と協調・共感できる豊かな人間性(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。



医学科 感覚運動医学講座眼科学分野
教授 池田康博 Yasuhiro Ikeda

誰かの力になりたい その思いを医学へ

医学は、病気を治すための知識と技術を学ぶだけでなく、不安や苦しさを抱える患者さんに寄り添い、相手の立場になって考えながらその人らしい人生を支える力を育てる学問です。

宮崎大学医学部では、基礎から臨床までしっかり学びながら、地域医療の大切さも実感できるような卒前・卒後一貫した教育カリキュラムを整備しています。また、人に信頼される医療人としての姿勢を育てることも重視しています。仲間とともに学び、支え合いながら成長できる6年間は、将来多くの人に必要とされる医師になるための大切な土台となるはずで。誰かの力になりたいという思いを、ここで確かな力に変えていきましょう。



ココに
注目!

【ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業： KANEHIROプログラム】



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域における医療体制の見直しや医師の地域偏在及び診療科偏在を解消する重要性が再認識されたことを受け、文部科学省は新たな医療人材養成拠点形成事業を進めており、その全国11拠点の一つとして宮崎大学が選ばれました。この事業を通じて構築される「KANEHIROプログラム」では、宮崎県高岡町出身の高木兼寛を学祖とする東京慈恵会医科大学との大学間包括的連携協定を基盤に、地方と都市の地域特性を補完し合いながら充実される新たな医学教育を展開しています。

東京慈恵会医科大学附属病院における約一ヶ月間の診療参加型臨床実習や、宮崎と東京を遠隔通信で結んだVR・シミュレーション実習などを通じて、ポストコロナ時代の多様な医療ニーズに応え、診療にあたる地域を問わずに適切な医療を実践できる医師養成に尽力しながら、地方が抱える医師不足や医師偏在の解消に資する先駆的な医学教育モデルの確立に取り組んでいます。



卒業後の主な進路

臨床研修医

(本学附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院)

取得可能な免許、資格

■ 医師(国家試験受験資格)

看護学科

School of Nursing



社 会と地域の保健医療に貢献できる人材を育成します。何よりも豊かな人間性を大切に、人々の健康な生活への援助を実践するために附属病院の最先端医療設備を活用した高度な看護学を学びます。

病院・地域・海外で学び 多角的な視点を持つ看護職へ



看護学科 4年

阪口 絵凜 Erin Sakaguchi
熊本県 九州学院高等学校出身

附属病院を持ち、現役の看護師や医師からリアルな知識を得られる環境に魅力を感じ、宮崎大学医学部を志望しました。宮崎大学は総合大学であるため、教養分野を他学部の学生とともに学べる点も大きな利点だと感じています。

看護学科における「ひむか看護実習」では、地域の方々と協議しながら生活の質向上に向けた取り組みを行いました。私は西米良村で実習を行い、人材不足の中で工夫しながら暮らす人々との交流を通じ、看護職の役割やまちづくりの視点を体験的に学びました。

医療英語にも興味があり、1年生から医療英語を学ぶプログラムを受講しました。授業量が多いものの、総合実習でタイを訪れるプログラムも設けられており、日本とは異なる視点を養うことができると期待しています。

そして私は、このような学習環境の中で勉学や実習に励みながら、将来は助産師を目指すとともに、多角的な視点を持つ看護職になることを目標としています。



看護学科 カリキュラム

※2026年度入学生までのカリキュラムとなります。

	専門基礎科目			専門科目							【保健師課程】	
	人間理解	健康と疾病理解	保健社会の仕組み理解	基礎看護学	在宅看護学	地域看護学	成人・老年看護学	精神看護学	小児看護学	母性看護学	統合と実践	公衆衛生看護学分野
4年	臨床倫理	臨床薬理学		症状・徴候からみる フィジカルアセスメント							看護研究Ⅱ 災害看護論 総合実習 看護教育発達論 かみ看護 心地よさをもたらす看護技術 AYA世代の健康課題	公衆衛生看護学分習 公衆衛生看護管理 公衆衛生看護管理演習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
3年	(ENP BⅢ)			看護管理学 医療安全論	ひむか看護実習Ⅱ 在宅看護援助論 在宅ケア実習		成人看護援助論Ⅳ 成人看護援助論Ⅴ 老年看護援助論Ⅱ 成人・老年看護学実習Ⅰ 成人・老年看護学実習Ⅱ 成人・老年看護学実習Ⅲ	精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習	小児看護援助論Ⅲ 小児看護学実習	母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習	看護研究Ⅰ 遺伝看護 健康運動看護実践論	公衆衛生看護学概論 地区活動論 保健指導技術論 健康教育論Ⅱ 疫学演習
2年	臨床心理学 (ENP BⅡ)	感染症学 薬理学 疾病・治療論総論 疾病・治療論Ⅰ 疾病・治療論Ⅱ 疾病・治療論Ⅲ	公衆衛生学 疫学・保健統計 社会福祉論 看護関係法規	基礎看護技術Ⅲ 看護過程 基礎看護学実習Ⅱ	在宅看護論	対象別地域看護活動 健康課題別地域看護活動 健康教育Ⅰ	成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ	精神看護学概論 精神看護援助論Ⅰ	小児看護学概論 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ	母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ		
1年	発達論 医学・医療概論	解剖生理学 解剖生理学演習 栄養生化学 栄養生化学演習 臨床病態学		看護学原論 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ ひむか看護実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 看護理論	ひむか看護論							

教養教育科目

導入科目: 大学教育入門セミナー／情報・データリテラシー／英語／専門接続系
課題発見科目: テーマサイエンス系／自然・生命・技術系／人文・社会・芸術系
未来共創科目: 構想・デザイン系

斜 体: 選択科目
() : 自由科目
網掛け: 保健師課程

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。



看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力(知識・技能)を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心(学問への関心)、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力(主体性)、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。



看護学科 生活・基盤看護科学講座 基礎看護学領域
教授 澤田 浩武 Hirotake Sawada

「身体の仕組みを知ること」から始まる看護の学び

看護の力は、「人の身体がどのように働いているのか」を理解するところから始まります。私は、解剖生理学や栄養学といった基礎医学の科目を担当し、看護の実践に欠かせない“人体の基盤”を、学生のみなさんと共に学んでいきます。基礎医学の学びは、一見すると難しそうに感じるかもしれませんが、体の仕組みが分かると、患者さんの症状の裏側にある“理由”が見えてきます。「なぜ発熱するのか」「なぜ呼吸が苦しくなるのか」といった問いへの理解が、看護の理解を深め、観察と判断、看護ケアの質を支えます。

看護学の世界は、みなさんが思っている以上に奥深く、そして面白いものです。宮崎のあたたかな環境の中で、ぜひ一緒にその魅力を探究してみませんか。



より良い看護実践と看護学の発展のために！

宮崎大学には医学部看護学科を母体とした大学院看護学研究科があり、看護学の発展のための研究を行うとともに看護の質向上に寄与する人材育成に取り組んでいます。

看護学研究科には、実践看護者育成コースと研究者育成コースの2つのコースがあります。実践看護者育成コースでは、教育・臨床で研究的思考を持って実践する看護専門職として、がん看護専門看護師と助産師を育成しています。研究者育成コースでは、看護学と看護実践をつなぐ研究に必要な基礎的能力を身につけ、EBP(Evidence Based Practice)を実践できる臨床現場の若手看護師やリーダー、新たな看護学の知を創出できる教育者・研究者を育成しています。共通して履修するコースワークでは、研究の基本を学ぶとともに医療人としての倫理的感受性を涵養するカリキュラムを用意しています。また、地域特性に対応しながら学際的・国際的視野を持つことや、研究を通して創出した看護の

知を実装するために実践者、研究者、教育者間で連携・協働することも大事にしています。

看護学研究科で、より良い看護実践のための『批判的思考』を身につけ、人々の生活や暮らしの質の向上のために『看護学の知』を創出する方法論と一緒に学びませんか？

※看護学研究科は、令和9年度より健康科学研究科へと名称を変更し、新たに健康科学研究科心理学専攻(修士課程)および看護学専攻(博士後期課程)の設置を予定しています。それに伴い、看護学研究科(修士課程)は健康科学研究科看護学専攻(博士前期課程)となる予定です。なお、設置計画等は予定であり、内容は変更となる可能性があります。



卒業後の主な進路

本学部附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院、宮崎県職員(保健師)、他の自治体職員(保健師)、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 看護師(国家試験受験資格)
- 保健師(国家試験受験資格)^{※1}

※1 選抜制、2年次後学期に履修生の選考試験を行う。保健師免許取得後、教育職員免許法の所要単位を修得し、申請により養護教諭二種免許を取得することができます。

工学部

人に役立つ、人を幸せにする。



人間の役に立つ技術や製品を開発する。
 人間の生活を豊かにし、人間を幸せにする。
 だから、ものづくりの原点は自分づくり、ひとづくり。
 あたたかな体温を持つ研究者は、地域に世界に貢献できる。

■	工学科
■	化学生命プログラム
■	土木環境プログラム
■	半導体サイエンスプログラム
■	電気電子システムプログラム
■	機械知能プログラム
■	情報通信プログラム
P	35
P	33
P	31
P	29
P	27
P	25

工学部は、宮崎県唯一の工学系学部として、宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部を目標に、今後ますます進展する高度な科学技術に挑戦し、創造することができる人材の育成につとめ、国際的にも評価される質の高い学術研究活動を進めています。さらに、地域産業の発展を推進することにより、地域社会に知的な貢献をすることにつとめています。

■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)


本学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人(主体性)
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人(主体性)
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人(協働性、表現力)
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人(学問への関心、思考力)
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人(知識・理解、思考力)



卒業生からのメッセージ

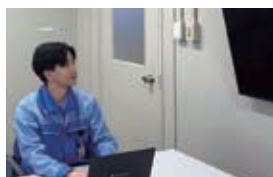


 旭化成株式会社
旭化成エンジニアリング/
ビジネスイノベーション事業部/
デジタル技術部/
DX・IT推進グループ(出向中)

穴繁 優大 さん Yudai Anashige
東京都 豊多摩高等学校出身

分野を越えて広がる学びと挑戦の可能性

大学では電気工学や回路設計、半導体などの電子デバイス、AI分野についても幅広く学び、基礎力を身につけることができました。大学と企業の連携も活発で、地域社会に貢献するデジタル人材の育成を目的とした「みやデジ・



アカデミー」に参加し、企業の方々からデジタル技術やAI活用について実践的に学ぶ機会がありました。

現在は旭化成に勤務し、社内研修を効率的に運営するためのシステムづくりにおいて開発リーダーを担当しています。また、デジタルマニファクチャリングを国内工場へ展開できるかを検証する取り組みにも携わっています。延岡高校でメンター活動にも参加し、生徒の学びや挑戦を後押しする地域貢献活動も行っています。

大学時代に培った課題発見力や論理的思考力を活かしながら、日々新たな挑戦を続けています。宮崎大学には多くの可能性が広がっており、積極的に行動し挑戦することで、自分の未来を切り開くことができると実感しています。



女子中高生の理系進路選択支援を強化します！

工学部では2023年度から女子中高生の理系進路選択支援プログラム「集まれ！宮崎アマテラスガールズ～サイエンスの岩戸を開けてみよう～」を実施しており、共同機関及び連携機関と密接に連携しながら中学生・高校生を対象とした様々なイベント等を年間を通じて開催しています。詳細はHPをご確認ください。



https://www.miyazaki-u.ac.jp/jyoshi_shien/

化学生命プログラム

Applied Chemistry Program



化 学生命プログラムでは、化学、数学、情報などの基礎から先端的な応用化学、生命、材料等にわたる専門知識を学ぶことができます。持続可能で豊かな生活を実現するための物質・エネルギー生産ならびに地球環境および生態系の保全に貢献できる人材を育成します。

エネルギー問題への問いから始まり 実験と交流で広がる学びの世界



化学生命プログラム 2年

清水 桃香 Momoka Shimizu
福岡県 九州産業高等学校出身

宮崎大学工学部を志望した理由は、水素エネルギーを研究している九州内でも数少ない大学の一つだったからです。高校でエネルギー問題について調べた時、温暖化対策は水素などの代替エネルギーで解決できるのではないかと考えるようになりました。入学した当初は専門科目の講義が少なく、基礎科学実験で物理と化学の実習を行う程度でしたが、タンパク質やイオン交換樹脂を用いた実験に取り組むうちに、変化が目に見える化学実験に面白さを感じるようになりました。

宮崎大学工学部には「工学×女子交流会」という情報交換の場があり、定期的にランチ会や勉強会が開催されています。そこで親しくなった先生から留学生イベントの運営に誘われ、関わることができたのは良い経験になりました。

専門科目の学びに加えて、自分の意欲やアンテナの張り方次第でさまざまなことに挑戦でき、その取り組みを支えてくれる環境が整っていることも本学の魅力です。



工学科化学生命プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			
	課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)			
	未来共創科目(構想・デザイン系、共働・創造系)			
工学基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅰ・Ⅱ 物理科学Ⅱ 基礎科学実験 工学のための物理学演習 工学のための数学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 化学概論 数理情報Ⅰ・Ⅱ 力学 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅲ 応用数学 電磁気学 力学 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語 技術者倫理と経営工学
共通融合科目	<ul style="list-style-type: none"> 【概論科目】 工学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 【分野融合科目】 現象と数理 化学生命概論 土木と環境 量子・ナノテクノロジー概論 電気電子工学概説 メカトロニクス 情報とコンピュータ 	<ul style="list-style-type: none"> 【PBL科目】 プロジェクト演習 	<ul style="list-style-type: none"> Pick up 課題演習Ⅰ 応用化学が関連する最新の課題(研究基盤技術やAI活用、安全管理など)を創意工夫して解決する演習を行い、課題探求および問題解決能力を養います。
専門必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 物理化学Ⅰ・Ⅱ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 分析化学 	<ul style="list-style-type: none"> 化学工学 高分子化学Ⅰ 生命化学Ⅰ・Ⅱ 化学生命実験Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 反応工学 安全工学と生命倫理 課題演習Ⅰ・Ⅱ 分子生物学 化学生命実験Ⅱ・Ⅲ
専門選択科目	<ul style="list-style-type: none"> Pick up 化学生命実験Ⅰ 化学生命実験Ⅰ～Ⅲでは化学実験の基本事項を身につけ、実験体験を通じて化学実験の面白さを体験し、化学の勉学意欲を高めることを目的とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 無機材料化学 有機化学Ⅲ 微生物工学 	<ul style="list-style-type: none"> 分光分析学 機器分析化学Ⅰ・Ⅱ 高分子化学Ⅱ 生体超分子化学 細胞生命工学 無機反応化学 電気化学 分離工学 生体反応工学 化学生命特論 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究 水環境
	工場実習、学外技術研修			長期インターンシップ
	海外体験学習			

求める学生像



化学生命プログラムでは、応用化学および生命化学に関連する幅広い知識を習得できる教育を行います。学んだ知識を活用し、問題発見・解決できる創造性豊かな技術者や研究者の育成を目指しています。そこで本プログラムでは次のような人材を求めています。

- (1) 化学の知識・技術・考え方を真剣に学び、それを将来、応用化学あるいは生命化学などの分野で活かしたいという情熱を持っている人。
- (2) 化学および生命化学に関連する自然科学に対して幅広い興味を持ち、好奇心豊かな人。
- (3) 実験や観察が好きで、科学の様々な現象について考え、それを表現することに情熱を持っている人。
- (4) 数学、理科、情報技術および語学の基礎学力を持ち、それを身近な問題に応用できる人。

機能性ナノ材料の設計から 創製・応用展開まで

当研究室では、化学を通じて新規な材料の開発に取り組んでいます。特に、ナノ材料とよばれる1から100ナノメートルぐらいまでのサイズ領域の材料を設計し、創生しています。通常、多数の分子を集積させて創りますが、構成分子の組合せや組織化された構造次第で優れた機能を発現させることができます。そういった観点から、工業や医療などの応用に向けて無限の可能性を秘めた分野といえます。創り方に確固とした法則は未だなく、従事する研究者の知識や経験、センス(ヤマカン)がものをいいます。一方で、当初の設計とは異なる偶然的産物に新しい応用先を見つけて成功した例も多々あります。日々、分子や材料と対話(格闘)しながら楽しく研究に従事しています。



化学生命プログラム
准教授 松根英樹 Hideki Matsune



宮崎から グローバルに羽ばたく!

地球環境に国境はありません。地球温暖化、海洋プラスチックごみ問題など国際社会が協調して取り組まなければならない問題が多数あります。工学部の化学生命プログラムでは、海外からの研究者や学生の受け入れや国際共同研究などの海外との連携を活かして行っています。

特に、モンゴル国立大学とミャンマーのヤンゴン大学の化学系の教員、学生との交流を行っており、毎年、モンゴルとミャンマーの学部学生、大学院生らとの合同学生会議を開催しています(写真)。在籍する化学生命プログラムの学生も、海外への関心が高く、短期海外研修や海外の大学との研究交流に積極的に参加していま

す。また、多くの卒業生が身につけた専門分野を活かして海外駐在や海外技術協力など各国で活躍しています。化学という世界共通の言語を身につけ、宮崎から世界へ羽ばたいてみませんか。



卒業後の主な進路

化学・医薬・食品に関連する産業、
電気・機械・情報に関連する産業、
教職、公務員、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業、理科)^{※1}
- 安全管理者^{※3}
- 学芸員資格^{※5}
- 毒物劇物取扱責任者^{※2}
- 危険物取扱者(甲種)^{※4}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 応用化学に関する学課を修了した者として、資格を有します。
 ※3 卒業後の勤務先で2年以上の産業安全の実務経験を経て、資格を有します(受験不要)。
 ※4 化学に関する科目を15単位以上修得すれば受験資格が得られます。
 ※5 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

土木環境プログラム

Civil and Environmental Engineering Program



道 路、橋梁、港湾、空港といった多くの社会基盤は人々の生活や経済の発展に欠くことができないものですが、自然破壊との交換によって存在するのであれば、それは健全な社会とは言えません。地球環境に配慮し、社会基盤を整備、維持する技術者を育成します。

地域に根差した教育が魅力 橋梁や防災の学びを深めたい



土木環境プログラム 3年

上園 竜弥 Ryuya Uezono

宮崎県 延岡高等学校出身

私の地元・宮崎県延岡市は、大瀬川と五ヶ瀬川という2つの1級河川が合流する地域であり、過去に水害が多く発生してきた町です。高校の課題研究授業で、2つの河川を隔てて流れやすくさせる隔流堤や、五ヶ瀬川の浸水被害から市街地を守るために造られた堤防などの工夫された堤防の仕組みを知り、防災についてもっと深く学びたいと感じるようになりました。また、宮崎大学の地域に根差した教育にも強くひかれて本学を志望しました。

入学してみると、教員やティーチング・アシスタントとの距離が近く、質問しやすい雰囲気があるので難しい内容の講義でも理解しやすいと感じています。特に興味を持ったのは構造力学の講義で、構造物のつり合いやそこに作用する力を一つ一つ考える過程がとても面白いです。

大学内には時間に関係なく利用できる施設が多く、自分のペースで学習を進めやすい環境が整っています。友人と教え合いながら課題に取り組むことも多く、その中で知識が定着していく実感があります。

現在は、橋梁系の分野と、河川や堤防などの防災系のどちらを研究したいかを模索しており、インターンシップなどの経験を通して、自分がどのような仕事に魅力を感じるのか見極めていきたいと考えています。

受験生のみならず、土木は生活の基盤となる不可欠なものです。自然豊かな環境で一緒に学びましょう。



工学科土木環境プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)		課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)	
工学基礎科目	未来共創科目(構想・デザイン系、共創・創造系)			
共通融合科目	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅰ・Ⅱ 物理科学Ⅱ 基礎化学 数理情報Ⅰ・Ⅱ 工学のための数学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 力学 基礎科学実験 工学のための物理学演習 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅲ 応用数学 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語 技術者倫理と経営工学
専門必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 【概論科目】 工学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 【分野融合科目】 現象と数理 【化学生命概論】 【土木と環境】 【量子・ナノテクノロジー概論】 【電気電子工学概説】 【メカトロニクス】 【情報とコンピュータ】 	<ul style="list-style-type: none"> 【PBL科目】 プロジェクト演習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電磁気学
専門選択科目	<ul style="list-style-type: none"> Pick up 測量学実習Ⅱ 自然地形にあわせて構造物を設計・施工するために、元の地形や構造物を測る技術が測量です。本授業ではトロンやレーザー測距等の新しい測量技術を学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 構造力学Ⅰ ● 地球環境概論 ● 土木計画学 ● 水環境 ● 水理学Ⅰ ● 建設材料工学 ● 水質計算演習 ● 構造力学Ⅱ ● 土木設計製図 	<ul style="list-style-type: none"> ● 弾性力学 ● プログラミング入門 ● 技術文章作成法 ● 地盤工学Ⅰ ● 衛生工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 測量学実習Ⅰ・Ⅱ ● 土木環境工学実験Ⅰ・Ⅱ ● 課題アプローチ技法 ● 測量学 ● 特別実習 ● 卒業研究 ● 長期インターンシップ
	海外体験学習			

本プログラムの教育カリキュラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)に認定されており、「習得した知識を実用技術へ発展させる能力」「課題解決能力」「高い倫理性」を有する技術者や研究者となる人材を育成することを目的とした教育を行っています。

求める学生像



土木環境プログラムでは、技術者の基礎となる能力、土木環境工学のどの分野でも活躍できるための基礎能力、社会の要請を察知・理解して適切な行動ができる人材の育成を目指しています。また、地球的視点から多面的に物事を考える能力を身に着けた人材の育成を目指しています。

- (1) 生活・生産基盤の建設や維持管理、防災、都市計画、環境保全に興味がある人。
- (2) 土木環境分野に興味を持ち、それらに関し本を読むなど、積極的に自己学習できる人。
- (3) 自然科学の基礎学力(数学、物理、化学)を有している人。
- (4) 日本語と英語を基礎とした表現力を持っている人。
- (5) 学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる人。

当たり前の毎を支える 100年先まで残る安全な社会づくり

蛇口をひねれば水が出ることや、橋を渡って通学できること。そんな「当たり前」の毎日を見えないところで支えているのが、土木環境工学です。私たちは、巨大な橋梁や道路といった都市の骨組みから、災害に強い街づくり、そして地球に優しい環境保全まで、幅広い視点から社会の土台すべてを学びのフィールドにしています。

私はスマートな鋼の橋をいかに安全に設計し、長く使い続けるかを研究しています。机上の数式が、実際に目に見える巨大な構造物へと形を変える瞬間には、この分野だからこそ味わえる大きな感動があります。「誰かの役に立ちたい」「大きな仕事に挑戦したい」という志を持つ皆さんを、私たちは全力でサポートします。100年先まで残る景色を、私たちと一緒に築き上げませんか？



土木環境プログラム
特別助教 堀澤 英太郎 Eitaro Horisawa



ココに
注目！

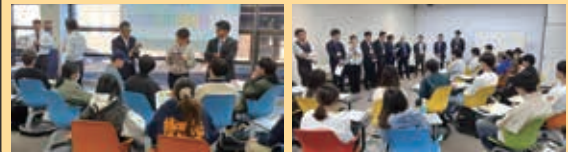
多様な就職先にあわせて 丁寧な進路指導を実施！

本プログラムの卒業生の多くは社会基盤の構築・維持に関わる行政機関(公務員)、建設コンサルタント、建設会社等に就職します。これらはそれぞれ役割、活動エリア、得意な業務内容等が様々で、学生個々は多数の候補からどこに就職しようか迷うことが多くあります。

本プログラムではそうした不安なく自ら進路を選べるよう、手厚い進路指導をしています。具体的にはOBによる「建設業界説明会」や全国から100を超える企業や自治体を招き開催する「キャリアデザイン研究集会」等の独自のイベントがあり、学生はそれらで得た情報で進路を決定していきます。

地元か全国規模か、民間か公務員か、土木環境に関わる多様な就職先があなたを待っています。

OBによる業界構造解説「建設業界説明会」



地域・全国から100以上の企業や自治体に参加「キャリアデザイン研究集会」



卒業後の主な進路

建設・環境・インフラに関連する産業、
建設コンサルタント、地方・国家公務員、
大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業)^{※1}
- 技術士補^{※2} ■ 測量士補^{※3}
- 学芸員資格^{※4}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 本プログラムのJABEE修了要件を満たすと、文部科学省所管の技術士制度における技術士第一次試験が免除され、修習技術者となり、申請により技術士補の資格を得ることができます。
 ※3 所定の科目の所要単位を修得し、申請後に資格が得られます。
 ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

半導体サイエンスプログラム

Semiconductor Science and Applied Physics Program



半 導体は、5G・AI・ビッグデータ・自動運転・ロボティクスといったデジタル技術で実現する次世代スマート社会の基盤技術です。また、半導体は、未知の量子や宇宙の世界を捉える科学技術でもあります。本プログラムでは、皆さんが、将来、次世代スマート社会の実現と科学の発展を支える技術者や研究者として活躍できるような教育をおこないます。

宇宙に興味があり X線や放射線も学びたい



半導体サイエンスプログラム 2年

永山 奈々 Nana Nagayama
長崎県 佐世保南高等学校出身

もともと放射線技師の仕事に興味があり、放射線やX線について学びたいと考えていました。また、私は宇宙も好きで、本プログラムであれば放射線と宇宙の両方を学ぶことができるのではと思います宮崎大学工学部を選びました。

高校時代は物理が苦手でしたが、入学してみると高校の復習から始まり、学び直せる環境に安心しました。講義では、先生から出された物理のお題を自分の言葉で説明したり、グループ形式で課題に取り組むことで理解が深まり、物理への苦手意識は自然となくなりました。工学部では融合分野の学びにより、機械や土木など他プログラムの内容にも触れることができます。自分の専門外の視点が加わることで、物事を多面的に捉える力が養われ、学びの幅をより広くできると感じています。

宇宙への関心から天文学研究部に入り、天体観測や天体の撮影を楽しんでいます。大学の近くには青島や椿山など、天体観測に適した場所があることも魅力です。今後は教員免許の取得も目指しつつ、宇宙関係の研究室に入りたいと考えています。



工学科半導体サイエンスプログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教授教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			
	課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)			
	未来共創科目(構想・デザイン系、共働・創造系)			
工学基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅰ・Ⅱ 物理学Ⅱ 化学概論 数理情報Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 力学Ⅰ 基礎科学実験 工学のための物理学演習 工学のための数学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅲ 応用数学Ⅰ 電磁気学Ⅰ 技術者倫理と経営工学 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語
共通教育科目	<ul style="list-style-type: none"> 【概論科目】 工学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 【分野融合科目】 現象と数理 	<ul style="list-style-type: none"> 【PBL科目】 プロジェクト演習 	<ul style="list-style-type: none"> Pick up 半導体デバイス工学
専門必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 力学演習 Pick up 統計データ解析 	<ul style="list-style-type: none"> 力学Ⅱ 応用物理学実験Ⅰ・Ⅱ 電磁気学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 数値解析 熱力学 電子物性工学 	<ul style="list-style-type: none"> 応用数学Ⅱ 電気回路 量子力学 半導体デバイス工学 電子回路
専門選択科目	<ul style="list-style-type: none"> Pick up 宇宙物理学 	<ul style="list-style-type: none"> 材料物性工学 統計データ解析 	<ul style="list-style-type: none"> 統計力学 半導体サイエンス特別講義 太陽光発電デバイス工学 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体物性工学 プログラミング言語 光エレクトロニクス 量子線計測学 半導体サイエンスセミナー
			インターンシップ	卒業研究
			海外体験学習	長期インターンシップ

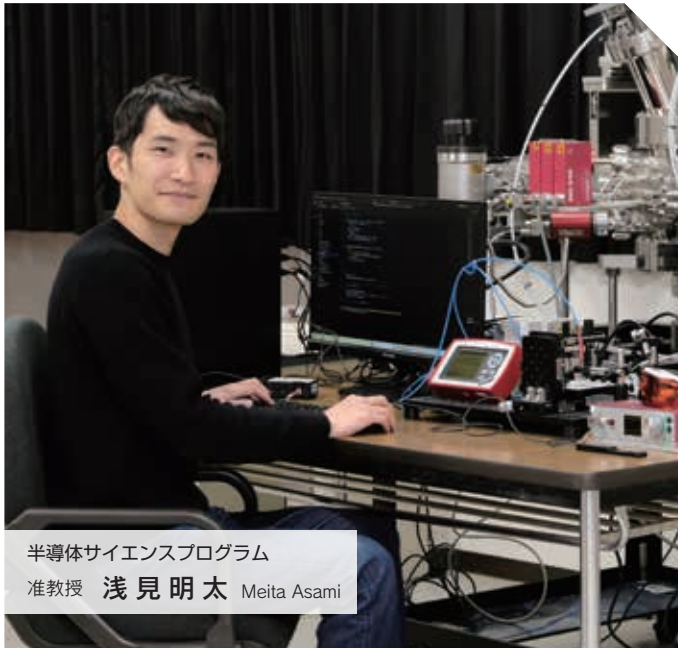
本プログラムの教育カリキュラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)に認定されており、「習得した知識を実用技術へ発展させる能力」「課題解決能力」「高い倫理性」を有する技術者や研究者となる人材を育成することを目的とした教育を行っています。

求める学生像



半導体サイエンスプログラムでは、物理や数学などの基礎科目と、半導体の原理から、作製、自然科学への応用までを幅広くカバーする専門科目を用意しています。これによって、次世代スマート社会の実現と新しい科学の発展を支える技術者や研究者を育成することを目的とした教育をおこないます。そこで本プログラムでは次のような人を求めています。

- (1) 自然科学や科学技術に対して強い関心を持ち、その学習を通して獲得した知識・技術を生かして将来社会の役に立つ情熱を持つ人。
- (2) 実験や観察が好きで、その結果の意味を考えることに興味がある人。
- (3) 数学や物理に興味があり、その学びを通して得られる知識・技術を応用して、専門分野の学習・研究に主体的に取り組むことに意欲がある人。
- (4) 数学、物理を含む理科、および、語学についての基礎的学力を有し、持続して自主的に勉学に取り組むことができる人。



半導体サイエンスプログラム
准教授 浅見明太 Meita Asami

半導体で創る持続可能な未来社会

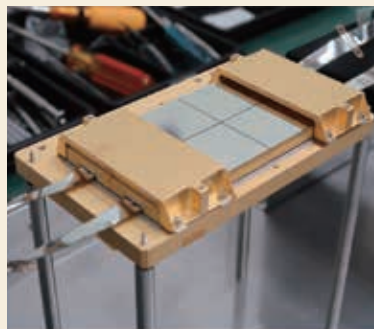
AI、再生可能エネルギー、次世代通信など、最先端技術の中心には常に半導体があります。半導体サイエンスプログラムでは、電磁気学・量子力学といった物理の基礎をしっかりと学びながら、半導体物理・半導体デバイス工学をはじめ、材料物性・光エレクトロニクス・エネルギー応用へと発展的に学修します。卒業研究では、太陽電池やレーザー、新材料開発、半導体評価技術などの工学分野に加え、宇宙や原子核の観測に用いられる半導体検出器の研究や、宇宙・原子核そのものを探究する応用物理分野にも挑戦できます。「なぜ動くのか」を理解し、「どう創るか」「どう活かすか」を考える学びを通して、未来社会を支える技術者・研究者として活躍する力を身につけましょう。



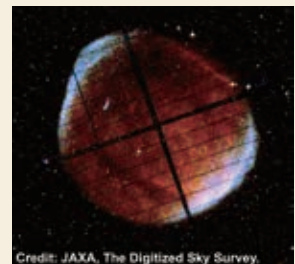
ココに
注目!

半導体で宇宙を見る! 天文衛星や宇宙ステーションに搭載するX線版デジカメの開発!!

皆さんが持っているスマホのカメラも、半導体で作っているのは御存知でしょうか? 半導体は次世代スマート社会を実現するための高性能集積回路の材料であるだけでなく、様々な光に感度を持つイメージセンサーでもあるのです。ここで「様々な光」と言ったのは、我々が目にする可視光以外のX線も捉えることができるからです。私たちは、皆さんのスマホに内蔵されているものよりも何十倍も厚い半導体イメージセンサーを開発しています。厚くすることで透過力の高いX線をも捉えることができるようになります。このX線デジカメを天文衛星や宇宙ステーションに搭載して、これまでまだ誰も見たことのない宇宙の撮影に挑戦しています。皆さんも、このワクワクするような研究を一緒にやりませんか?



2023年9月7日に打ち上げたXRISM衛星に搭載したX線CCD素子。3cm×3cmの素子を4つ並べて、満月が1個まるまる入るほどの広い視野を実現しています。



約1000年前の超新星爆発の残骸「SN1006」をXRISM衛星に搭載したX線CCDカメラで捉えた画像(赤青緑の3色)と可視光画像(たくさんの点状の光)を合成したもの。X線帯域で宇宙を観測することで、可視光では見えない宇宙の姿を捉えることができます。

卒業後の主な進路

電気・半導体・情報通信に関連する産業、自動車・医療機器など各種製造業、ソフトウェア関連産業、エネルギー産業、教職、公務員、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業、理科)^{※1}
- 技術士補^{※2}
- 学芸員資格^{※3}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。

※2 本プログラムのJABEE修了要件を満たすと、文部科学省所管の技術士制度における技術士第一次試験が免除され、修習技術者となり、申請により技術士補の資格を得ることができます。

※3 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

電気電子システムプログラム

Electrical and Electronic System Program



電 気電子システムプログラムでは、再生可能エネルギー、医療・生体工学、スマートエネルギーソリューションをキーワードに現代社会を支える基盤技術の基本原則と基礎知識を習得させ、社会の変化や要請に対応できる電気電子分野の専門技術者・研究者を育成します。

さまざまな研究に触れながら 医学と融合した研究に 挑戦したい



電気電子システムプログラム 2年

天岡 瑞貴 Mizuki Amaoka

大阪府 大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎出身

太陽光や再生可能エネルギーの研究に力を入れていることや、工学部と連携した研究が進んでいる点に魅力を感じ、本プログラムを志望しました。

1年次は専門的な内容は多くなく、電磁気学や力学などの座学の割合が多いです。そのような中でこれまで不得意だった数学を学び直し、今ではおもしろさを感じるようになりました。プログラミングの授業には、高校にはなかった新鮮な魅力があります。こうした基礎の学びは、将来取り組みたい研究にも直結すると感じています。

私は将来、大学院への進学を目標としています。生命工学ともいえる医学と工学が融合した分野の研究に携わることを夢見ており、より自然で滑らかな身体の動きを実現できるゲームの開発に関わりたと思っています。

本学には、学部での学び以外の分野にも挑戦できる機会が数多くあります。私は大学祭の実行委員会やビジネスプランコンテストに参加し、部活動ではダンス部とダイビング部に所属して、多様な経験を積んでいます。興味のあることや本学ならではの取り組みに積極的にチャレンジし、自分の可能性を広げていきたいです。

工学科電気電子システムプログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次		
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)					
	課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)					
	未来共創科目(構想・デザイン系、共働・創造系)					
工学基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅰ・Ⅱ 物理科学Ⅱ 基礎化学 数理情報Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 力学 基礎科学実験 工学のための数学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 工学のための物理学演習 工学のための数学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析Ⅲ 応用数学Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語 技術者倫理と経営工学 	
共通教育科目	<ul style="list-style-type: none"> 【概論科目】 ● 工学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 【分野融合科目】 ● 現象と数値 	<ul style="list-style-type: none"> 【PBL科目】 ● プロジェクト演習 			
専門必修科目		<ul style="list-style-type: none"> 【分野融合科目】 ● 化学生命概論 ● 土と環境 ● 量子・ナノテクノロジー概論 ● 電気電子工学概説 ● メカトロニクス ● 情報とコンピュータ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気回路Ⅰ・Ⅱ ● 計算機プログラミング ● パワーエレクトロニクスⅠ ● 電気電子工学実験・演習Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電磁気学Ⅱ・Ⅲ ● 制御工学Ⅰ ● 電気電子計測 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気回路Ⅲ ● 信号処理Ⅰ ● 電気電子工学実験・演習Ⅱ ● 電子回路Ⅰ ● 半導体工学Ⅰ 	● 卒業研究
専門選択科目	<p>Pick up</p> <p>電気電子工学実験・演習Ⅰ</p> <p>実験の基礎となる電気諸量の測定原理と測定方法を理解し、実験装置または実験器具の取り扱い方を実験をとおして実践的に学び、習得します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 応用数学Ⅱ ● 論理回路 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子回路Ⅱ ● 電力工学 ● 制御工学Ⅱ ● 高電圧工学 ● 電磁波工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号処理Ⅱ ● パワーエレクトロニクスⅡ ● 再生可能エネルギー工学 ● 光エレクトロニクス ● 数値解析 ● 半導体工学Ⅱ 		
			インターンシップ			
			長期インターンシップ			
			海外体験学習			

求める学生像



電気電子システムプログラムでは、数学、電気回路、電磁気学を基礎とし、太陽光発電、再生可能エネルギー、医療工学、集積回路、電力、プラズマ、制御、レーザー、センシング技術、半導体、電磁波の各専門分野の考え方を習得するため、講義、実験、演習を体系的に編成した教育研究を行います。したがって、本プログラムでは、次のような人材を求めています。

- (1) 人類が持続的に発展することに貢献しようとする意思をもつ人。
- (2) 問題解決へ向けて、自ら積極的に目標と計画を立てることができる人。
- (3) 日本語および英語を用いた基本的表現力をもつ人。
- (4) 問題解決へ向けて、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人。
- (5) 電気電子工学分野(数学、電気回路、電磁気学を基礎とし、太陽光発電、熱電、再生可能エネルギー、集積回路、プラズマ、制御、レーザー、センシング技術、半導体、電磁波、データサイエンスなどの各専門分野)に強い関心をもつ人。
- (6) 電気電子工学分野を学ぶための数学、理科、英語などの基礎学力をもつ人。



電気電子システムプログラム
教授 武居 周 Amane Takei

電気電子システムの未来を創造する力を身につける

現在の高度情報化社会を形成する基幹技術は、電気工学、情報科学、数学などさまざまな知識の複合・融合により完成します。本プログラムでは、「再生可能エネルギー」「医療・生体工学」「スマートエネルギーソリューション」をキーワードとして、これらを形成するシステム(=個々の知識の複合・融合により完成する総体)を、電気電子工学の観点でとらえ、しっかり学びます。また、4年次では、卒業研究として各教員の専門に関する研究に取り組みます。

学生には電気電子工学について時間をかけて学び、かつ枠組みから一歩踏み出すための高い視点を持つことを期待します。先端的なシステムの未来を創造する力を身につけ、世界に向け発信するための活動を一緒にしませんか？



再生可能エネルギーの研究

現在地球規模で取り組んでいるカーボンニュートラルを実現するためには、再生可能エネルギーが非常に大きな役割を担っています。本プログラムでは、身の回りの太陽光や熱を電気に変換する抜群のエネルギーシステムの研究に取り組んでいます。

一般的な太陽電池は屋根についていますが、壁や窓も太陽電池にすることができます。これによって使う電気は建物自身で作り出すことを実現します。さらに身近なエネルギーである体温を利用して、スマートフォンの充電やLEDを光らせることが出来るようになります。将来的には災害時の緊急電源としての利用を目指しています。

再生可能エネルギー分野においてここでなければ作れない、出せない成果を世界に発信しています。これらについて基礎から学び、研究を通して工学の醍醐味である「モノづくりの本質」が経験・修得できます。このメッセージを読んでいるあなたと将来的にはご縁があることを楽しみにしています。



様々なタイプの窓型太陽電池



体温でLEDを光らせる熱電変換技術

卒業後の主な進路

電気・半導体に関連する産業、
ソフトウェアに関連する産業、
各種製造業、公務員、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業)^{※1}
- 学芸員資格^{※2}

^{※1} 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
^{※2} 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

機械知能プログラム

Mechanical and Intelligent Engineering Program



機 械知能プログラムでは、ものづくりの基盤となる機械工学の専門知識に加えて、人工知能(AI)を含むさまざまなデジタル技術を講義や実習、研究活動を通して学ぶことで、急速に高度化していく次世代の超スマート社会で活躍できる技術者や研究者を育成します。

海外への思いを胸に 工学の専門性を磨く



機械知能プログラム 3年

浦崎 孔希 Koki Urasaki
熊本県 天草高等学校出身

海外の大学で学びたいという強い思いを持っていた私は、宮崎大学では1年次から海外研修プログラムに参加できることを知り、入学を志望しました。入学後は、自然豊かでゆったりとした時間が流れる環境と、先輩・後輩との距離の近い本学の雰囲気がとても気に入っています。

もともと自動車やものづくりに関心があったことから、大学では機械設計に関する講義を特に楽しみながら学んでいます。講義で得た知識を土台に、専門知識を深めながら、学びの幅を広げています。

課外活動では、国際交流に力を入れるサークルで代表を務めています。留学生と日々交流し、人口問題や環境問題といったアカデミックなテーマについても活発に意見を交わしています。1年次には海外研修プログラムでマレーシアの大学で学びました。現在はドイツの大学への留学を目標に歩んでいます。

やる気があれば何にでも挑戦できる宮崎大学で、一緒に学びませんか。



工学科機械知能プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)			
	課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)			
工学基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析Ⅰ・Ⅱ ● 物理学Ⅱ ● 基礎化学 ● 数値情報Ⅰ・Ⅱ ● 工学のための物理学演習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 線形代数 ● 力学 ● 基礎科学実験 ● 工学のための数学入門 	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学解析Ⅲ ● 応用数学 ● 電磁気学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工学英語 ● 技術者倫理と経営工学
	【概論科目】 ● 工学概論	【分野融合科目】 ● 現象と数理	【PBL科目】 ● プロジェクト演習	Pick up 機械知能工学実験Ⅰ・Ⅱ プログラム専門科目に関連した実験を行うことで、講義で修得した内容をさらに深く理解することができます。
共通融合科目	【分野融合科目】 ● 化学生命概論 ● 土木と環境 ● 星子・ナノテクノロジー概論 ● 電気電子工学概説 ● メカトロニクス ● 情報とコンピュータ			
専門必修科目	● 工業力学	<ul style="list-style-type: none"> ● 機構学 ● 機械製図基礎 ● 加工システム実習 ● 機械力学 ● 伝熱工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 材料力学基礎 ● 熱力学Ⅰ ● 材料力学 ● 機械設計工学 ● 流体力学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術英語 ● 卒業研究
		<ul style="list-style-type: none"> ● 機構要素設計製図及びCAD実習 ● 機械知能工学実験Ⅰ・Ⅱ ● 自動制御 ● 生産情報工学 ● 知能センシング 	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械加工学 ● 流体力学 ● 応用機械設計製図 	
専門選択科目		<ul style="list-style-type: none"> ● プログラム言語及び演習 ● 3Dシミュレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ● 振動工学 ● 数値解析 ● バイオメカニクス ● 計測工学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械要素設計 ● 機械構造力学 ● ロボット工学
		製造プロセス学外研修	インターンシップ	長期インターンシップ
	海外体験学習			

求める学生像



機械知能プログラムでは、ものづくりのベースとなる機械工学の知識や、これからの社会で必要となる情報処理や人工知能等の関連知識を習得できる教育を行います。また、持続可能な社会を実現するために、高い創造力と実行力を持った人材の育成を目標としています。したがって、本プログラムでは次のような人材を求めています。

- (1) 「人と自然に優しいものづくり」や「超スマート社会の実現に向けたものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組む人。
- (2) 数学及び理科の基礎的な知識・理解を有する人。
- (3) コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人。
- (4) 学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人。



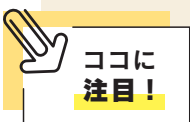
機械知能プログラム
准教授 大西 修 Osamu Ohnishi

機械工学を学んで より便利で豊かな未来を実現しよう

現代社会はさまざまな機械によって支えられており、これらによって私たちの便利で豊かな生活は実現することができています。これから先もさらに画期的な機械がどんどん登場してくるでしょう。それでは新しい機械を作り出すにはどうしたら良いでしょうか。

本機械知能プログラムは、機械を作り出すために必要となる学問の機械工学についてしっかりと教育を行っています。さらに、「人と自然に優しいものづくり」や、「超スマート社会の実現に向けたものづくり」に関連する研究などを行っており、先端的なものに触れることもできますよ。

これからの世界をさらに便利に、豊かにする新しい機械を作り出す技術者や研究者を目指してみませんか。



装着箇所のずれを吸収する ウェアラブルロボットの開発

ウェアラブルロボットとは、人が装着できるロボットを意味します。ウェアラブルロボットを人が装着するとき、もし装着箇所がずれてしまうと、もともと想定していた動きと違う動きをロボットがしてしまい、人にとって痛みや違和感の原因になります。本プログラムでは、たとえ装着箇所がずれたとしても、機構によってずれを吸収することで想定していた動きを可能とするウェアラブルロボットの研究開発を進めています。写真は、人の膝関節のために実際に設計したウェアラブルロボットになります。



卒業後の主な進路

自動車、重工業、航空機、医療機器、マテリアル、エネルギー産業、工作機械、産業機械、エレクトロニクス、プラントエンジニアリングに関連する産業、公務員、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(工業)^{※1}
- エネルギー管理士^{※2}
- 機械設計技術者^{※3}
- 学芸員資格^{※4}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
 ※2 エネルギー管理士試験において必須基礎科目及び選択科目(熱分野または電気分野)の試験に合格することにより取得できます。
 ※3 所定の科目の所要単位を修得し、実務経験や所定の条件等を要するものがあります。
 ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

情報通信プログラム

Information and Communication Technology Program (ICT Program)



情 報通信プログラムでは、情報工学および通信工学の専門知識と実践能力を身につけ、その技術を活用して社会の持続的発展と問題解決に貢献する、自立した専門技術者や研究者の育成を目的として教育研究を行います。

基礎から深部へ ITの仕組みを体感する学び



情報通信プログラム 3年

切畑 光喜 Mitsuki Kirihata
宮崎県 宮崎工業高等学校出身

中学生の頃からIT分野に関心を持ち、高校は電子情報科で学びました。専門性をさらに深く高めるとともに、地域課題にも向き合える環境を求めて宮崎大学への進学を決めました。

入学当初は、実業系高校の出身ということもあり、物理や数学の講義についていけないか不安を感じていました。しかし本学では、高校で物理を履修していない学生向けの講義など、習熟度に応じた講義が準備されており、基礎から着実に学ぶことができます。特に好きな講義はプログラミング演習です。C言語は高校でも扱いましたが、大学では仕組みの深部まで学ぶため、コンピューター自体への理解が大きく広がっています。また、半導体の講義を受けてからは、学内のさまざまな太陽光発電設備が自然と目に入るようになりました。身近なところにテクノロジーを感じる日々です。

IT分野はセキュリティやIoTなど領域が多彩で、技術の進化も速く、常に新しい知識が求められます。本学で多くのことを学び、将来にしっかりと生かしていきたいと考えています。



工学科情報通信プログラム カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)		課題発見科目(データサイエンス系、人文・社会・芸術系、自然・生命・技術系、地域・国際・学際系)	
	未来共創科目(構想・デザイン系、共働・創造系)			
工学基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析 I・II 物理学 II 基礎化学 数理情報 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 線形代数 力学 基礎科学実験 工学のための物理学演習 工学のための数学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 数学解析 III 電磁気学 応用数学 I 	<ul style="list-style-type: none"> 工学英語 技術者倫理と経営工学
共通教育科目	【概論科目】 ● 工学概論	【分野融合科目】 ● 現象と数理	【PBL科目】 ● プロジェクト演習	
	【分野融合科目】 ● 化学生命概論 ● 土木と環境 ● 量子・ナノテクノロジー概論 ● 電気電子工学概論 ● メカトロニクス ● 情報とコンピュータ			
専門必修科目	● 情報通信入門セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 論理回路 アルゴリズムとデータ構造 コンピュータアーキテクチャ コンピュータネットワーク オペレーティングシステム プログラミング演習 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 離散数学 情報理論 電気回路 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア工学 情報セキュリティ データベース ● ネットワークプログラミング ● 情報通信プロジェクト演習
		● 卒業研究	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Pick up</p> <p>ネットワークプログラミング</p> <p>クライアントサーバシステムの設計と実装を通じて、情報システム開発に必要なモデリング能力、分析能力、実現能力を育成します。</p> </div>	
専門選択科目		● 応用数学 II	<ul style="list-style-type: none"> ディープラーニング ネットワーク応用 知識情報処理 動的システム 生命情報処理 	<ul style="list-style-type: none"> 最適化理論 画像工学 組込みシステム プログラム言語論
			<p>情報工学特別講義</p> <p>短期インターンシップ</p> <p>長期インターンシップ</p>	
	海外体験学習			

求める学生像



情報通信プログラムでは、情報工学および通信工学の専門知識と実践能力を身につけ、その技術を活用して社会の持続的発展と問題解決に貢献する、自立した専門技術者や研究者の育成を目的として教育研究を行います。したがって、本プログラムでは次のような人を求めています。

- (1) 情報通信技術者をめざし、情報通信技術 (ICT) を通じて、人類の幸福と地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人。
- (2) 明確な目標を持って、継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人。
- (3) 日本語と英語を基礎とした表現力を持ち、チームの一員として自分に与えられた役割を理解してチームワークのも
- とで様々な問題を解決し、目的を達成する意欲がある人。
- (4) 学修を通して獲得した情報通信技術の知識やスキルを活かし、社会が抱える課題の発見とその解決に取り組む意欲がある人。
- (5) 公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報通信工学の学修に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持つ人。



情報通信プログラム
准教授 山場久昭 Hisaaki Yamaba

安心して使える情報社会のために

スマートフォンやインターネットは、家族・知人との連絡や、買い物、動画視聴、調べものなど、今では私たちの毎日の生活を支える身近な存在になっています。大学生活でも、遠隔授業やレポート作成、サークル活動の情報発信、学食でのキャッシュレスの支払いなど、情報技術に触れる場面はますます増えています。

その一方で、偽メールや偽サイトを使った詐欺、サーバーへの不正アクセス、個人情報の流出、コンピュータウイルスの感染など、情報を安全に扱うことの難しさが大きな課題となってきています。便利で豊かな情報社会を支えていくためには、新しい技術を活用するだけでなく、それらを安心して使える環境をどのように築くのか、それを考える力を身につけることがとても重要となります。

本プログラムでは、情報通信技術の基礎をはじめ、セキュリティ、AI、画像処理、データサイエンス、情報システム開発、生命情報など、多様な情報通信関連の専門分野を学ぶことができます。あなたも一緒に学んでみませんか。

人工知能ブーム

ココに注目!

ここ数年、AI、ディープラーニング、Pythonなどのキーワードが含まれる書籍が毎月のように出版されています。また、最近ではChat GPTが注目されています。様々な書籍がありますので、自分に合う本を探してみてください。

20年後の社会では、どのようなテーマが話題になっているでしょうか。このテーマに対して、みなさんが高校・大学で学ぶ数学、英語、プログラミングは、時代を超えても変わらない価値あるものです。大学に入学したら、これら基本を身につけながら、これから発展しそうな分野・テーマを予測し、自分の進むべき道を見つけ、突進しましょう。



卒業後の主な進路

ソフトウェア、システム開発、
情報・電子機器製造、
情報通信に関連する産業、大学院進学

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(情報)^{※1}
- 学芸員資格^{※2}

^{※1} 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。

^{※2} 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」は交付されます。

農学部

地球は愛と農学で回っている。



環境問題、資源・エネルギー、生命、食料…。
 私たちが直面している問題は、どれも農学が深く関わっている。
 この美しい星を守るために、人類の未来と幸福を支えるために、
 宮崎の恵まれた自然環境の中で、農学と真剣に向き合える。

- 農学科
 ■ 動植物資源生命科学コース…………… P 39
- 森林環境持続性科学コース…………… P 41
- 海洋生命科学コース…………… P 43
- 応用生命化学コース…………… P 45
- 獣医学科…………… P 47

卒業生からのメッセージ

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/>



独立行政法人酒類総合研究所
 広報・産業技術支援部門 主任研究員

芳村俊広さん Toshihiro Yoshimura
 奈良県 樺原高等学校出身

きっかけは「なんとなく」でもいい

私は、日本で唯一の酒類に関する国の研究機関の独立行政法人酒類総合研究所で、酒類製造者への産業支援という仕事に携わっています。

実家が清酒の蔵元だったこともあり、「他のお酒も知りたいな」という軽い気持ちで、焼酎の本場・宮崎の大学を選びました。そんな漠然としたスタートでしたが、宮崎大学での日々は想像以上に刺激的でした。熱心な先生や先輩、切磋琢磨し合える友人と出会い、研究を通じて学んだのは「自ら計画し、実行し、改善していく力」。この力は、社会人になった今も私の大きな支えとなっています。

受験生の皆さん、今はまだ明確な目標がなくても大丈夫。大学で何を得たいか、自分なりの目的を持って一歩ずつ進めば、結果は必ずついてきます。皆さんの挑戦を応援しています。



独)酒類総合研究所提供



■ 施設紹介

田野フィールド(演習林)

森林環境持続性科学コースによる森林科学に関する実習のみならず、全学を対象とした体験的な学習も行われている。



木花フィールド(農場)

動植物資源生命科学コースを中心に農に関する専門的な知識と実践的な技術を身につける事を目的としている。



延岡フィールド(水産実験所)

主に海洋生命科学コースの学生を対象とした実習を開講。隣接する海岸での生物の採取や飼育施設を利用した実習を通じて、水圏生物や環境への理解を深める。



附属動物病院

伴侶動物、産業動物の治療および臨床研究を行うとともに、学生の臨床教育や実習の場としても活用している。



住吉フィールド(牧場)

家畜生産のみならず飼料生産から畜産物利用まで、総合的な畜産関連の知識・技術を実践的に学習することができる。



附属農業博物館

農・林・畜・水産業に関する資料を収集・展示すると共に、農学部で行われている最新の研究とその成果を紹介している。



動植物資源生命科学コース

Course of Animal and Plant Biosciences



動 植物生産と生命科学の連携・融合による新たな教育、研究、農業の開拓をコンセプトに、動物や植物に関する基礎研究をはじめ、食料資源としての家畜生産や植物生産を総合的に学びます。生産性や品質の向上、環境保全、アニマルウェルフェアに配慮した持続可能な生産現場の構築、食の安全の確保を目指し、『未来の農業』を実現する人材を育成します。

西日本最大級の大学附属牧場施設 畜産のすべてをフィールドで学ぶ



金谷 かぐら Kagura Kanatani
三重県 明野高等学校出身

動物が好きで、地元の農業高校で畜産を学びました。高校のプロジェクトで有志の仲間と豚の研究に取り組んだことをきっかけに、大学でさらに深く学びたいと考えようになりました。西日本最大級の大学附属牧場施設を持つ宮崎大学は、豚はもちろん牛についても実習で学ぶことができ、志望の決め手となりました。

畜産は、飼料をはじめ肉質の知識や肉の保存に関わる微生物など、さまざまな要素で成り立っています。本コースでは牛や豚に直に触れながらこれらを深く学べるうえ、学生のやる気を先生方が後押ししてくれる環境が整っています。

学生が主体となって豚の育成から出荷までを行う学生団体「宮大べ〜こんず」は、コロナ禍と豚熱の影響で一度途絶えましたが、先生方の協力のもと再設立されました。通常の実習にはない飼料の調達・育成・出荷のプロセスを、身をもって体験することができました。将来は、畜産業を魅力ある産業へと変えるような研究者を志しています。



動植物資源生命科学コース カリキュラム

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系、基礎統計学)			
	課題発見科目(データサイエンス系、自然・生命・技術系、人文・社会・芸術系、地域・国際・学際系)			
	未来共創科目(構想・デザイン系)			
学部共通科目	●農学・獣医学入門 ●農学獣医学グローバル入門 ●農学・獣医学DX入門		●農学・獣医学データサイエンス演習 ●農学・獣医学の倫理と安全 ●農学・獣医学専門英語演習	
学科共通科目	●食資源学入門 ●農学基礎実験・実習Ⅰ ●農学基礎実験・実習Ⅱ			
選択科目	●基礎動植物学 ●GAP概論 ●基礎環境資源経済学 ●生命化学概論 ●基礎海洋資源科学 ●アグリノベーション概論 ●動物行動学 ●環境気象学 ●化学概論 ●基礎行動・生態学			
必修科目	●宮崎の農業	●栽培学 ●土壌肥科学 ●畜産食品科学 ●動物環境管理学 ●農業経済学 ●植物育種学		
選択科目		●農場実習Ⅱ ●牧場実習Ⅰ	●農場実習Ⅰ・Ⅱ 飼料作物の栽培・管理・利用から家畜の飼養管理に関する基本的な知識について、本学が所有する広大な附属牧場で実際に体験し習得できる実習です。	
必修科目	●農場実習Ⅰ・Ⅱ 作物、野菜、果樹の栽培から収穫まで、無人田植え機、AIトラクター、農業散布ドローン、IoTセンサーなど様々な最新機器を使って実習を行います。		●動植物資源生命科学専門実験・実習Ⅰ ●動植物資源生命科学専門実験・実習Ⅱ	●卒業研究
選択科目	●果樹園芸学総論 ●植物生理学 ●野菜園芸学総論 ●果樹園芸生理学 ●農場実習Ⅲ ●昆虫生態学 ●雑草防除学 ●農地環境工学 ●植物遺伝資源・育種学実験 ●動植物生産データサイエンス ●衛生微生物学 ●動物育種資源学 ●家畜栄養学 ●作物学総論 ●飼料作物学 ●草類利用学 ●動物生理学Ⅰ ●施設園芸学 ●植物生産科学実験Ⅰ ●花き園芸生理学 ●植物生産科学実験Ⅱ ●企画実習 ●植物病理学総論 ●植物病理学各論 ●草地生産・土壌肥科学実験 ●生物生産機械学 ●園芸利用学 ●動物生殖生理学 ●家畜栄養学実験 ●草地畜産論 ●草地と草食獣の生態学 ●草類利用学実験		●野菜園芸学各論 ●果樹園芸学各論 ●総合的書虫管理学 ●植物遺伝資源学 ●遺伝子工学 ●野生動物学実験 ●生産流通施設学 ●社会統計学 ●畜産食品製造学 ●食品衛生学 ●水産化学 ●食品製造学 ●国際農業論 ●GAP指導員講座 ●動物生殖制御学 ●実験動物学各論 ●家畜・動物園動物管理実習 ●動物生殖生理学実験 ●農場実習Ⅱ ●農業科教育法Ⅰ ●動物解剖学Ⅰ ●動物解剖学実習 ●動物生理学Ⅱ ●毒性学 ●栽培植物起源論 ●フィールド実践実習(農場) ●草地植生管理学 ●植物栄養学 ●作物生産学 ●生物計測工学 ●動植物生産データエンジニアリング ●農畜産食品開発学実験 ●青果代謝生理学 ●公衆衛生学 ●分析化学 ●農産食品製造学 ●食品保蔵化学 ●水産食品製造学 ●農業経営学 ●農業・社会調査実習 ●飼料学 ●動物福祉学 ●動物育種学 ●動物遺伝育種学実験 ●実験動物学実習 ●農業科教育法Ⅱ ●動物解剖学Ⅱ ●実験動物学 ●薬理学Ⅰ ●動物衛生学	
選択科目	●農業・社会調査実習 生産現場や地域社会について調査し、地域資源の有効活用や地域社会の抱える問題について分析します。			
	●学外体験実習 ●スマート農業インターンシップ			

求める学生像



動植物資源生命科学コースでは、畜産・実験動物・草地・植物・園芸・食品・遺伝育種・土壌肥料・スマート農業・生命科学などの多様な教育・研究を行っています。これによって、動植物生産、生命科学、次世代農学をトータルにコーディネートできる人材を育成することを目標としています。そこで、本コースでは次のような人を求めています。

- 動植物や自然環境、農業・畜産に強い関心を持ち、持続可能な社会の実現に向けて積極的に学ぼうとする人
- 大学での学修に必要な理科(特に生物・化学)に関する基礎学力と幅広い知識を備えている人
- 観察や実験を通じて得た事実を深く考察し、自らの考えとしての確に表現できる人
- 国際的な視野と社会的責任感をもって、学びを社会に活かそうとする姿勢をもつ人
- 学業や学校内外の活動を通して、他者と協力しながら主体的かつ積極的に行動できる人

動植物に関する幅広い・ユニークな研究

畜産・実験動物・草地・植物・園芸・食品・遺伝育種・土壌肥料・スマート農業・生命科学などの多様な研究

家畜の生産性を持続的に高めていくための研究

肉用牛および豚を対象に、超音波を利用した産肉能力の推定、ゲノム情報を用いた統計遺伝学的・分子遺伝学的アプローチによる遺伝的要因の解明を行っています。また、未利用資源を活用した飼料開発や試験管モデルを用いた豚卵子の発生能力の向上によって、家畜の生産性を持続的に高める研究も行っています。



豚卵子細胞質の脂肪滴分布像
遺伝子実験の様子
飼料用に加工される規格外サツマイモ

土壌環境や飼料の生産性向上のための様々な研究

窒素の有効利用による環境保全型農業の確立や、家畜の飼育に欠かすことのできない飼料の生産性向上に関する教育研究を行っています。有用な土壌微生物の利用、植物の環境ストレス耐性、新規牧草の導入評価についても取り組んでいます。



暖地型マメ科牧草の生育調査
塩類集積土壌モデルを用いた植物(シバ)の環境ストレス試験の様子

野生由来実験動物や野生動物の保全・管理に関する研究

動物の習性や特徴を解析することで、人々や動物に役立つ情報を蓄積しています。特に、小型齧歯類を中心に、実験動物としての潜在能力の探究と開発、動物園動物や愛玩動物のより良い飼養管理、さらには希少野生種の保全に関する研究に力を入れています。



母子関係、アタッチメント、社会行動の発達に関する研究
ハムスターの行動と腸内細菌叢の研究
季節適応と飼育下繁殖に関する研究

AI・スマート農業技術を活用した動植物生産に関する研究

動物分野では、ドローンやロボット、活動センサーを活用し、草地を持続可能に利用し、家畜のウェルフェア・健康状態を向上させる研究に取り組んでいます。植物分野では、AIを搭載した栽培装置の作成や栽培データと機械学習を使った品質予測など、新しい栽培技術の確立に取り組んでいます。



ドローンを用いた草地の調査風景
トマト温室内の栽培データ取得装置
シンボルボードコンピュータを導入した栽培装置

植物の抵抗性と天敵を活用した、環境と農家に優しい農業

畑や果樹園に良い虫(天敵)を呼び込むための天敵温存植物の研究や植物の病害抵抗性を高める研究、病害虫診断法の開発などを行っています。農家と一緒に作った共同実験ほ場や地域農家ほ場で試験し、農家のための環境保全型技術を宮崎大学から発信します。



注目を集めている捕食性天敵
農家ハウスに植え込んだ天敵温存植物
病害虫診断

新しい高品質野菜生産のための研究

野菜の生理・生態を明らかにする研究やトマトにストレス(乾燥や塩)を与えて食味・機能性成分を高める研究、野菜の新しい栽培システムを開発する研究など様々な課題に取り組んでいます。これらの研究から新しい高品質野菜生産について考えていきます。



通常のトマト
ストレス付与によるトマトの高品質化
栽培環境制御による生産性と品質の向上
短日条件下で肥大したミニ蓮根(種子から栽培)

地域で生産される様々な果樹の品質・生産性向上に関する研究

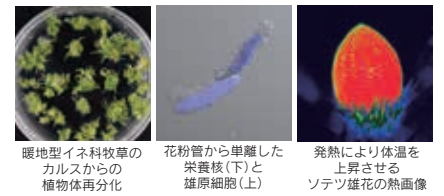
ブルーベリーの葉の機能性評価、新品種の育種や栽培技術の開発、カキの樹を小型化するわい性台木の研究、また日向夏(ヒュウガナツ)の種無し果実生産に関する研究などを通して、地域の果樹産業の振興に寄与するような研究を行っています。



ブルーベリー葉の収穫
種の少ないヒュウガナツ果実
わい性台木'MKR1'により樹高が2mに抑えられたカキ

植物機能評価・新品種育成に関する研究

生命科学のアプローチを駆使して、植物のもつ機能の解明や遺伝資源の評価を行い、新しい品種の作出などに取り組んでいます。ゲノム編集技術によるイネ科牧草のストレス耐性の強化、品種改良の効率化に向けた植物受粉機構の研究、花の発熟を駆動する仕組みの理解・解明など、幅広い研究を行っています。



暖地型イネ科牧草のカルスからの植物体再分化
花粉管から単離した雌雄核(下)と雄原細胞(上)
発熱により体温を上昇させるソテツ雄花の熱画像

卒業後の主な進路

公務員、教員、試験研究機関、農業団体、肥料会社、種苗会社、農業法人、食品製造加工業、食品流通業、醸造業、外食産業、農業医薬産業、農業機械関連産業、農産施設関連産業、国際協力機構、金融業、マスコミ、就農、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種免許状(理科・農業)※1
- 学芸員※2
- 実験動物1級技術者※3
- 飼料製造管理者※4
- 食品衛生監視員※4
- 食品衛生管理者※4
- 家畜人工授精師※5

- ※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
- ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
- ※3 所定の科目の単位を修得すれば、4年次に受験することができます。学科および実地の両試験に合格した者は、認定登録申請により実験動物1級技術者の資格を得ることができます。
- ※4 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。
- ※5 所定の科目の単位を修得し、その他所定の要件を満たした人は卒業後に資格を得ることができます。

※時間割の都合上、複数の取得可能な免許、資格の取得は困難な場合があります。

森林環境持続性科学コース

Course of Forest Environment and Sustainability Sciences



森 林や緑地は、私たちの暮らしや地球の未来と深くつながっています。本コースでは、フィールドワークや実験・調査を通して、生物多様性の保全、水や土壌の環境管理、野生動植物保護、森林資源の活用などを実践的に学びます。自然と人間が調和する持続可能な社会を、科学の力で支える人材を育成します。

生物好きだから選んだ 森・水・植物、ここで学べる



北川 萌百花 Momoka Kitagawa
佐賀県 白石高等学校出身

生物全般への関心から、植物や水など幅広いテーマを学ぶことができる宮崎大学農学部を志望しました。広大な演習林での測量実習など、実践的な環境が整っている点も大きな魅力です。

入学後は、高校では触れなかった林業や森林を深く掘り下げられるだけでなく、水資源との深い関わりにも驚きを覚えました。卒業生の進路も林業にとどまらず、公務員・不動産・食品・製菓など幅広い分野に広がっており、その多様さは入学当初の予想を大きく超えるものでした。

現在はスダジイとツブラジイを研究テーマとしています。フローリング材に多く使われる樹種でありながら、国内ではまだ植林が進んでいません。材木利用や林業発展のヒントを探ることを目指しています。

森林は馴染みが少ない分野かもしれませんが、生物好きにとっては植物や水に関係した実習も多い学びの場です。自然の中で学びたい人には、ぜひおすすめしたい環境です。

森林環境持続性科学コース カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系、基礎統計学)			
	課題発見科目(データサイエンス系、自然・生命・技術系、人文・社会・芸術系、地域・国際・学際系)			
学部共通科目	未来共創科目(構想・デザイン系)			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 農学・獣医学入門 ● 農学・獣医学DX入門 ● 農学・獣医学グローバル入門 		<ul style="list-style-type: none"> ● 農学・獣医学データサイエンス演習 ● 農学・獣医学の倫理と安全 ● 農学・獣医学専門英語演習 	
学域共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 農学基礎実験・実習Ⅰ ● 農学基礎実験・実習Ⅱ ● アグリノベーション概論 ● 化学概論 ● 基礎行動・生態学 ● 生命化学概論 ● GAP概論 ● 動物行動学 ● 基礎海洋資源科学 ● 基礎動物学 ● 環境気象学 ● 基礎環境資源経済学 ● 九州沖縄農林水産学 	樹木学実習 九州南部の森林に自生する樹木を同定できる能力を身につけます。		森林保護学 森林で発生する病虫害・獣害等の現状と発生メカニズムを学び、森林管理やワイルドライフマネジメント、生物多様性保全の場においてこれらに対処するための基礎的知識を身につけます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林環境持続性科学概論 ● 環境計測学 ● 景観生態学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林生態学 ● 樹木学 ● 木本植物組織学 ● 環境防災学 		
専門基礎科目	環境計測学 生物や環境を認識するために観察し、数値として表される「データ」を得る手段と解釈する手段の基礎、環境問題に対処するための考え方を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 樹木学実習 ● 木本植物組織学実験 ● 基礎物理学 ● 基礎数学 ● 森林経済学 ● 森林計測学 ● 森林計測学実習 ● 森林フィールド特別実習 ● 樹木生態生理学 ● 砂防学 ● 構造力学 ● 土質力学 		<ul style="list-style-type: none"> ● 森林利用学 ● 森林政策学 ● 森林資源利用科学 ● 造林学 ● 水理学 ● 環境材料学演習 ● 農山村環境計画学 ● 測量学 ● 測量学実習 ● 森林保護学 ● 森林計画学 ● 森林土壌学実習 ● 森林資源利用科学実験 ● 植生調査実習 ● 木材工学 ● 環境空間情報学 ● 応用力学・水理学 ● 水資源管理学 ● 造林学実験実習 ● 学外研修
専門科目				<ul style="list-style-type: none"> ● 植物生理学総論 ● 農地環境工学 ● 土壤肥科学 ● 植物病理学各論 ● 雑草防除学
				● 卒業研究

求める学生像



森林環境持続性科学コースでは、森林や緑地、生物・土壌・水環境を対象に、科学的・数理的な視点から自然を解析し、生産と保全を両立させる方法を探究します。フィールド調査や実験で得られたデータを、統計や解析手法を用いて客観的に読み解き、国内外の里地・里山が抱える課題、地球規模の環境問題に対して、その解決方法を社会に提案できる人材の育成を目標としています。そこで本コースでは次のような人材を求めています。

- 自然や野生動植物が好きで、その仕組みを科学的に解き明かしたい人
- 理科(生物や物理)や数学などの基礎学力のある人、またはそれらを伸ばしていきたい人
- データや野外観察結果をもとに論理的に考えることが好きな人
- 自然を「好き」で終わらせるのではなく、科学の力で「理解」し解決につなげる意欲のある人
- 森林・農地・環境分野の専門性を活かして社会に貢献したい人

教育・研究のキーワード

森林と農地の生態系を科学的に評価し、守る

綾コネスコエコパークや世界農業遺産の高千穂郷・椎葉山地域など、宮崎の豊かな自然をフィールドに、野生動植物の保護や生態系保全について科学的に解析・評価する研究を行っています。森林や農地の多面的な機能を、自然科学と社会科学の両面から解析・評価し、地域や社会、産業に活かす力も養います。



日向夏を対象としてミツバチの送粉サービスを評価



生態系の保全と管理



希少生物の保護

森林を育て、緑の力で防災・水資源を支える

林業が盛んな宮崎の森林を活用し、生物多様性や水資源も考慮した生態系管理手法を、国や県、企業と連携して研究開発します。ドローンや測量・解析技術など最新の手法を取り入れ、緑を生かした防災・水資源管理にも挑戦します。



水路の生物多様性調査



棚田での水資源調査



土砂災害の要因を探る

世界の森林・環境問題に挑む

地球環境のモニタリングや海外の大学との協定を活かし、国際的な視野で教育・研究を展開します。フィールドで得たデータや知見は、国内外の森林・環境問題解決に活かされます。国際共同研究や海外研修を通じて、世界で通用する知識と実践力を身につける教育を行っています。



ヨーロッパの森林研修



インドネシアのアグロフォレストリーでの生物多様性調査

充実したフィールド教育・最先端の研究

広大な演習林などを舞台に、森林緑地の機能、生態系の保全、緑を活用した防災など様々な実習を行うと共に、持続可能な社会に向けた森林資源の活用を目指し、高層ビルの建築も可能になる木材の高度利用に向けた材質研究など、最先端の教育・研究を行っています。



森林が吸収・放出している二酸化炭素吸収量を測定



森林3次元計測システムを使った森林研究

卒業後の主な進路

公務員(農水省、林野庁、県、市町村など)、教員、林業、木材産業、農林業関連団体(森林組合系、土地改良事業団、JA系など)、環境・緑化・農業土木関連企業(建設コンサルタント、造園・建設会社)、環境アセス・コンサルタント 大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(農業、理科)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 普及指導員^{※3}
- 林業普及指導員^{※3}
- 自然再生士補^{※4}
- 樹木医補^{※4}
- 測量士補^{※4}
- 森林情報士2級^{※5}

※1 別に定める教育職員免許法の科目の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。

※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

※3 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。

※4 所定の科目の単位を修得し、関係機関に申請すると、資格を得ることができます。

※5 所定の科目の単位を修得し、別途条件を満たして関係機関に申請すると、資格を得ることができます。

※時間割の都合上、複数の取得可能な免許、資格の取得は困難な場合があります。

海洋生命科学コース

Course of Marine Life Science



海 洋は地球の環境を和らげ、生物資源に満ちています。海洋を含む水圏環境について深く学び、食料資源としての養殖生産、生物の多様性および海洋資源の利活用を探究するコースです。地域だけではなく国際社会で活躍できる農学ジェネラリティ能力を有するスペシャリストの育成を目指します。

豊かな実習環境が育む フィールドと座学の学び



岡本 萌 Moe Okamoto
大阪府 春日丘高等学校出身

魚を食べることが好きで、将来は水産系の仕事に就きたいと考えていました。近年は海水温の上昇など環境問題が深刻化しており、宮崎大学農学部ではそれらの問題に対するさまざまな解決策へのアプローチを学ぶことができるのではないかと思います、入学を決めました。

入学前は海洋のことだけを学ぶと思っていましたが、無機化学など化学系の講義もあり、学びの幅は大きく広がりました。海に入る実習が豊富で、フィールドワークと座学の両面から知識を深めることができます。私は船に乗る実習は経験しませんでした。沖合にある養殖場を見学するなど、海に近い環境を生かした学びは誰もが経験できます。フィールドと座学を組み合わせた学習環境は、宮崎大学農学部が持つ大きな強みです。

現在は研究室で、魚の持つ機能を解明する分子生物学を専攻しています。遺伝子系や生理学系の分野に以前から関心があり、その探究を深めています。研究を通じて身につけた知識や技術を、卒業後も水産に関わる仕事の中で役立てていきたいと考えています。

海洋生命科学コース カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系、基礎統計学)			
	課題発見科目(データサイエンス系、自然・生命・技術系、人文・社会・芸術系、地域・国際・学際系)			
	未来共創科目(構想・デザイン系)			
専門科目	学部共通科目 ● 農学・獣医学入門 ● 農学・獣医学グローバル入門 ● 農学・獣医学DX入門		● 農学・獣医学データサイエンス演習 ● 農学・獣医学の倫理と安全 ● 農学獣医学専門英語演習	
	学科共通科目 ● 食資源学入門 ● 農学基礎実験・実習Ⅰ・Ⅱ ● 基礎動物学 ● アグリノベーション概論 ● GAP概論 ● 動物行動学 ● 基礎環境資源経済学 ● 環境気象学 ● 生命化学概論 ● 化学概論 ● 基礎海洋資源科学 ● 基礎行動・生態学			
	コース専門基礎科目			
	● 海洋生物環境学概論	● 環境微生物学 ● 海洋生物分類学 ● 浅海生態学 ● 生物の多様性と遺伝子科学		
	● 水産食品科学 ● 水域生物生理学 延岡フィールド臨海実習 延岡フィールド周辺の海域に棲む生物を採集し、分類学の基礎知識を実物から学びます。集めた生物と知識により、ミニ水族館展示も企画・運営します。	● 水生生物解剖分類学実験 ● 水産化学 ● 水族生理学実験 ● 魚類学 ● 水産化学実験 ● マリンバイオテクノロジー ● 動物生体防衛学 ● 魚類生理学 ● サンゴ礁学 ● 養殖学入門 ● 水産食品微生物学 ● 組織学 ● 水族館学 ● 延岡フィールド臨海実習 ● 水産食品製造学 ● 水族病原微生物学 ● 水産法規 ● 藻類分類学 ● 海洋生物探査講座 ● 遺伝子工学	● 海洋微生物学実験 ● 水産増養殖学 ● 水産飼料学 ● 魚病学 ● 海洋分子科学 ● 微生物との共生 ● 魚類生態環境学 ● 食品保存化学 ● 食品衛生学 ● 公衆衛生学 ● 水族生産学体験講座 ● 水産科教育法	水族生産学体験講座 水産に関する最先端の研究施設・養殖施設などを見学し、水産の現場を実際に学ぶ授業です。現場を知り、様々な課題を肌で感じ、将来に役立ちます。
		海洋生物探査講座 鹿児島大学の練習船「かごしま丸」に乗船し、東シナ海周辺で海洋観測やプランクトン観察および底引き網漁などを体験する5日間程の乗船実習です。		● 卒業研究



求める学生像

海洋生命科学コースでは、農学の幅広い学問領域において基礎的知識や能力(農学ジェネラリティ)を備え、かつ食料、環境、資源及び生命に関する高度な専門性(実践型スペシャリティ)を有する人材の育成を目標としています。

そこで、海洋生命科学コースでは次のような人材を求めています。

- 高等学校で履修した生物・化学・英語を中心基盤とした知識や思考力を持ち、水圏生物および環境に関する自然科学に強い関心を抱いている人
- 水圏における食料・生命・資源・環境に関わる課題に対する強い関心を持ち、論理的思考を深め、課題解決に向けて探求する意欲のある人
- 国際社会におけるダイバーシティの理解に努め、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性を備えた人
- 水域生物の資源の利活用を意識し、それらを主体的に学ぶ姿勢を持ち、地域および国内外での貢献を志す人
- さまざまな先端技術に興味を持ち、それらを主体的に学び探求する意欲にあふれる人

教育・研究のキーワード

フィールド教育と人材育成

宮崎の温暖な海を活かした充実したフィールド教育・研究を行っています。臨海施設での実習、乗船実習、水産研究機関・企業での実地教育をとおして、体験と授業での知識を融合させます。柔軟な視点で海の生物や環境の未来を考え、水族館から医薬・産業まで、幅広い分野で活躍できる即戦力人材を育成します。



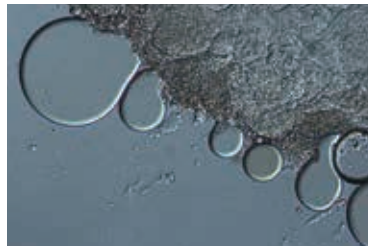
延岡フィールドでの実習



乗船実習での航海のようす

海洋微生物による有用物質生産

海洋には未知の微生物が多数潜んでいます。陸上微生物とは異なる性質を研究し、医薬成分やバイオプラスチックなどへの応用を行っています。油糧微生物によるバイオ燃料の開発といった新たな技術開発研究をとおして、資源問題への寄与、私たちの暮らしに利活用するための研究を行っています。



海洋微生物が作り出す油



有用物質をつくるミドリムシ

魚の持続可能な水産に向けた研究

魚の持続可能な水産業に寄与するため、病気対策、成長や繁殖などの体内機構の解明を行っています。チョウザメ、ウナギ、メダカ、サメなどの絶滅危惧種からサケやアジ・サバなどの水産有用魚種における新たな成長・繁殖技術の開発、食品利用研究をとおして、日本の水産業の発展に役立てます。



チョウザメのキャビア生産



二ホンウナギの卵

海洋生物の生態・分類と環境教育

宮崎県を中心に、海洋生物の不思議な生態の解明や、新種発見といった分類などの研究を行っています。海洋微生物から、サンゴや貝などの無脊椎動物、魚類まで様々な生き物を対象にし、図鑑の作成、野外調査、食害生物の駆除など環境保全に寄与する研究・活動をとおした環境教育を行っています。



宮崎の大サンゴ群集



魚図鑑をとおした環境教育

卒業後の主な進路

水産物・食品・飼料製造流通関連企業、漁運・漁協等団体、船舶会社、医薬品関連企業、水族館・博物館・海洋観光産業、公務員、教員、環境アセス・コンサルタント、試験・研究所、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(水産、理科)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 食品衛生監視員^{※3}
- 食品衛生管理者^{※3}
- 潜水士^{※4}

- ※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。
- ※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
- ※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。
- ※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、受験に有利になります。在学中に受験し、資格を得ることができます。

※時間割の都合上、複数の取得可能な免許、資格の取得は困難な場合があります。

応用生命化学コース

Course of Applied Biochemistry and Biotechnology



生 命現象を化学の視点から探究し、人の健康、食糧、エネルギー、環境などに関する重要課題の解決に必要な素養を学ぶことができます。特に、生化学系の実践型教育カリキュラムを通して、動植物および微生物のもつ生物機能を生化学的に探究し、その技術化を通して地域社会の発展に貢献するだけでなく、国際社会を視野に入れて活躍できるリーダー人材の育成を目指します。

食品研究への興味が出発点 少人数実習と充実のサポートで成長



花井 優友 Yu Hanai
長崎県 長崎北陽台高等学校出身

生物が好きで、食品系の研究がしたいと考えるようになった際に、農学部という進路があることを知りました。さらに宮崎大学の出前講義で、大学に野生動物のサークルがあると聞き、入学への興味が深まりました。

入学後の「農業基礎実験実習」は少人数制で、大学院生がアシスタントとして丁寧にサポートしてくれます。もともと化学が少し苦手でしたが、分からない点をすぐに質問できる環境のおかげで、実験・実技を通じて苦手を克服できました。

本学では、自分の専門・専攻にかかわらず将来に役立つ情報を幅広く得られる環境が整っています。1年次からインターンシップにも参加できるため、大学4年間を通じて社会へ出る準備を着実に進められます。

現在2年生ですが、大学院進学を目標としており、化学はもちろん微生物や食品など幅広い分野を学ぶことができる本コースで、卒業までの間、関心の幅を広げ続けていきたいと考えています。

応用生命化学コース カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
授業科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)		課題発見科目(データサイエンス系、自然・生命・技術系、人文・社会・芸術系、地域・国際・学際系)	
	未来共創科目(構想・デザイン系)			
専門科目	学部共通科目 ● 農学・獣医学入門 ● 農学・獣医学グローバル入門 ● 農学・獣医学DX入門 ● 食資源入門 ● 農学基礎実験実習I ● 農学基礎実験実習II	微生物学 微生物の物質代謝である各種発酵の化学機構、生理活性物質及び各種発酵生産のバイオテクノロジー分野について学びます。	● 農学・獣医学データサイエンス演習 ● 農学・獣医学の倫理と安全 ● 農学・獣医学専門英語演習 ● 宮崎の地域活性化演習	
	学部共通選択科目 ● 化学概論 ● 生命化学概論 ● GAP概論 ● 基礎環境資源経済学 ● 動物行動学 ● 基礎海洋資源科学		食品栄養化学 食品を構成している栄養素や主要成分の化学的性質や健全に生命を維持するために必要な摂取量の他、消化・吸収・代謝について学びます。	
	● 有機化学 ● 分析化学	専門基礎科目 ● 化学各論 ● 生物分子化学 ● 酵素化学 ● 微生物学 ● 微生物学実験 ● 分析化学実験 ● 生物化学 ● 食品栄養化学 ● 食品製造学 ● 有機化学実験 ● 生物化学実験		
	生物化学 生体の恒常性を維持する様々な代謝反応について、有機化学や物理化学の知識を土台に、各代謝反応を特に生体エネルギーの観点から化学的に学びます。	● 植物生理学 ● 土壌肥料学 ● 応用微生物学 ● 植物遺伝・育種学 ● 植物育種学 ● 遺伝子工学 ● 実用英語	● 細胞機能分子化学 ● 生体分子機能化学 ● 食品機能化学 ● 農産食品製造学 ● 入門セミナー ● 植物遺伝資源学 ● 食品衛生学 ● 公衆衛生学 ● 微生物機能開発学 ● 植物栄養生化学 ● 食品保蔵化学 ● 水産食品製造学 ● 畜産食品科学 ● 動物生体防御学 ● 学外研修 ● 生物機能科学実験 ● 食品機能化学実験	● 畜産食品製造学 ● 卒業論文

求める学生像



応用生命化学コースでは、生命化学に関する基礎知識と応用生物化学・食品化学・生物工学の各領域に関する基礎および専門知識を理解し、それを問題解決に応用できる人材、さらに、技術者の社会的責任やあらゆる状況下で計画的に仕事を進め、まとめる力を身に付けた人材の育成を目標としています。

- 化学をはじめとする自然科学に対して強い興味と探究心をもっている人
- 化学や生物などの理科(自然科学)や数学、英語などの基礎学力を備えている人
- 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを実現する力をもっている人
- 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組もうとする人
- 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人

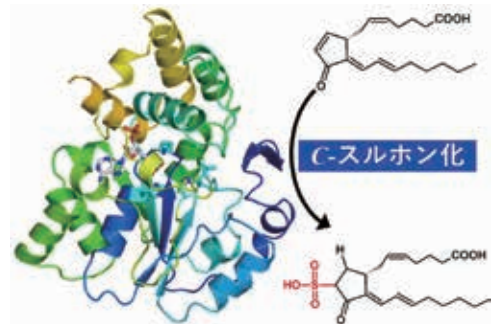
応用生命化学に関するユニークな研究

応用生物化学領域、食品機能化学領域、生物工学領域(微生物分野・植物分野)の3つの研究領域で様々な研究を展開しています。

応用生物化学領域

生体分子機能化学研究室 健康生命化学研究室

生体機能の解明と機能の活用に関する研究をしています。特に、生化学的手法や最先端の分析技術を用いて、タンパク質などの生体分子の機能解明や応用に関する研究のほか、スルホン化と呼ばれるホルモン分子の活性制御を行う酵素反応に関する研究(右図)を行っています。また、炎症や免疫、肥満、老化の機構解明と食品成分による予防と効能に関する研究も行っており、ヒトの健康増進への貢献も目指しています。

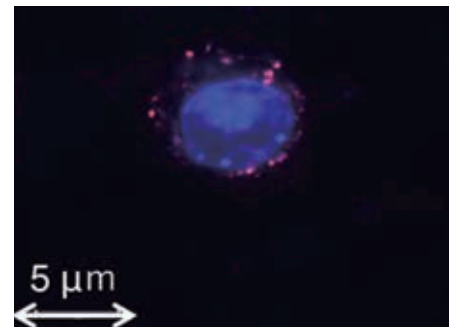


C-スルホン化反応と触媒酵素の立体構造

食品機能化学領域

栄養化学研究室 食品機能化学研究室

食品の栄養機能と機能性の活用に関する研究を行っています。特に、食品成分による腸内細菌や腸内環境改善に関する研究や眼の視機能保護作用を有する食品成分の探索とその作用機構の解明研究を行っています。また、野菜や果実中に普遍的に存在しているナノ粒子はRNAなどの有用成分を包含する機能性ナノ粒子であり、生体を構成する細胞と相互作用します(右図)。食品の栄養機能解明や食品由来ナノ粒子の機能解明から、ヒトの健康増進への貢献を目指しています。



免疫細胞に取り込まれる食品由来のナノ粒子

生物工学領域

微生物機能開発学研究室 環境微生物学研究室 植物生理学研究室

環境と微生物の相互作用解明およびその利用に関する研究を行っています。特に、微生物の機能を活用したアルコール発酵によるエネルギー資源の産生や微生物による有機廃棄物の代謝能力を活用したエネルギー生産と環境浄化に関する研究(右図)などを行っています。また、植物の生理機能解明と環境応答に関する研究を行っています。特に、植物の低温応答や葉緑体形成機構を標的とした新たな農薬や代謝機能改変技術の開発を目指します。



有機廃棄物処理を燃料に発電する微生物燃料電池

卒業後の主な進路

食品製造業、流通業、醸造業、医療・製薬関連企業(化粧品会社含む)、化学工業、環境化学関連企業、農業関連団体、公務員、教員、大学院進学他

取得可能な免許、資格

- 高等学校教諭一種普通免許状(理科)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 食品衛生監視員^{※3}
- 食品衛生管理者^{※3}
- 普及指導員^{※4}
- 毒物劇物取扱責任者^{※5}

※1 別に定める教育職員免許法の所要単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請する必要があります。

※2 所定の単位を修得し、申請すると、「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。

※4 資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので、受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。

※5 卒業後、勤務先の毒物劇物を取り扱う製造所、営業所または店舗で必要とされる場合に、この資格をもつことができます(受験等の必要はありません)。

※時間割の都合上、複数の取得可能な免許、資格の取得は困難な場合があります。

獣医学科

Department of Veterinary Sciences



獣 医師国家試験に対応する獣医学教育を基本として、動物の疾患の予防・治療に関わる獣医師、動物と人の共通感染症の防御を通じて動物と人の健康・福祉に貢献する獣医師を養成します。なかでも、南九州の特色である産業動物獣医師の養成に力を入れています。また、平成22年度にはわが国で初めて医学と獣医学が融合した大学院(医学獣医学総合研究科)が設置され、先進的な獣医療を実施する高度獣医師育成コースや国際的に活躍できる研究者育成コースへの進学が可能です。

大きなフィールドを持ち 牛や豚に触れる実習が魅力



獣医学科 5年

賀本 萌生 Megumi Kamoto

宮崎県 日向学院高等学校出身

ペットの病気や、けがをした動物を前に何もできないもどかしさが、獣医学を志すきっかけになりました。当初は小動物を専門に考えていましたが、大動物も学べる本学科なら将来の選択肢を広げられると感じ、進学を決めました。

本学科では大動物の実習が充実しており、畜舎で働く方から現場ならではの知識を直接教えていただける点などは大きな魅力です。講師陣は多彩で、学外の方による貴重な講義を受ける機会もあります。また、小動物診療の環境も充実しており、現在所属している内科学研究室には多くの症例が集まります。症例を通して幅広い疾患や治療を学べ、大動物から小動物まで幅広い分野の獣医学に触れられることも本学科の魅力だと感じています。

課外活動も充実しており、保護猫の譲渡サポート、自然動物の保護活動、ウミガメの個体調査など、本学科生には意義ある取り組みが多数あります。獣医師の就職先は県の家畜関連施設をはじめ幅広い分野に及びます。まだ悩みながらではありますが、自分に合った道を探っていきたいと考えています。



獣医学科 カリキュラム

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教養教育科目					
導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接続系)					
課題発見科目(データサイエンス系、自然・生命・技術系、人文・社会・芸術系、地域・国際・学際系)					
未来共創科目(構想・デザイン系)					
学部共通科目			学部共通科目		
● 農学・獣医学入門 ● 農学・獣医学入門Ⅰ-カル入門 ● 農学・獣医学DX入門		● 農学・獣医学データサイエンス演習 ● 農学・獣医学の倫理と安全	● 農学・獣医学専門英語演習		
専門基礎科目					
● 獣医学概論・獣医学史 ● 動物福祉学 ● 獣医畜産法規					
基礎獣医学					
● 解剖学Ⅰ・Ⅱ ● 動物生理学Ⅰ ● 動物遺伝育種学 ● 組織学 ● 発生学 ● 動物生理学Ⅱ・Ⅲ	● 解剖学実習 ● 組織学実習 ● 実験動物学 ● 獣医遺伝子学 ● 生理化学 ● 薬理学Ⅰ ● 獣医実験動物学実習	● 生理学実験実習 ● 生理化学実験実習 ● 薬理学Ⅱ ● 薬理学実験 ● 獣医動物行動学	● 放射線生物学		
獣医学概論・獣医学史					
獣医学の理念や歴史を学ぶとともに、現役の獣医師の方々を外部講師として招き、社会的ニーズや、獣医師の職域の多様性、獣医師の責務を学びます。	● 免疫学 ● 動物病理学Ⅰ ● 微生物学総論 ● 微生物学各論Ⅰ ● 寄生虫学 ● 寄生虫学実習	● 動物病理学Ⅱ・Ⅲ ● 微生物学各論Ⅱ ● 動物病理学実習Ⅰ ● 微生物学実習Ⅰ・Ⅱ ● 家禽疾病学	● 動物病理学実習Ⅱ ● 魚病学 ● 動物感染症学 ● 動物感染症学実習 ● 人と獣共通感染症学	● 臨床寄生虫病学	
獣医動物行動学					
犬や猫、産業動物を中心に、獣医学が対象とするさまざまな動物種について、行動様式や行動の起こるしくみ、そのしくみが発達する過程などを学びます。	● 野生動物医学	● 動物衛生学 ● 毒性学 ● 毒性学実験	● 動物衛生学実習 ● 獣医疫学 ● 獣医公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ	● 公衆衛生学・食品衛生学実習	
臨床獣医学					
	● 獣医臨床学総論Ⅰ ● 画像診断学	● 獣医臨床学総論Ⅱ ● 獣医臨床学各論Ⅰ～Ⅲ ● 馬臨床学 ● 獣医画像診断学実習 ● 産業動物臨床学 ● 臨床繁殖学Ⅰ・Ⅱ ● 小動物内科学実習 ● 獣医外科学実習Ⅰ ● 臨床繁殖学実習	● 臨床診断治療学Ⅱ ● 獣医外科学実習Ⅱ ● 産業動物診断治療学実習 ● 伴動物参加型臨床実習Ⅰ ● 産業動物参加型臨床実習Ⅱ	● 伴動物参加型臨床実習Ⅱ	
その他					
	● 畜産学実習		● 講座専修実習Ⅰ・Ⅱ ● 海外獣医学研修	● 獣医インターンシップ ● 卒業研究	
アドバンス科目					
● アドバンス伴動物医療学Ⅰ ● アドバンス獣医地域行政学			● 産業動物参加型臨床実習 地域の畜産農家さんのもとを教員や獣医師とともに訪れ、実際の臨床現場において診断方法、適切な治療法などを学びます。	● アドバンス畜産・獣医学発展科目 ● 家畜栄養学 ● 動物環境管理理学 ● 飼料作物学	● アドバンス科目 ● アドバンス理論感染症学 ● アドバンス伴動物高齢獣医学 ● アドバンス伴動物医療学Ⅱ ● アドバンス産業動物臨床学 ● アドバンスグローバル獣医学 ● アドバンス野生動物臨床獣医学 ● アドバンス動物生命科学

求める学生像



獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、獣医学科では、次のような人材を求めています。

- 自然科学や社会的な課題に対する強い関心と、獣医学を学ぶことに対して明確な目的意識を持ち、修得した知識によって自然と共生する社会の実現に貢献する意欲を持っている人
- 国籍や言語、文化、考え方の違いを超えて、他者と協調しながら活動するために必要な語学力や自己表現力を養う意欲を持っている人
- 根拠に基づいて論理的に課題を解決するために、情報分析力、洞察力、課題探求力、思考力を養う意欲を持っている人
- 数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それを主体的に学ぶ意欲を持っている人
- 学校推薦型選抜(地域枠)においては、獣医師として宮崎県に暮らす人々の生活を守り、地域の農林畜産業の発展に貢献する意欲を持っている人

私のいる附属動物病院では、先進的な治療を実施し、日々の診療と並行して、次世代の獣医師育成に向けた教育および臨床研究にも力を注いでいます。

近年、小動物医療は飛躍的な進歩を遂げ、分野によっては人医療に匹敵するレベルに到達しています。本院では、最先端の知見と技術を取り入れ、動物一頭一頭に最適な獣医療を提供しています。これらの高度医療は、動物の生命や生活の質(QOL)の向上に寄与するだけでなく、ペットを持つ飼い主の心を支える役割も担うと感ずります。さらに、本学の研究活動は、動物医療の発展にとどまらず、人の疾患理解や新たな治療法の開発にも貢献しています。動物と人の健康をつなぐ学問として社会的意義を有し、その最前線として、教育・臨床・研究の融合を推進しています。



獣医学科
准教授 井上 賀之 Yoshiyuki Inoue



宮崎で学ぶ実践教育

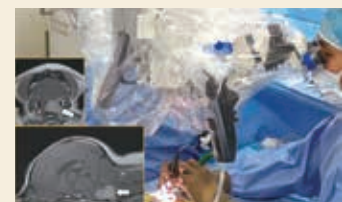
—Miyazaki+(プラス)連携教育で獣医師の育成—

獣医学教育モデル・コア・カリキュラムが制定され、わが国の獣医学教育が大きく変わりつつあります。その中で宮崎大学が培ってきた獣医師育成の土台は変わることなく、実践的な教育を主体とした、自主的に学ぶ素地を身に付けた学生を育てることです。附属動物病院での診療に参加し症例から学ぶ臨床教育や人獣共通感染症教育・研究プロジェクトを軸にした感染症/防疫に関するユニークな教育、基礎～応用に段階的に進む充実したカリキュラム・マップ、南九州に根ざした“触れる”産業動物教育、など豊富な教育コンテンツを有する宮崎大学で獣医師への一歩を踏み出してみませんか。

また、東京大学、大阪公立大学との連携教育により講師派遣および遠隔講義を実施しており、これまでに感染症学、薬理学、臨床などの各分野で強みのある専門教育を相互に提供しています。この連携教育での講義は都市型と地方型の異なる問題解決能力を学び、それぞれに還元する有意義な教育材料となっています。



小動物臨床教育風景
(附属動物病院における伴侶動物臨床実習)



脳外科手術の風景

卒業後の主な進路

伴侶動物の臨床(イヌ、ネコなどの獣医師)、
産業動物の臨床(ウシ、ブタなどの獣医師)、
医薬品会社(営業職、研究職など)、飼料会社、
公務員(公衆衛生など)、大学院進学 他

※多くの場合、獣医師免許を取得することを条件に、面接などの採用試験を受験し、採用の可否が決定されます。

取得可能な免許、資格

- 獣医師(国家試験受験資格)^{※1}
- 学芸員^{※2}
- 食品衛生管理者^{※3}
- 食品衛生監視員^{※3}

※1 所定科目の単位を取得すると、獣医師国家試験の受験資格を得ることができます。
※2 所定の単位を修得し、申請すると「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。
※3 卒業までに所定の単位を修得する必要があります。卒業後の勤務先で資格取得が必要となった場合に手続きを行います。

※時間割の都合上、複数の取得可能な免許、資格の取得は困難な場合があります。

地域資源創成学部

地域を創るリーダーになろう
 ～自分と地域の将来のために、今、ここでマネジメント力を磨く～



■ **地域資源創成学部 各コース**
 2年後学期から3つのコースに分かれ、それぞれのカリキュラムに沿った教育が行われます。

- 企業マネジメントコース
- 地域産業創出コース
- 地域創造コース

各コースの説明は54ページ

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/>



■ 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。



地域理解実習(宮崎大学周辺)



地域探索実習Ⅰ(宮崎県日之影町)




地域探索実習Ⅱ(宮崎県都市)



地域資源創成学部では、経営学の視点を持ち地域を発展させる方法を考え、実践できる人材を育成するために、法学・経済学・社会学・農学・工学・デザイン・映像学などを幅広く学ぶことで、より地域を深く理解し、革新的な価値を創出できる教育を提供しています。

卒業生からのメッセージ



 国立大学法人宮崎大学
総務広報課 総務係

江藤直子 さん Naoko Eto
宮崎県 延岡高等学校出身

現在は、その充実した学生生活への感謝を形にしたいという思いから、職員として母校で働いています。私自身も、かつては進路に悩む一人の高校生でしたが、宮崎大学で多くの出会いや学びを経験し、自分の可能性が広がったと感じています。そんな学生時代の経験を大切にしながら、高校生の皆さんが、宮崎大学で充実した学生生活を送れるよう、サポートできる日を楽しみにしています。

地域資源創成学部で見つけた、わたしの未来

地域資源創成学部では、座学に加え、フィールドワークやグループワークを通して、学んだ知識を実践につなげる経験を重ねることができました。様々な分野を横断的に学ぶ中で、専門知識だけでなく、人生を豊かに過ごしていくための視点を身につけることができたことも、大きな学びでした。



地域資源創成学科

Department of Regional Innovation



経 営の視点をもって地域を持続的に発展させる方法を考え、実践できる人材を育てます。そのために、法学・経済学・社会学・農学・工学・デザイン・映像学などの幅広い学びを提供して、より深く地域を理解し、革新的な価値を創出できる教育を行います。さらに実践力を鍛えるために、地域での実践を行う実習を数多く用意しています。

やりたいことが決まっても 挑戦できる環境で興味が広がる

地域資源創成学科

- 4年 企業マネジメントコース **奥島 蔵之介** Kuranosuke Okushima
宮崎県 宮崎商業高等学校出身
- 4年 地域産業創成コース **久保田 菜々心** Nanami Kubota
宮崎県 宮崎北高等学校出身
- 3年 地域創造コース **窪田 美優** Miyu Kubota
宮崎県 小林高等学校出身

「高校の授業で宮崎のことや探究活動に興味を持ち、そうした中で地域資源創成学部の教員による出前講義を受けた際に『この先生からもっと学びたい』と思うようになりました」と久保田さんは志望動機を語ります。3人は、総合大学ならではの他学部とのつながりや、分野を越えて共に学ぶ講義がある点がこの学科の魅力の一つとして挙げてくれました。

地域資源創成学部には実務経験を持つ教員も多く、具体的で実践的な話を聞けることに加え、教員との距離が近く相談しやすい環境も良い点のこと。窪田さんは「幅広い分野に触れる中で関心が変化し、現在は民法のゼミに所属しています」と教えてくれました。奥島さんは「商業高校出身なので、英語などの講義は最初苦労しましたが、その分成長を実感できました。頑張って入って良かったです」と振り返ります。

また、ビジネスプランコンテストや各種企画コンペへの参加など、さまざまなことに挑戦できる環境が地域資源創成学部には整っています。自分の興味の幅を広げたい人はぜひ一緒に学びましょう。



地域資源創成学部 カリキュラム

※2026年度入学生のカリキュラムとなります。

1年次		2年次		3年次		4年次	
(前学期①・②)	(後学期③・④)	(前学期①・②)	(後学期③・④)	(前学期①・②)	(後学期③・④)	(前学期①・②)	(後学期③・④)
専門科目							
<ul style="list-style-type: none"> 地域理解実習 地域社会学概論 法学入門 地域資源論 コミュニケーション概論 PBL I 海外スタディツアー 	<ul style="list-style-type: none"> 地域探索実習 I 地域産業創成概論 地域創造概論 企業マネジメント概論 経営学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 地域探索実習 II キャリアプランニング マーケティング論 I 会計学 I 企業家精神とイノベーション 地域経済学 マクロ経済学 ミクロ経済学 	<ul style="list-style-type: none"> 企業マネジメント実践 I 会計学 II コミュニティビジネス論 	<ul style="list-style-type: none"> 企業マネジメント実践 II 組織論 II 経営戦略論 II マーケティング論 III 貿易論 ベンチャービジネス論 産学官連携マネジメント論 	<ul style="list-style-type: none"> 企業マネジメント実践 III 技術経営論 企業経営分析 ビジネスプランニング ICTと地域産業 質的社会学研究法 国際経営論 	卒業研究	
コースアドバンスト科目							
<ul style="list-style-type: none"> 地域産業創成実践 I 食品学総論 風景と景観論 デザイン I 基礎 フードコンシャスネス論 生物概論 食品科学実習 地域食文化論 材料科学と社会 		<ul style="list-style-type: none"> 地域産業創成実践 II 作物栽培学 食品開発論 観光と地域振興 地域高品質プロデュース 地域栄養管理学 食料・農業経済学 		<ul style="list-style-type: none"> 地域産業創成実践 III 作物栽培学実習 地域栄養管理学実習 フードシステム分析論 地域創成コンテンツ開発 まちなか再生論 		次世代技術と産業	
<ul style="list-style-type: none"> 地域創造実践 I 都市計画学 自治体政策論 契約と法 ワークルール基礎 I 行政法 		<ul style="list-style-type: none"> 地域創造実践 II 地域産業政策論 環境科学概論 地域・防災まちづくり コミュニティ政策論 ワークルール基礎 II 家族と法 建築の歴史と再生 		<ul style="list-style-type: none"> 地域創造実践 III まちなか再生論 農村社会学 自治体財政論 廃棄物処理・資源リサイクル論 		環境科学演習	
マネジメントアドバンスト科目							
<ul style="list-style-type: none"> 組織論 I 経営戦略論 I マーケティング論 II 国際地域学入門 異文化コミュニケーション グローバルコミュニケーション I 民俗文化と地域 		<ul style="list-style-type: none"> 組織論 II 経営戦略論 I マーケティング論 III 貿易論 ベンチャービジネス論 産学官連携マネジメント論 		<ul style="list-style-type: none"> SPARCプロジェクト実践 II (地域活性化システム論) 日本経済論 金融論 		ウェブデザイン	
<ul style="list-style-type: none"> SPARCプロジェクト実践 I (海外短期研修) SPARCプロジェクト実践 II (地域共創型) 		<ul style="list-style-type: none"> SPARCプロジェクト実践 I (海外短期研修) SPARCプロジェクト実践 II (地域共創型) 		<ul style="list-style-type: none"> SPARCプロジェクト実践 II (地域活性化システム論) 日本経済論 金融論 		ウェブデザイン	
教養教育科目							
導入科目							
<ul style="list-style-type: none"> 英語 Rc1 情報・データリテラシー 大学教育入門セミナー 		<ul style="list-style-type: none"> 英語 Rc2 		<ul style="list-style-type: none"> ビジネス英語 I-1 ビジネス英語 I-2 		<ul style="list-style-type: none"> ビジネス英語 II-1 ビジネス英語 II-2 	
専門接続系							
<ul style="list-style-type: none"> 数学基礎 		<ul style="list-style-type: none"> 統計学基礎 学部教育入門セミナー プロジェクトマネジメント 		<ul style="list-style-type: none"> 社会調査法 			
課題発見科目							
<ul style="list-style-type: none"> データサイエンス系 データサイエンス入門 自然・生命・技術系 環境と生命 人文・社会・芸術系 地域・国際・学際系 							
未来共創科目							
<ul style="list-style-type: none"> 構想・デザイン系 協働・創造系 							
<ul style="list-style-type: none"> 地域キャリアデザイン I (地域) 				<ul style="list-style-type: none"> 地域キャリアデザイン II 			

● 必修科目 ▲ 選択必修科目 ■ コース別必修科目

※ 後期の修得単位数上限は24単位

卒業(職・進学)・学位取得

地域資源創成学部の養成する人材像



企業マネジメントコース

国内外の産業経済構造を俯瞰的に捉え、地域の社会経済状況を調査・分析し、その知見をもって、国内市場や海外市場の開拓やリンケージ構築、企業誘致、起業等、地域経済の発展に向け、既存の産業に新たな価値創造（イノベーション）を引き起こし、地域の産業振興に寄与する次世代のビジネスリーダーを養成する。

地域産業創出コース

地域資源（農業・自然・文化等）の価値を理解し、地域資源を活用した新商品の企画、ビジネスの新展開、様々な切り口からの地域資源の魅力発信等を通じて地域資源に新たな価値を見出し、6次産業化や観光等の地域の産業創出につなげることができる人材を養成する。

地域創造コース

中山間地域における過疎・高齢化、中心市街地衰退等の課題解決や、地域社会の維持発展に向けて、地域における住民の組織やネットワーク、行政制度等について理解するとともに、地方都市・農山村の経済機能、社会機能、環境機能を総合的に捉え、地域活動を有機的に連結し、活性化できる持続可能な地域づくりをトータルマネジメントできる人材を養成する。



地域資源創成学科 地域産業創出コース
准教授 中野 敦 Atsushi Nakano

材料科学×データで 社会インフラの未来を守る

橋梁や道路などの社会インフラは、私たちの暮らしを支える大切な基盤です。しかし現在、日本では多くのインフラが急速に老朽化し、その維持管理や防災は社会にとって重要な課題となっています。

本研究室では、環境材料学とデータ分析を組み合わせ、地域インフラの維持管理や防災のあり方を科学的に読み解く研究をしています。宮崎県内のインフラに関する実データや行政のオープンデータ、GISを活用し、目に見えにくい老朽化やリスクを客観的に可視化する手法を学びます。

材料科学とデータサイエンスを結びつけて、専門的な技術を人々の暮らしへと繋ぐ新しい研究に挑戦できることが本研究室の特徴です。

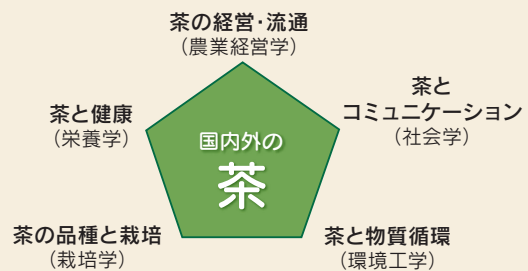
科学の力で地域の安全な未来を守る研究に、ぜひ私たちと一緒に取り組んでみませんか。



ココに
注目!

「茶」からひろがる地域連携・ 学際教育・地域資源創成の可能性

地域資源創成学部では、分野の異なる教員5名が「茶」研究会を立ち上げました。あまり知られていませんが、宮崎県は全国有数の茶の産地です。また、茶はさまざまな側面から地域資源といえる特性をもっています。農家さんの収入源として（農業経営学）、コミュニケーションをうむ嗜好品文化として（社会学）、健康的な食生活を象徴する飲み物として（栄養学）。それだけでなく、多様な品種をはぐくむ宮崎県の気候や品種開発の蓄積（栽培学）、茶畑と地域の物質循環との関係（環境工学）といった、他の地域資源とのつながりを意識することも、地域資源を理解するのに重要なことです。研究会立ち上げ以降、茶の関係者と連携しながら、小学生や高校生向けに、いくつかのイベントを実施しました。今後もこういった取組を地域にも広げていきながら、分野横断的な研究を展開していきます。地域資源創成学部の特徴のひとつは「異分野融合」です。あくまでも「茶」はひとつの例ですが、地域を複眼的な視野でみることでできるようになるのが、本学部の学びです。みなさんも「異分野融合」の世界を体験してみませんか？



「茶」研究会のメンバー（西都市茶臼原にて）

卒業後の進路

地方公務員（県庁、市町村役場）、国家公務員、IT業界、放送局、運輸業（航空業界、高速道路等）、電気・ガス・水道業、卸・小売業、製造業（食品・飲料、繊維、化学工業、自動車部品等）、団体職員、生活関連サービス業、大学職員、教育・学習支援業、金融業、不動産業、複合サービス業、専門技術サービス業（土業、コンサルタント業等）、建設業、進学など

大学院

Graduate School

宮崎大学大学院では、各学部・学科・課程で学んだ知識をさらに高め、専門的な職業に従事するために必要な能力や学識を養います。また充実した教育・研究環境を整えることで、学生の研究活動を支援しています。

教育学研究科

高度な指導力を養い、教育現場で幅広く活躍できる指導者へ

【専攻】 教職実践開発専攻(専門職学位課程)(教職大学院)

- 教職実践高度化コース
- 教科領域指導力高度化コース
- 特別支援教育コース



教育学研究科教職実践開発専攻(教職大学院)では、学部における専門教育又は教職経験の基礎の上に、確かな教育観と幅広い視野を持ち、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員養成のための教育を行います。

教職実践高度化コースでは、「教育行政・学校経営分野」、「生徒指導・教育相談分野」、「教育課程・授業研究分野」の3分野から選択し、各分野に関する教育理論を学修します。教科領域指導力高度化コースでは、指導力の改善・検証のみならず、学校現場をフィールドとした実地的・実践的な学びを通じた教科領域の教育に関する指導力の高度化を目指します。特別支援教育コースでは、「特別支援学校教員の専門的指導力の向上」を目指して、医療、福祉等の外部専門家と連携しながら、医学や科学技術の進歩に対応した指導法や指導技術の習得、研究を推進することが可能となるような授業科目、実習科目でカリキュラムが設計されています。

看護学研究科

人々の健康と保健医療福祉の向上に貢献する

【専攻】 看護学専攻(修士課程)

- 研究者育成コース
- 実践看護者育成コース



少子高齢多死社会を迎え、医療は「治す」から「予防し、治し、支える」への転換が図られています。それに伴い、看護職の活躍の場も医療現場だけではなく、地域の保健医療福祉分野など多岐に渡ってきました。さまざまな領域で看護職が専門職としてさらに活躍していくためには、効果的・革新的な看護実践は不可欠です。

看護学研究科では、そのために必要となる研究能力とともに高度な看護実践能力を培う教育を行います。①「研究者育成コース」では、看護学の教育者・研究者としての基礎となる能力の育成を行い、次世代までも視野に入れた看護学に貢献できる人材を養成します。②「実践看護者育成コース」には、「がん看護(がん看護専門看護師教育課程)」「実践助産学(助産師免許取得課程)」「実践助産学開発」があり、批判的思考力と高度な問題解決能力を有し、国際的視野を持ちながら、地域特性に対応した看護実践者の育成を行います。

※看護学研究科は、令和9年度より健康科学研究科へと名称を変更し、新たに健康科学研究科心理学専攻(修士課程)および看護学専攻(博士後期課程)の設置を予定しています。それに伴い、看護学研究科(修士課程)は健康科学研究科看護学専攻(博士前期課程)となる予定です。なお、設置計画等は予定であり、内容は変更となる可能性があります。

工学研究科

自然豊かな宮崎で未来を切り開く技術者・研究者に

【専攻】 工学専攻(修士課程)

- 先端情報コース
- 環境コース
- 電気・半導体コース
- 機械コース



21世紀は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる知識基盤社会の時代とされています。この知識基盤社会においては、個人の人格形成の上でも、社会の発展・振興の上でも、大学院は極めて重要な役割を果たしています。工学研究科は、学部教育を基盤として、高度化、深化した専門知識・技術を身に付け、さらに隣接する関連領域まで俯瞰できる総合的視野を持った想像力豊かな高度専門技術者を養成することを目的としています。この目的を達成するため、1専攻化して4つのコースを設け、コミュニケーション能力やマネジメント能力の向上を目的とした専攻共通科目やコース必修科目を提供するとともに、専攻内のコース選択科目を自由に受講できるようにしています。



農学研究科

専門性の深化と
国際性豊かな高度専門人材の育成を目指して



【専攻】 農学専攻(修士課程)

- 植物生産環境科学コース ● 森林緑地環境科学コース ● 応用生物科学コース
- 海洋生物環境科学コース ● 畜産草地科学コース ● 農学国際コース

農学研究科は1専攻6コースから構成されており、学部教育の専門性をさらに深化させ、国内外の食料、環境、資源及び生命に関する課題を解決し、自然環境と調和のとれた持続的生産社会の創造に貢献できるとともに、農学に関する高度な専門知識と応用能力を有する国際性豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を目指します。

また、コースのカリキュラムを原則、全て英語で実施する「農学国際コース」を設け、農学専攻(一専攻)の特色を活かし、国際的に、特にASEAN諸国で重要視されている問題点に対応して、分野横断型課題探求・問題解決型の3つの実践プログラムを提供しています。

地域資源創成学研究科

持続可能な地域社会を創造する高度専門人材へ

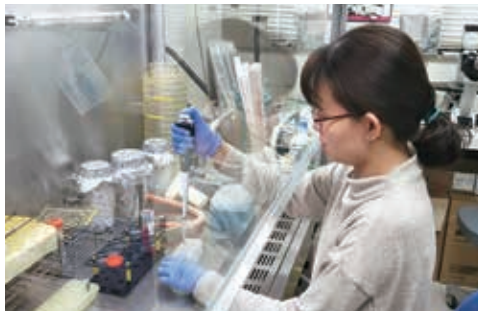


【専攻】 地域資源創成学専攻(修士課程)

地域資源創成学研究科は、地域社会の未来を構想し、地域課題解決のソリューション、イノベーションを研究する異分野融合・複合型の大学院です。地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される教育研究を通じ、地域に賦存する多様な地域資源の利活用から新しい創造的価値を創出することを目指します。こうした価値創出を通じて、人口減少社会等の今後の社会経済環境の変化に対応可能で、かつ強靱で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度人材の育成を図り、実践的な研究による成果を基に実際の社会に適用できる社会実装を目指します。

医学獣医学総合研究科

医学と獣医学が完全に融合した全国唯一の修士・博士研究科



【専攻】 医科学獣医科学専攻(修士課程)

医学獣医学専攻(博士課程)

医学獣医学総合研究科は、国内ではじめて医学と獣医学が融合・連携した研究科です。研究科には、修士課程及び博士課程を設置しています。修士課程では、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携わる人材の養成を主眼とし、専門分野に偏らない幅広い基盤的知識の習得、それを基礎とした研究能力を養うことを目的とし、生命科学の発展と社会の福祉向上に寄与することを使命としています。博士課程では、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。

農学工学総合研究科

農学と工学が融合・深化した博士後期課程で最先端の研究を！

農学工学総合研究科は、農学と工学の学問的背景と連携協力の実績を踏まえて、それらが連携・融合した教育研究領域の深化を図ることにより、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。このため、研究科では3専攻を設け、①低環境負荷・持続型生産システムの構築と持続型地域社会が必要とする社会基盤の保全、②動植物・微生物の機能を活かした新規機能性食品の開発と地域バイオマス資源の有用物質への変換、そして③ナノテクノロジーを応用した機能性材料の創生と自然共生型エネルギーの活用とその変換技術、省エネルギー化・高度情報化された生産技術の開発と高度なソフトウェアを活用した情報処理システムの構築等に関わる教育研究を通じて21世紀の喫緊の課題を解決し社会に貢献します。

【専攻】 資源環境科学専攻(博士後期課程)

- 環境共生科学教育コース ● 持続生産科学教育コース

生物機能応用科学専攻(博士後期課程)

- 生命機能科学教育コース ● 水域生物科学教育コース

物質・情報工学専攻(博士後期課程)

- 新材料エネルギー工学教育コース
- 生産工学教育コース ● 数理情報工学教育コース



キャンパスマップ

宮崎大学には、学生のみなさんの可能性を広げる2つのメインキャンパスがあります。

木花キャンパスには教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部が、清武キャンパスには医学部があり、キャンパス間での交流も盛んです。



木花キャンパス

〒889-2192
宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

農学部

- 1 実験研究棟(北)
- 2 講義棟
- 3 実験研究棟(南)
- 4 実験研究棟(獣医)
- 5 附属動物病院
- 6 附属農業博物館
- 7 標本植物温室
- 8 附属次世代農学教育研究センター

教育学部

- 9 講義棟
- 10 実験研究棟
- 11 美術棟
- 12 技術・家庭棟
- 13 音楽棟
- 14 附属教育協働開発センター

地域資源創成学部

- 15 講義棟
- 16 実験研究棟

工学部

- 17 実験研究棟(A棟)
- 18 講義棟(B棟)
- 19 実験研究棟(C棟)
- 20 機械実習工場
- 21 機械工学実験実習棟
- 22 高電圧実験棟
- 23 土木工学実験実習棟
- 24 実験研究棟(E棟)
- 25 電気機器実験棟

太陽光発電システム・太陽熱給湯システム

- A 工学部実験研究棟屋上
- B 研究・基盤支援施設(研究・産学地域連携推進機構)壁面
- C 附属図書館屋上
- D 国際交流宿舍屋上
- E 集光型太陽光発電システム(NSCエネルギースクエア)(体育館北側)
- F 教育学部技術・家庭棟屋上
- G 教育学部実験研究棟屋上
- H 農学部実験研究棟(北)屋上
- I 農学部講義棟屋上
- J ソーラーカーポート

自然科学野外観察教材開発プロジェクト

- L 木花キャンパスの地質の全体像
- M 下末吉海進期以降の段丘堆積物
- N 宮崎層群の砂岩泥岩互層
- O ナンバンギセル(ハマウツボ科)
- P 照葉樹林

- 26 福利施設棟(国際連携機構、学生食堂、インフォメーションコーナー)
- 27 附属図書館(本館)
- 28 創立330記念交流会館
- 29 地域デザイン棟
- 30 事務局棟(1F入試課)
- 31 安全衛生保健センター、障がい学生支援室
- 32 情報基盤センター
- 33 フロンティア科学総合研究センター(RI分野木花分室)
- 34 研究・産学地域連携推進施設(研究・産学地域連携推進機構)

- 35 創造プロジェクト棟
- 36 イスラム文化研究交流棟
- 37 研究・基盤支援施設(研究・産学地域連携推進機構)
- 38 フロンティア科学総合研究センター(木花分室総合棟)
- 39 総合研究棟
- 40 産業動物教育研究センター
- 41 国際交流宿舍
- 42 女子寄宿舍
- 43 男子寄宿舍
- 44 木花ドミトリー

2026年4月1日現在



一般駐車場	身障者用駐車場	身障者用駐車場 (屋根あり)
売店	食堂・カフェ	カフェ
公衆電話	タクシー乗降場	教職員・学生駐車場
		ATM
		バス停 (宮崎大学)

清武キャンパス

〒889-1692
宮崎県宮崎市清武町木原
5200番地

宮崎大学
ユニバーサルデザインマップ
QRコード



医学部

- 1 講義実習棟
- 2 総合教育研究棟
- 3 福利施設
- 4 基礎臨床研究棟
- 5 附属図書館(医学分館)
- 6 附属病院
- 7 管理棟
- 8 フロンティア科学総合研究センター(RI分野清武分室)
- 9 フロンティア科学総合研究センター(生物資源分野清武分室)
- 10 外来診療棟
- 11 ヘリポート(2カ所)
- 12 看護師宿舎・清武ドミトリー
- 13 宮崎大学医学部附属病院患者付添者等宿泊施設「宮崎ドライビングスクールpresents THE CROSS ROADS」
- 14 多用途型トリアージ施設

太陽光発電システム・太陽熱給湯システム

- 医学部基礎臨床研究棟屋上
- 附属病院屋上
- ソーラーカーポート



2026年4月1日現在

錦本町ひなたキャンパス

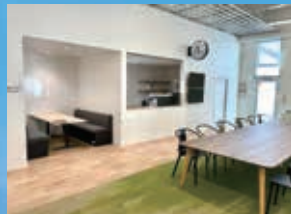
〒880-0818 宮崎県宮崎市錦本町4-5



講堂



コミュニティラウンジ



カフェテリア



オープンスペース



学生支援施設

大学内にはキャンパスライフを支える様々な施設があります。学生一人ひとりが充実した毎日を過ごせるようサポートします。

学習支援施設紹介

附属図書館



学習・教育・研究支援組織として、学生のみなさまの大学の学びをサポートします。木花キャンパスにある本館と清武キャンパスにある医学分館には約50万冊の学術書を備え、さらに、電子資料の充実も進めています。両館とも、令和に入って改修をすませたばかりの綺麗な図書館です。静謐な環境の中での集中した学習はもとより、グループで対話・討論しながら学びを深めることができる空間も用意しています。みなさまの利用をお待ちしています。



pick up!



図書館に併設されているカフェでは、販売されているコーヒー等を飲みながらの学習や、談話が可能です。軽食をとることもできます。くつろぎながら勉強したい学生さんに人気です。



創立330記念交流会館



宮崎大学創立330(サンサンマル)記念交流会館は、平成26年度に実施した宮崎大学創立330記念事業の一つとして、同年11月にシンボル施設として建てられました。本会館は、学生へのサポートやコミュニケーションの場として使われるほか、学会、講演会、シンポジウム、企業説明会など、さまざまな催しに利用されています。



地域デザイン棟



地域デザイン棟は、木花キャンパスのコアエリアに建てられた開放的でスタイリッシュなデザインで24時間フルオープンな地域・企業・学生の交流の場として活用されているスポットです。セミナーや講義、学習のためのStudio、会議、打合せのためのMeeting Room、学内外の情報や最先端研究成果を映すMIYADAI DISPLAY、MIYADAI PREMIUM NEWSなどを配置しています。

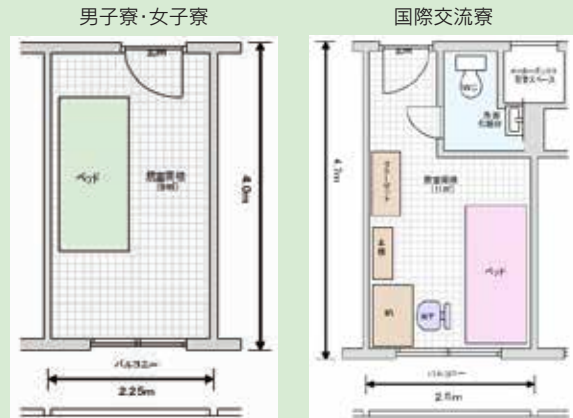


学生支援施設紹介

学生寮

寄宿舎名	男子寄宿舎	女子寄宿舎	国際交流寄宿舎
収容定員	100人	100人	165人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生、大学院生(男・女)
寄宿料	月額 7,000円		月額 4,700円
居室定員	1人(個室)		
居室面積	9㎡	9㎡	11㎡
共用施設	補食室(自炊可能)、浴室、洗濯室、トイレ(国際交流寄宿舎は居室に設置)		
諸経費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所在地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

※在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。
 ※入居許可期間は1年間です(4年間を保証するものではありません)。



大学周辺アパート紹介

地域	大学からの距離	平均の賃料	賃料の幅
学園木花台	木花キャンパスから1km圏内	38,000円	34,000~53,500円
清武	清武キャンパスから2km圏内	35,000円	27,000~56,000円
木花・熊野	木花・清武キャンパスから2~3km圏内	29,000円	24,000~34,000円

地域別居住費

全	国	53,400円		
宮	崎	大	学	44,800円

(2025年度保護者に聞く新入生調査)



生活支援施設紹介

安全衛生保健センター

学生の健康管理をサポートするため木花キャンパスに安全衛生保健センター、清武キャンパスに清武分室が設置されています。医師、心理士、保健師、看護師を、分室には保健師を配置し、急病やけがの応急処置及び心身の健康に関する相談に応じています。

● 利用時間：平日9時～17時



障がい学生支援室

障がい学生支援室は、障がいや疾病により大学生活を送る上で制限を受ける学生本人からの申し出により、学内外の関係部局等と連携を図りながら、円滑な修学が可能となるよう支援します。



場所 安全衛生保健センター1階

電話 0985-58-7668

時間

月～金(休日は除く) 09:00-17:00

メール

s-support@miyazaki-u.ac.jp



部・サークル活動

キャンパスライフを充実させる部・サークル活動。スポーツや音楽、ボランティアなどバラエティに富んだ部・サークルが揃っています。

卓球部

部長 堀下 諒治

工学部 工学科
土木環境工学プログラム3年
福岡県 八女高等学校出身

宮崎大学卓球部は、大学の小体育館で火・金・土曜日に正規練習、月・木曜日に自主練習を行っています。今年は、男子団体の九州学生リーグ3部昇格、女子団体の2部昇格を目標に掲げ、日々の練習に取り組んでいます。

部員には、大学から卓球を始めた人や、中学校以来久しぶりにラケットを握った人も在籍しています。そのため経験者はもちろん、初心者の方でも安心して参加できる環境だと思います。また、やる気にあふれた部員が多く、明るく楽しい雰囲気も宮大卓球部の魅力の一つです。

卓球が好きな方、興味のある方は、ぜひ一度大学の小体育館までお越しください。



あおぞら

部長 押川 愛菜

教育学部学校教育課程小中一貫教育コース
小学校主専攻 3年
宮崎県 延岡高等学校出身

「あおぞら」は、様々な学部 of 学生が集まり、仲間とつながりながら日々高め合える「あなたの居場所」となるサークルです。

主な活動である「きたがわ林間学校」では、子供たちと歴史劇や和歌を通じて心を寄せ合い、他では味わえない感動を得ることができます！また、毎週の定例会では対話を通じて価値観を広げるほか、沖縄や台湾への游学、学童ボランティアなど活動は多岐にわたります。

「あおぞら」でしかできない体験を通して、心が充実する日々を一緒に積み重ねてみませんか？



CLUB & CIRCLE

部活体育系【33団体】

陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、硬式庭球部、ソフトテニス部、バドミントン部、男子ハンドボール部、女子ハンドボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、卓球部、座波流武術空手部、剣道部、柔道部、弓道部、水泳部、馬術部、ワンダーフォーゲル部、ウインドサーフィン部、サーフィン部、自動車部、アメリカンフットボール部、合気道部、スポーツチャンバラ部、少林寺拳法部、気球部、ソフトボール部、CREW(ダンス)、Daisy Girls(チアダンス)、ダイビング部 La Mer

部活文化系【19団体】

吹奏楽部、管弦楽団、モダンJAZZ研究部、クラシックギタークラブ、茶道部、生物研究部、天文学研究部、写真部、漫画研究部、dot cube(プログラミング)、軽音部あきかん、びいだま(ボランティア)、無線部、野外生物生態調査研究部、アカベラ部B.O.I、あおぞら(林間学校)、アースウォーカーズ(ボランティア)、演劇部、MUSB 宮崎大学学生放送局

サークル(同好会) 体育系【14団体】

Sunny Side Up(アルティメット)、To-Do(球技)、自動二輪部、セントジェームズ(硬式テニス)、すまっしゅ(バドミントン)、ポルダリングサークル、宮大学生消防隊、BALLS(サッカー)、インテグラル(軟式野球)、GOLUCS(ゴルフ)、スクールアイドル同好会(ダンス)、カヌー同好会、スキーサークル、ソフトテニスサークル

サークル(同好会) 文化系【23団体】

wila(野生動物調査)、美術部、宮大学生献体推進クラブ、礼法・きものサークル、短歌会、美味倶楽部(料理)、TCG同好会、弾き語り、TRPG&ボードゲームサークル、すずらん(アニマルボランティア)、もちすた(勉強サークル)、地域デザインサークル haChiDori、宮崎大学選挙啓発団体VOICE、お笑いサークルいろはに、ポケモンサークル、競技かるた同好会、UoM英語サークル~direction~、アグリメイト(農業)、宮崎大学料理研究サークル、地域連携サークル、ポーカー研究会、ともしび(探究共奏サークル)、宮大べ〜こんず

国際交流・留学

本学から海外へ留学するには様々な方法があります。自分に合った留学方法を選びましょう。



<https://www.miyazaki-u.ac.jp/international/index.html>

- ① 本学と外国の大学との間で学生交流協定を締結している協定校への留学(交換留学)
- ② 「1.協定校」以外の大学へ私費(自己負担)で休学して行く私費留学
- ③ 短期海外研修・語学研修
- ④ ワーキングホリデー・インターンシップ
- ⑤ 海外の大学に正規課程に入学して学位を取得する留学

宮崎大学の海外ネットワーク

地域資源創成学部では海外短期研修(選択必修科目)があります

「香港でのインターンシップ」

海外短期研修プログラムを通じて、香港でインターンシップを行いました。現地では大学生との交流会を実施し、日本の特産品である日向夏を試食してもらいながらインタビューを行いました。

味の感想だけでなく、購入場面や価格に対する考え方といった具体的な意見を直接聞くことができた点が印象に残っています。英語でのコミュニケーションには苦労しましたが、言い換えや簡単な表現を工夫することで意思疎通ができるようになり、相手に伝える力の重要性を実感しました。

また、現地の学生の主体的な姿勢に触れ、成長には自ら行動することが重要であると学びました。今後はこの経験を活かし、自ら課題を見つけて調査やインタビューを行い、学びを深めていきたいと考えています。



【学部・学科】地域資源創成学部 地域資源創成学科 企業マネジメントコース 【学年】3年
 【出身県】宮崎県 【出身高校】宮崎南高校 【研修先】香港(中華人民共和国)・宮崎県香港事務所
 【滞在場所】ホテル 【渡航期間】2026年2月25日～2026年3月10日
 【奨学金の利用等】宮崎大学の海外留学支援制度

【大学間協定校一覧】

国・地域名	大学等
イタリア	カリアリ大学
インド	インド工科大学カンプール校
	VIT大学
	ニッテ大学
インドネシア	AMITY大学ラジャスタン校
	ボゴール農業大学
	ハサヌディン大学
	プラウィジャヤ大学
	ガジャマダ大学
	アイルランガ大学
	リアウ大学
タドラコ大学	
インドネシア大学	
ウルグアイ	ウルグアイ共和国大学
エジプト	ベンハ大学
韓国	順天大学校
	全北大学校
	慶北大学校
	培材大学校
	釜山外国語大学校
	国立慶国大学校
	江陵原州大学校
	京畿大学校
	慶星大学校
	忠南大学校
徳成女子大学校	
スリランカ	モラトゥワ大学
スロベニア	リュブリャナ大学
タイ	カセサート大学
	プリンス・オブ・ソンクラ大学
	ラジャマカラ工科大学スリウィジャヤ校
	キング・モンクット工科大学トブリ校
	トンプリ・ラジャハット大学
	キング・モンクット工科大学ラカバン校
ブラバー大学	
台湾	東興大学
	開南大学
	大葉大学
	国立屏東科技大学
	国立政治大学
	国立嘉義大学
国立屏東大学	
台北医学大学	
タンザニア	セントオーガスティンタンザニア大学
中国	南京農業大学
	温州医科大学
	青海大学
	西北農林科技大学
	昆明医科大学
	川北医学院
青島農業大学	
フィリピン	フィリピン大学
セントラルルソン州立大学	
ブラジル	ブラジル連邦半乾燥地農業大学
エヴァーグリーン州立大学	
米国	カンザス州立大学
ペンシルベニア州立インディアナ大学	
ベトナム	ベトナム国立農業大学
ノンラム大学	
ガジェタノエレティア大学	
ペルー	サンマルコス国立大学
ラモリーナ国立農業大学	
ベルギー	リエージュ大学
マレーシア	マレーシアプトラ大学
	クアラルンプール科学技術大学
	ニライ大学
マレーシア大学ケランタン校	
ミャンマー	バティン大学
モンゴル	モンゴル国立大学
モンゴル国立医科大学	

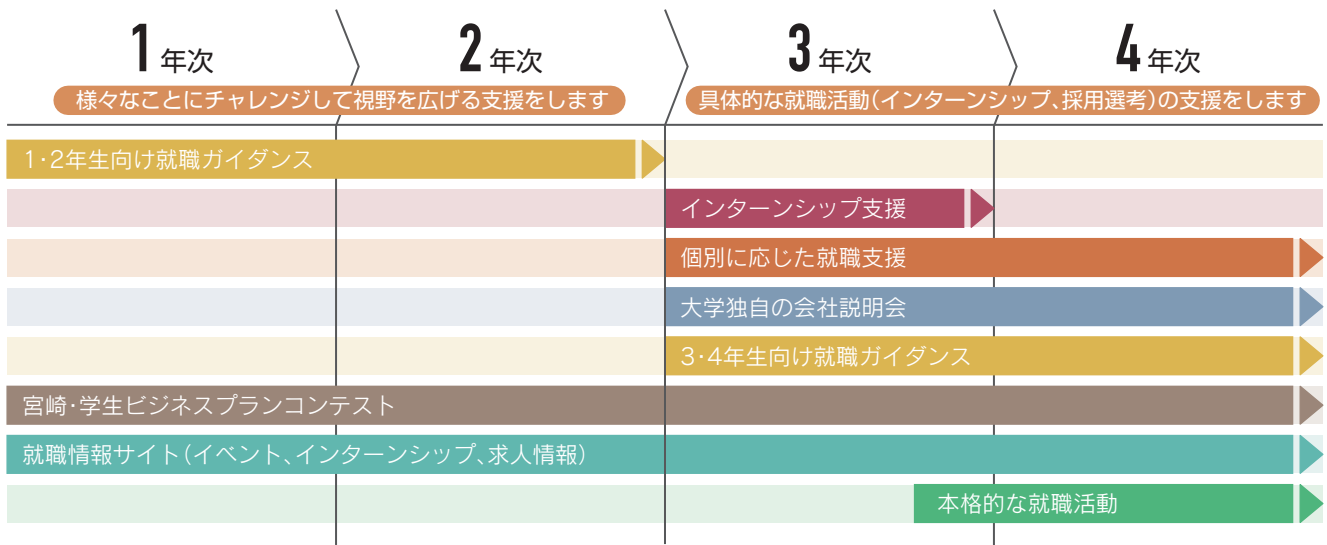


キャリア支援

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/job-info/>



学生のキャリア自律を図るため、就職活動の時期だけでなく、在学中から自分の将来を見据えて、大学生活を有意義に過ごすことができるよう、全学生へのキャリア形成支援の取組を実施しています。



①キャリア支援

インターンシップ支援



インターンシップ合同説明会

キャリア支援及び就職に対してのミスマッチを防ぐことを目的として、インターンシップの支援を行っており、複数の企業・官公庁によるインターンシップ合同説明会を実施しています。また、本学の学務情報システムで、各企業・官公庁から届いたインターンシップの案内を検索することができます。

②就職支援

就職ガイダンス



就職ガイダンス

就職活動に役立つ面接対策やエントリーシートの書き方、自己分析、職務適性テスト、業界研究等のセミナー・ガイダンスを時期に応じて開催しています。学生の皆さんが参加することで、その時期に応じた対応を学び、就職活動を進められるようにしています。

宮崎・学生ビジネスプランコンテスト



決勝プレゼンテーション

宮崎・学生ビジネスプランコンテストとは、宮崎県内の大学・短大・高専生を対象とした宮崎県最大規模のビジネスプランコンテストのことで、参加した学生がビジネスプランを作り、プレゼンし、その新規性や実現可能性、表現力を競うコンテストです。通称「みやざきビジコン」と呼ばれています。

若者が創造能力とチャレンジ精神を養うための事業計画書(ビジネスプラン)作成の場と、自ら考え解決する能力とプレゼンテーション能力を養成する場であり、研究シーズやビジネスアイデア等をもとに、多くのイノベーション(技術革新)を創出し、地域の活性化に繋げることを目的としています。



大学独自の会社説明会



宮崎大学合同会社説明会

企業と連携して学内で、合同会社説明会を開催しています。例年多くの企業の参加があり、学生が直接企業の人事担当者から、話を聴くことができます。この他に、単独会社説明会も随時開催し、より詳しく会社の情報を知ることができます。また、公務員就職希望者のために、公務員説明会も実施しています。

個別に応じた就職支援

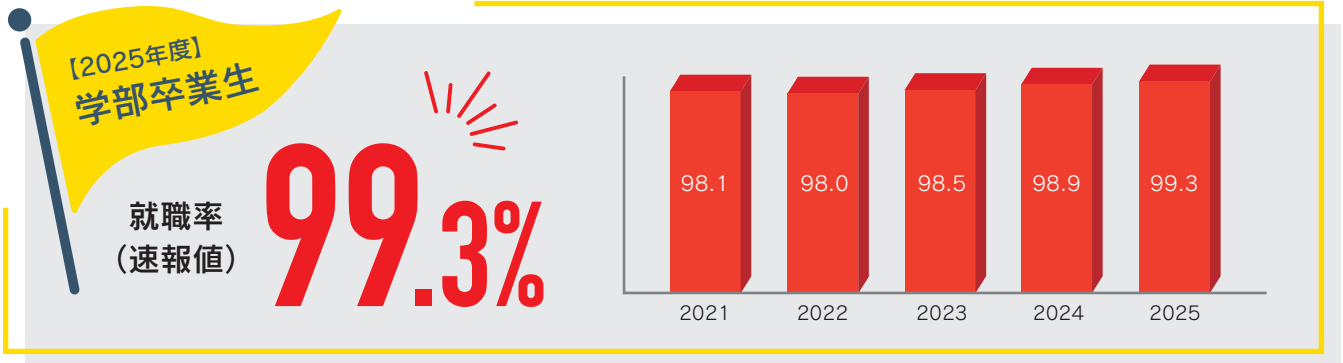


個別に応じた就職相談

豊富な経験と専門的な知識を持ったキャリアアドバイザー、ジョブサポーターによる相談体制を設けており、一人ひとりの個性や希望に沿った就職先が見つかるようきめ細かい支援を行っています。また、集団面接やグループディスカッションなど、実践的な実技指導も充実しています。

就職データ

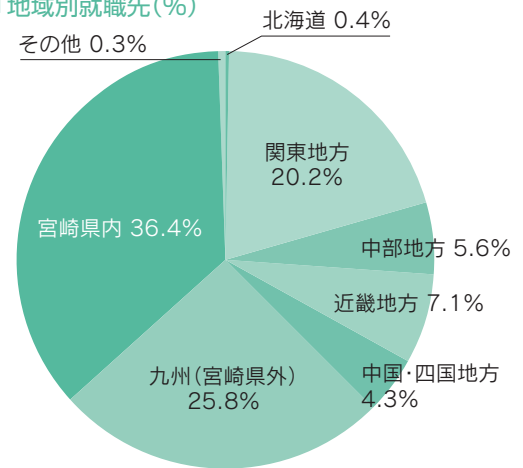
2026年5月1日現在



■ 学部別就職率 (%)

	2021	2022	2023	2024	2025
教育学部	98.1	100	100	100	100
医学部	100	100	100	100	99.3
工学部	98.4	98.1	99.3	98.2	99.4
農学部	96.5	95.5	95.6	97.4	98.8
地域資源創成学部	97.7	97.5	98.8	100	98.8

■ 地域別就職先 (%)



■ 学部別主な就職先企業・団体 (2025年度卒業生実績)

	県外企業・団体	県内企業・団体	公務員	教員
教育学部	TOPPAN	テレビ宮崎	宮崎県庁、鹿児島県庁、福岡県庁、福岡労働局	宮崎県内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・支援学校 宮崎県外の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・支援学校
医学部	東京大学医学部附属病院、北海道大学病院、九州大学病院、名古屋大学医学部附属病院、国立成育医療研究センター、国立病院機構九州医療センター、国家公務員共済組合連合会虎の門病院、済生会熊本病院、熊本赤十字病院	宮崎県立宮崎病院、宮崎大学医学部附属病院、宮崎市医師会病院、他県内各病院	宮崎県庁、日向市役所、宮崎市消防	
工学部	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、東京エレクトロン株式会社BREXA technology、ラピスセミコンダクタ株式会社、五洋建設株式会社、大成建設、九州電力、ショーボンド建設株式会社	日本情報クリエイト株式会社、ミネベアアクセスソリューションズ株式会社、MJC、フェニックスシステム研究所、株式会社宮崎産業開発	宮崎県庁、福岡県庁、熊本県庁、宮崎市役所	宮崎県高等学校教員
農学部	再春館製菓所、オーレックホールディングス、住友林業フォレストサービス、西垣林業、九州乳業株式会社、サンキョーミート株式会社、富士フィルムグラフィックソリューションズ、県外の動物病院(獣医師)	宮崎ガス、宮崎銀行、宮崎県農業共済組合、宮崎県農業協同組合(JAみやざき)、宮崎県森林組合連合会、宮崎県農協果汁株式会社、日向測量設計株式会社、県内の動物病院(獣医師)	農林水産省、九州農政局、林野庁、東京都、宮崎県庁、熊本県庁、福岡県庁、大分県庁、宮崎市役所	宮崎県立高等学校教員
地域資源創成学部	株式会社熊谷組、日鉄ソリューションズ九州、西日本旅客鉄道、日本政策金融公庫、三井住友信託銀行、日本生命保険相互会社、ゼンリン、西日本シティ銀行、西日本新聞プロダクツ、九州電力	社会福祉法人宮崎県社会福祉事業団、宮崎銀行、日本赤十字社宮崎県支部、宮崎県土地改良事業団体連合会、九南サービス	農林水産省、和歌山刑務所、宮崎県庁、宮崎市役所、熊本県庁、鹿児島県庁、福岡県庁、大分市役所、長崎県庁、都城市役所	

順不同、敬称略

イベントスケジュール

宮崎大学では、年間を通して学生同士がふれあえる行事が充実しています。

大学生のスケジュール



入学式



新歓祭

- 前学期開始
- 入学式
- 新入生・在学生オリエンテーション
- サークル紹介
- 定期健康診断
- 新歓祭

- 前学期末試験
- 宮崎・学生ビジネスプランコンテスト(10月まで)

- 教員採用試験

- 夏季休業

4月

5月

6月

7月

8月

9月

オープンキャンパス ●

- 入学者選抜要項 公表(上旬)
- 総合型選抜Ⅰ学生募集要項 公表(上旬)

- 学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項 公表(下旬)
- 学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項 公表(下旬)
- 医学部医学科地域枠学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項 公表(下旬)
- 総合型選抜Ⅱ学生募集要項 公表(下旬)
- 帰国生徒選抜・社会人選抜・私費外国人留学生選抜学生募集要項 公表(下旬)

入学者選抜要項および学生募集要項について

学生募集要項は本学ホームページから電子ファイル(PDF形式)をダウンロードして入手又は参照してください。(印刷した冊子はありません。ただし、医学部医学科(地域枠学校推薦型選抜Ⅱ)学生募集要項及び畜産別科学生募集要項を除く。)また、公表時期は予定であり、変更になる場合がありますので、本学ホームページで確認してください。

高校生向けスケジュール

イベントの紹介



オープンキャンパス 8月10日(月)、8月11日(火)

受験生向けに各学部の紹介や模擬講義、模擬実験、入試概要説明等を行います。学内の施設見学や入試に関する相談会も行いますので、行きたい学部が決まっていなくても気軽にご参加ください。宮崎大学の魅力を知ることができる絶好のチャンスです。

※医学部(清武キャンパス)は、8月10日(月)のみ実施。



キャンパスライフ

宮崎大学公式Instagram

公式Instagramでもキャンパスライフや宮崎大学の最新情報をぜひご覧ください。



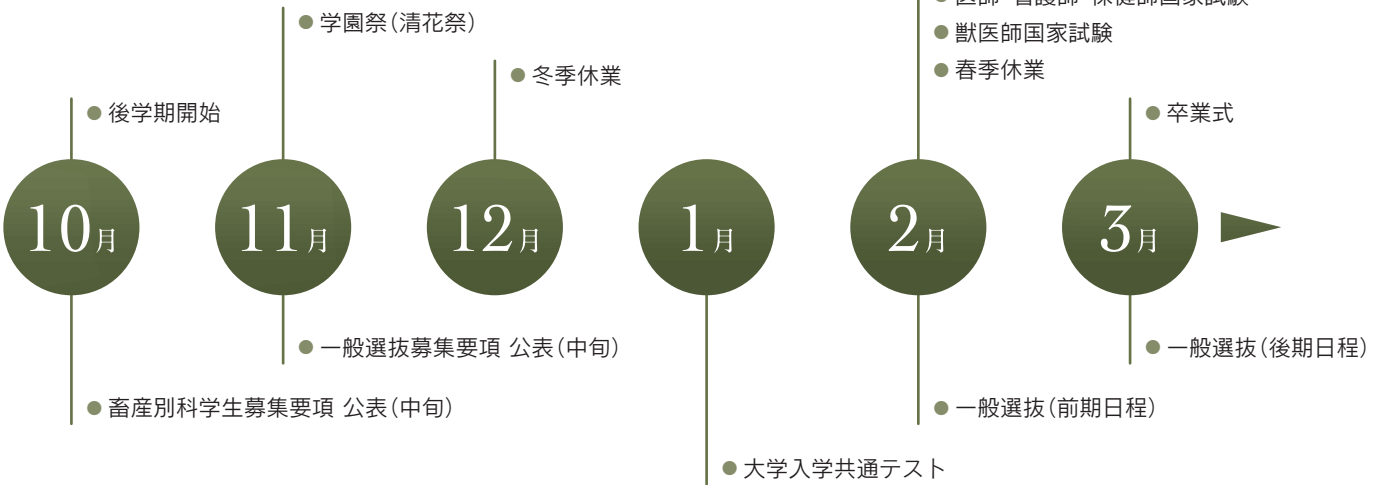
Myaoh.TVの紹介

宮崎大学のYouTube公式チャンネル「Myaoh.TV」です。宮崎大学のニュース、イベント情報、各学部の取り組み、学生生活の紹介、身近な健康情報など宮崎大学オリジナルの情報を多数配信しています。

チャンネル登録はこちらから！



宮崎・学生ビジネスプランコンテスト



申込はコチラ!



宮崎大学公開講座



一般選抜



卒業式着物コレクション

配信中の動画はコチラ!



イベントの紹介



清花祭 11月14日(土)、11月15日(日)

教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部がある木花キャンパスと、医学部がある清武キャンパスの両方で同時開催される学園祭です。大学の雰囲気や学生の活動を実際に見て体感できるので、宮崎大学への進学を考えている受験生の皆さんにはとてもおすすめです。

経済支援

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/>



初年度修学費用	合格後～入学までの準備費用
<ul style="list-style-type: none"> ・入学科 282,000円 ・授業料 267,900円(前期) 267,900円(後期) <p>★前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部の諸経費(講演会、同窓会等) 50,000円～100,000円 ・アパート経費 200,000円 ・家具、パソコン、電化製品等購入費用 400,000円 ・その他(引越、教科書、初回仕送り等) 150,000円 <p>※個人差があります。</p>
<p>受験費用 50,000円～100,000円 ※入学検定料 17,000円、大学入学共通テスト受験料、旅費等の諸経費を含んだ目安費用。</p>	

■ 高等教育の修学支援新制度

対象:住民税非課税世帯・準する世帯の学生(留学生や大学院生は対象外)、多子世帯(扶養する子どもが3人以上の世帯)

支援内容:入学科・授業料の免除/減額+日本学生支援機構 給付奨学金の支給

支援額:※世帯収入等に応じた4段階の基準で支援額が決定、多子世帯は入学科・授業料等が無償

区分	日本学生支援機構給付奨学金(月額)		授業料免除額(半期)	年間支援額(給付奨学金+授業料免除)		入学科免除額(新入生のみ)
	自宅通学	自宅外通学		自宅通学	自宅外通学	
第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円	全額免除 267,900円	886,200円 (935,400円)	1,336,200円	全額免除 282,000円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	2/3免除 178,600円	591,200円 (623,600円)	891,200円	2/3免除 188,000円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	1/3免除 89,300円	296,200円 (311,800円)	446,200円	1/3免除 94,000円
第Ⅳ区分	7,300円 (8,400円)	16,700円	全額免除 267,900円	221,600円 (234,800円)	334,400円	全額免除 282,000円
多子世帯	—	—	全額免除 267,900円	535,800円	535,800円	全額免除 282,000円

※生活保護を受けている生計維持者と同居している人、児童養護施設等から通学する人は()内の金額

※高等教育の修学支援新制度と日本学生支援機構の第1種奨学金を併給する場合、第1種奨学金の月額が減額調整されます。

※第Ⅱ区分、第Ⅲ区分のうち、多子世帯に該当する場合、入学科・授業料は全額免除となります。

申込み時期:高校3年生の夏頃(予約採用)又は大学進学後の4月(在学採用)

支援期間:入学年の4月～最短修業年限(初回奨学金振込日は予約採用が5月、在学採用が7月)

■ 日本学生支援機構奨学金

対象:人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難であると認められる者

支援額等:

種類	月額	給付・貸与始期(初回奨学金振込月)	給付・貸与期間
第一種奨学金(無利子貸与)	自宅通学:2万円、3万円、4万5千円から選択 自宅外通学:2万円、3万円、4万円、5万1千円から選択 ※高等教育の修学支援新制度と併給する場合、第1種奨学金の月額が減額されます 自宅:第Ⅰ区分・第Ⅱ区分・第Ⅳ区分0円、第Ⅲ区分20,300円、多子世帯300円 自宅外:第Ⅰ区分・第Ⅱ区分・第Ⅳ区分0円、第Ⅲ区分13,800円、多子世帯6,300円	(予約採用)5月 (在学採用)7月	4月分～ 最短修業年限 ※第二種奨学金の(在学採用)については、4～9月の間で希望する月分～最短修業年限
第二種奨学金(有利子貸与)	2万円～12万円(1万円刻み)から選択	(予約採用)5月 (在学採用)7月以降	
給付奨学金	上記「高等教育の修学支援新制度」を参照		

大学独自の給付型奨学金「夢と希望の道標」

種類	条件	対象学年	金額
成績優秀者奨学金	勉学意欲及び修学環境の向上並びに優秀な人材を輩出するため、学業成績が極めて優秀な学生に対して給付されます。2025年度は日本人学部生54名、私費留学生4名、合計58名の学生に奨学金を支給しました。	学部2年～6年	10万円/1人
TOEIC試験成績優秀者奨学金	給付対象となる者は、本学に在籍する日本人学生又は日本人大学院生のうち、在学中のTOEIC試験又はTOEFL試験の成績が優秀である者が対象であり、年4回に分けて給付しています。2025年度は75名の学生に対して奨学金を支給しました。	全学年	5千円～5万円/ 試験成績による
海外研修奨学金	現在、対象のプログラムが開講されていないため、実施していません。	全学年	6万円～ 10万円/1人

平成27年度から設けられた本学独自の奨学金制度です。

その他の奨学金

■ 地方・民間団体の奨学金

上記以外にも、地方公共団体および民間育英事業団体等の奨学金(給付又は貸与)があります。



「夢と希望の道標」贈呈式

2026 Open campus オープンキャンパス 8/10・11

宮崎大学 音楽祭
8/10
MON
同時開催
場所 創立330記念交流会館
コンベンションホール



開始時間は学部により異なります。
詳しくはホームページでご確認ください。
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/opencmps/>



プログラム

- 模擬講義・模擬実験・模擬実習
- 施設見学 ● 入試概要説明
- 保護者対象説明会・在学生による相談会 など

※入退場は自由です。
※学部・学科によっては、一部のプログラムで事前予約が必要です。

木花キャンパス

- 教育学部
- 工学部
- 農学部
- 地域資源創成学部

清武キャンパス

- 医学部

8/10のみ開催



進学説明会

- 宮崎大学は各地で受験生・保護者向けの進学説明会や相談会に参加しています。
- 各学部の特色、講義内容、オープンキャンパス、最新情報を個別にご案内し、大学生活や就職実績なども詳しく説明します。



資料請求

パソコン・スマホ・ケータイから資料請求

資料名	資料請求番号	料金(送料含)
大学案内	567990	215円
入学者選抜要項	587990	215円
入学者選抜要項・大学案内	568000	250円



- 16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- 通常は発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い(PayPay 請求書払い、au PAY請求書支払い)」がご利用になれます。



テレメールカスタマーセンター

050-8601-0102 (受付時間 9:30～18:00)

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

交通アクセス

宮崎までの交通アクセス

■航空機

- 東京 — 宮崎 (1時間45分)
- 名古屋 — 宮崎 (80分)
- 大阪 — 宮崎 (70分)
- 福岡 — 宮崎 (40分)
- 沖縄 — 宮崎 (80分)

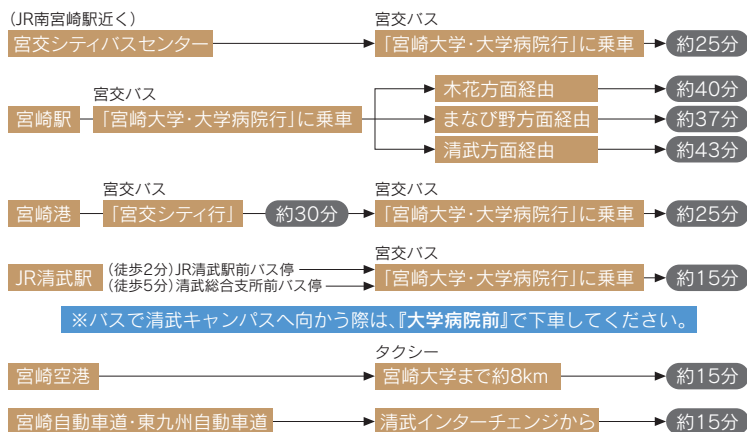
■JR(特急)

- 博多 — 宮崎 (3時間45分)
- 小倉 — 宮崎 (4時間)
- 熊本 — 宮崎 (3時間)
- 大分 — 宮崎 (3時間)
- 鹿児島 — 宮崎 (2時間10分)

■高速バス

- 福岡 — 宮崎 (4時間)
- 熊本 — 宮崎 (3時間)

宮崎大学までの交通機関



各種問い合わせ先

【木花キャンパス】教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部
 〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地
 TEL:0985-58-7111(番号案内)

【清武キャンパス】医学部
 〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地
 TEL:0985-85-1510(代表)

問い合わせ内容	問い合わせ先	電話番号
教育学部について	教育学部 教務・学生支援係	0985-58-2891
医学部について	医学部 医療人育成課 入試係	0985-85-8970
工学部について	工学部 教務・学生支援係	0985-58-2874
農学部について	農学部 教務・学生支援係	0985-58-3834
地域資源創成学部について	地域資源創成学部 教務・学生支援係	0985-58-7847
入学手続きについて	機構事務部 総務係	0985-58-7427
授業料納入について	財務課 出納係	0985-58-7122
奨学金・授業料免除について	学生支援課 経済支援係	0985-58-7976
学生寄宿舎について	学生支援課 学生支援係	0985-58-7142

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ

宮崎大学 学び・学生支援機構 入試課 **TEL.0985-58-7977**
 FAX.0985-58-2865 E-mail:nyushi@miyazaki-u.ac.jp
 〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学ホームページ
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>



宮崎大学受験生応援サイト
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/jptotal/>



宮崎大学公式You Tube [Myaoh.TV]
<https://www.youtube.com/user/MyaohTV>



宮崎大学公式Instagram
<https://www.instagram.com/miyazakidaigaku/>



国立大学法人 宮崎大学
 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
 [編集発行]宮崎大学 学び・学生支援機構 入試課
 令和8年6月発行

宮崎大学オリジナルキャラクター

平成23年5月、学内公募により誕生した、宮崎大学オリジナルキャラクター「みやだいまうくん」です。本学の英語表現である「University of Miyazaki」の頭文字「UoM」を逆から読んで「Mou(もう)」、この音が牛の鳴き声に似ていることが名前の由来です。宮崎大学を広くアピールするため、いろいろな場面で活躍しています。